

特234

196

神戸高等商業学校一覽

昭和十四年二月纂



0051794000

0051794-000

特234-196

神戸高等商業学校一覽

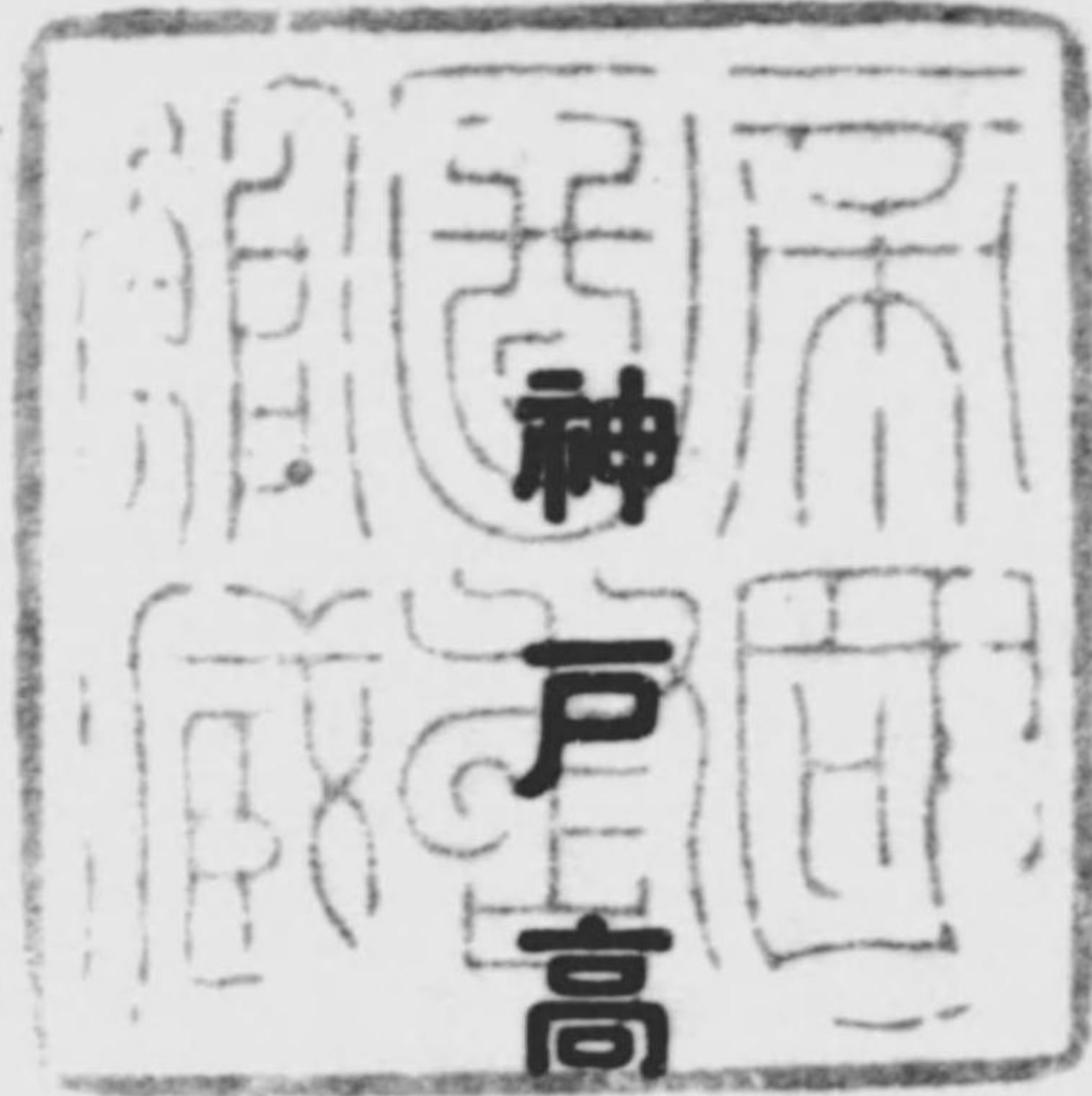
神戸高等商業学校

昭和14年2月纂

昭和14

AHN

持234
196



等商業學校一覽



神戸高等商業學校一覽

昭和十三年十二月

目次

○學	年	曆	……………	二	頁
○沿	革	略	……………	二	頁
○規	則	……………	九	頁	
一、兵庫縣立神戸高等商業學校設置	……………	……………	九	頁	
文部省告示	……………	……………	九	頁	
兵庫縣告示	……………	……………	九	頁	
二、本校學則	……………	……………	九	頁	
第一章 總則	……………	……………	九	頁	
第二章 學科目及教授時數	……………	……………	九	頁	
第三章 學年、學期及休業日	……………	……………	二	頁	
第四章 入學、在學	……………	……………	二	頁	
第五章 休學、退學	……………	……………	二	頁	
第六章 獎學、懲戒	……………	……………	四	頁	
第七章 修業及卒業	……………	……………	五	頁	
第八章 授業料	……………	……………	六	頁	
附則	……………	……………	六	頁	
○細則	……………	……………	七	頁	
一、生徒心得	……………	……………	九	頁	
二、生徒服裝規程	……………	……………	九	頁	

目次

一、三、學業成績考查規程	二六
○事務規程	二八
一、職員服務規程	二八
二、校務分掌規程	二九
三、處務規定	三三
四、會議	三五
五、圖書規程	三五
六、警備規程	三八
七、當直規程	三九
八、貿易研究室規程	四一
○職員	四三
○現職員	四三
○事務分掌	四七
○舊職員	五〇
○生徒	五三
○諸統計	六二
一、生徒募集人員、入學志願者及入學者ノ員數	六二
二、入學志願者及入學者ノ地方府縣別	六三
三、生徒出身學校別	六六
四、生徒年齡數表	六九
五、生徒身體檢查統計表	六九
六、生徒家庭職業別	七一

七、職員及傭人數表	七二
八、圖書冊數表	七三
一、敷地	七三
二、建物	七四
○卒業生	七六
○卒業生就職別一覽	七六
○卒業生地方別一覽	九九
○關係法令	一〇〇
一、實業學校令(抄)	一〇一
二、專門學校令(抄)	一〇一
三、公立私立專門學校規程(全)	一〇二
四、公立學校職員制(抄)	一〇五
五、公立學校職員待遇官等等級令(抄)	一〇六
六、公立學校職員俸級令(抄)	一〇七
七、公立學校職員分限令(全)	一〇九
八、官吏服務紀律(全)	一一〇
九、公立專門學校長、實業專門學校長、高等學校長職務規程(全)	一一一
一〇、陸軍現役將校學校配屬令(抄)	一一一
一一、陸軍現役將校學校配屬ニ關スル訓令(抄)	一一二
一二、教員免許令(全)	一一三
一三、教員檢定ニ關スル規定(抄)	一一四

一四、公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程(抄)	一一八
一五、海軍武官任用令(抄)	一一八
一六、高等試驗令(抄)	一一九
一七、高等試驗令第七條及第八條ニ依ル受檢資格ニ關スル件(抄)	一一九
一八、計理士法(抄)	一一九
一九、兵役法(抄)	一二〇
二〇、兵役法施行令(抄)	一二〇
二一、陸軍補充令(抄)	一二一
二二、陸軍召集規則(抄)	一二二
二三、學校教練及青年訓練修了者檢定規程(抄)	一二五
二四、各大學入學規則(抄)	一二五
二五、學校身體檢査規程(抄)	一二七
附錄	
一、學友會會則	一三三
學友會役員選舉規程	一三三
學友會會計規程	一三六
二、研究編輯會會則	一三七
三、神商會會則	一三七
四、神戸高等商業學校淡水會會則	一三八

○學年曆

昭和十三年	四月一日	第一學期始	春季休業始
同	四月三日	神武天皇祭	
同	四月七日	春季休業終	
同	四月二十二日	開校記念日	
同	四月二十九日	天長節	
同	七月十一日	夏季休業始	
同	七月十五日	夏季休業終	
同	九月二十四日	秋季皇靈祭	
同	十月十五日	第一學期終	
同	十月十六日	第二學期始	
同	十月十七日	神嘗祭	
同	十一月三日	明治節	

昭和十三年	十一月二十三日	新嘗祭
同	十二月二十五日	大正天皇祭 冬季休業始
昭和十四年	一月一日	四方拜
同	一月三日	元始祭
同	一月五日	新年宴會
同	一月七日	冬季休業終
同	二月十一日	紀元節
同	三月二十一日	春季皇靈祭
同	三月三十一日	第二學期終

○沿革略

昭和三年

十二月二十一日 兵庫縣會ハ兵庫縣立神戸高等商業學校ヲ設置スル案ヲ議決ス。蓋シ曩ニ官立神戸高等商業學校ノ大學昇格決定以來、兵庫縣下ニ専門學校程度ノ商業教育機關ヲ失フニヨリ、其ノ代校ノ設置ヲ熱望スルモノ多ク、是ガ設置ニ必要ナル敷地及ヒ校舍建築費ノ寄附ヲ爲ス者アリタルニヨル。

昭和四年

二月二日 文部省告示第十九號ヲ以テ實業學校令及專門學校令ニ依リ本校ヲ設置シ、昭和四年四月開校ノ件ヲ認可シ、其ノ位置ヲ垂水町トシ、其ノ修業年限ヲ三年トスル旨公示ス。

二月四日 兵庫縣告示第五十九號ヲ以テ本校假事務所ヲ三月三十一日迄兵庫縣學務部學務課内ニ置キ、校舍ハ當分ノ間縣立第一神戸商業學校ノ設備ノ一部ヲ使用スル旨公示ス。

同日 兵庫縣令第四號ヲ以テ本校學則ヲ公布シ、生徒約百五十名ヲ募集ス。

二月十五日 兵庫縣書記官學務部長川崎末五郎ニ本校校長事務取扱ヲ命ズ。

三月十五日 本日ヨリ三日間第一回入學試験ヲ施行ス。

四月十九日 本校事務所ヲ縣立第一神戸商業學校内假校舍ニ移ス。

四月二十二日 始業式ヲ舉行ス。

同日 川崎末五郎ノ本校校長事務取扱ヲ免シ、前大阪商科大学教授正五位勳六等伊藤眞雄ニ本校校長事務取扱ヲ命ズ。

四月二十三日 授業ヲ開始ス。

四月二十七日 第一回入學生ノ宣誓式ヲ舉行ス。
 五月九日 本校學友會ヲ組織ス。
 六月五日 本校職員生徒代表者六十四名大阪練兵場ニ於ケル御親園式ニ參加ス。
 八月八日 本校校長事務取扱伊藤眞雄ヲ公立實業專門學校長(勅任待遇)ニ任ジ、兵庫縣立神戸高等商業學校長ニ補ス。

九月十一日 成績考查規程ヲ制定ス。
 九月二十九日 垂水町本校敷地ニ於テ地鎮祭ヲ行フ。
 十月十四日 生徒心得ヲ制定ス。
 十一月三日 第一回創立記念運動會ヲ開催ス。

昭和五年

一月九日 本校學則ノ一部改正ノ件縣報ニテ告示ス。
 一月二十八日 本校新校舍建築入札ヲ行ヒ、大林組ニ參拾貳萬七千圓ニテ落札ス。
 二月一日 新校舍建築起工式ヲ舉行ス。
 二月十五日 學友會誌第一號ヲ發行ス。
 四月七日 本校假校舍トシテ阪神急行電氣鐵道株式會社ヨリ向フ一ケ年ノ豫定ニテ關西學院中學部跡ノ建物ヲ借用シ之ニ移轉ス。
 四月十七日 本校在學生徒父兄有志者間ニ神商會ノ組織成ル。
 六月三十日 本校職員服務規程ヲ制定ス。
 七月二十二日 本校校務分掌規程ヲ制定ス。

十月二十五日 教育勅語謄本ヲ下附セラル。
 十月二十六日 神戸港沖ニテ觀艦式アリ、校長陪觀並ニ賜饌ニ召サル。
 十月三十日 教育勅語煥發四十年記念式ヲ舉行ス。

昭和六年

一月十六日 神商會ノ援助ニヨリ健康相談施設ヲ開始ス。
 四月二十四日 本日ヨリ三日間ニ神戸市西灘原田ノ假校舍ヨリ明石郡垂水町高丸陸ノ新校舍ニ移轉ヲ爲ス。
 七月十八日 本校第一回海外旅行團一行教授二名生徒十八名臺灣及南支那地方ヘ旅行ス。(八月十三日歸校)
 九月 校歌ヲ制定ス。
 十月二十六日 天皇皇后兩陛下 御眞影ヲ下賜セラル。
 十一月一日 本日ヨリ三日間本校校舍新築落成記念祭ヲ舉行ス。
 同日 職員學術研究雜誌「研究ト資料」第一號ヲ發行ス。
 十一月二日 修祓式、新築落成式ヲ舉行ス。

昭和七年

三月十一日 第一回卒業證書授與式ヲ舉行ス。
 六月二十一日 檜崎助教授オリソピツク大會視察ノ爲渡米ス。(九月三日歸校)
 十一月十六日 本校職員生徒代表者百十名大阪城東練兵場ニ於ケル御親園式ニ參加ス。

昭和八年

一月十四日 教授一谷藤一郎ニ在外研究員ヲ命ズ。
 七月二十五日 菊池實業學務局長及全國官公立高等商業學校校長會議出席者本校ヲ視察ス。
 十二月十四日 文部省督學官木村善太郎本校ヲ視察ス。

十二月二十三日 皇太子殿下御降誕アラセラレタルニヨリ奉祝休業ス。

昭和九年

二月十一日 御眞影竝ニ教育勅語謄本奉護ニ關スル心得ヲ制定ス。

六月五日 東郷元帥國葬日ニ付授業ヲ廢シ敬弔ノ意ヲ表ス。

十月二十日 實業教育五十周年記念式ニ於テ伊藤校長及須藤教授表彰セララル。

昭和十年

一月二十五日 在外研究員教授一谷藤一郎歸朝ス。

三月一日 文部省視學委員京都帝國大學教授谷口吉彦本校ヲ視察ス。

四月十八日 教授有井治ニ在外研究員ヲ命ズ。

四月二十三日 御來朝中ノ滿洲國皇帝陛下ヲ奉送ス。

六月五日 獨逸國ライプチヒ大學體育課助教授マルチンパンベル氏本校ノ體育狀況ヲ視察ス。

九月十二日 本日ヨリ三日間本校ニ於テ全國官公立高等商業學校教務主任會議ヲ開催ス。

十一月十六日 文部省體育技師小笠原氏本校ヲ視察ス。

十一月二十八日 第二皇子殿下御降誕アラセラレタルニヨリ之ヲ奉祝ス。

昭和十一年

二月八日 文部省視學委員京都帝國大學教授作田莊三本校ヲ視察ス。

三月六日 本校學則ノ一部改正ヲ爲ス。

五月二十四日 教授岡田巧ニ中華民國へ出張ヲ命ズ。

七月十一日 教授鈴木富太郎財團法人學徒至誠會滿洲派遣學徒研究團指導教授トシテ本日出發ス。

十月二十九日 阪神沖ニ於ケル海軍觀艦式ニ際シ校長伊藤眞雄ハ陪觀竝ニ賜饌ニ召サレ、教授西居、鈴木、須藤、小松

ハ陪觀ノ榮ヲ賜ハル。

十一月七日 賀陽宮殿下御臨御視察遊バサル、松浦第十師團長、岡田本縣知事、奥田學務部長、渡邊學務課長、警察署長等隨行ス。

昭和十二年

二月一日 文部省視學委員神戸商業大學教授原口亮平本校ヲ視察ス。

三月十八日 在外研究員教授有井治歸朝ス。

四月十五日 教授谷口重吉ニ在外研究員ヲ命ズ。

五月十五日 中華民國在留研究中ノ教授岡田巧歸朝ス。

六月十五日 第十師團管下大學高專聯合ノ教練研究會竝ニ協議會ヲ本校ニ於テ開催ス。

七月二十四日 本校學則ノ一部改正ヲ爲ス。(夏季休業期日變更ノ件)。

七月二十七日 教授囑託永村少佐及小使山本光支那事變ノ爲召集セララル。

十月八日 本校校長正四位勳三等伊藤眞雄卒去ス。

同 日 本校教授從五位勳六等西居靈證ニ校長事務取扱ヲ命ズ。

十月十六日 本校庭ニ於テ故伊藤校長ノ校葬ヲ執行ス。

十二月八日 神戸商業大學教授正四位勳三等原口亮平ニ本校校長事務取扱ヲ命ズ。

同 日 教授西居靈證ノ校長事務取扱ヲ免ス。

昭和十三年

一月十一日 原口校長事務取扱、鈴木、一谷兩教授、生徒代表者九名ハ姫路陸軍病院ニ傷病兵ヲ慰問ス。

一月二十二日 文部省督學官田中保平本校ヲ視察ス。

一月三十一日 本校校長事務取扱正四位勳二等原口亮平ヲ公立實業專門學校長(勅任待遇)ニ任ジ本校校長ニ補ス。

四月二十六日 靖國神社臨時大祭ニ付遙拜式ヲ舉行シ、後第十師團藤井少將ノ軍事講話アリ。
 五月二十日 職員生徒一同縣市商工會議所主催ノ徐州陷落祝賀提灯行列ニ參加ス。
 六月八日 應召中ノ永村少佐本日召集解除セララル。
 六月二十日 雁長谷川富夫召集セラレ本日入隊ス。
 七月五日 當神戸地方ニ未曾有ノ豪雨アリ、本校通學道路破壊シ橋梁ハ流失シ被害甚シ。
 七月九日 神戸市水害復舊作業援助ノ爲、職員生徒一同向フ二日間勤勞奉仕ヲ爲シ作業ニ從事ス。
 七月十八日 教授囑託林少佐召集セララル。
 九月三日 本日ヨリ向フ三日間集團勤勞ヲ行フ。
 九月二十日 書記森初次召集セラレ本日入隊ス。
 十月十九日 靖國神社臨時大祭ニ付午前十時ヨリ遙拜式ヲ行フ。
 十月二十一日 文部省視學委員京都帝國大學教授沙見三郎本校ヲ視察ス。
 十月二十八日 職員生徒一同縣市商工會議所主催ノ武漢三鎮陷落祝賀提灯行列ニ參加ス。
 十一月八日 全校職員生徒五百餘名權原神宮ニ參拜シ建國奉仕作業ニ參加ス。
 十一月十日 國民精神作興詔書下賜十五周年記念式ヲ行フ。
 十二月五日 學年對抗競技會ヲ開催シ第二學年優勝ス。

昭和十四年

一月十三日 井出少將ヲ招聘シ軍事講演ヲ爲ス。
 一月十五日 父兄懇談會ヲ開ク。
 一月二十七日 查閱官井出少將教練ヲ查閱ス。
 二月七日 大藏省國民貯金獎勵局山住克巳氏ヲ招聘シ財政經濟ノ講演ヲ爲ス。

○規則

一、兵庫縣立神戸高等商業學校設置

文部省告示第十九號（昭和四年二月二日）

實業學校令及專門學校令ニ依リ左記實業專門學校ヲ設置シ昭和四年四月ヨリ開校ノ件認可セリ

昭和四年二月二日

文部大臣 勝田 主計

名稱	兵庫縣立神戸高等商業學校
位置	兵庫縣明石郡垂水町
設立者	兵庫縣
修業年限	三年

兵庫縣告示第五十八號（昭和四年二月四日）

兵庫縣立神戸高等商業學校ヲ兵庫縣明石郡垂水町ニ設置シ昭和四年四月ヨリ開校ス

二、兵庫縣立神戸高等商業學校學則

昭和四年二月四日縣令第四號
 昭和五年一月縣令第一號
 昭和十一年三月縣令第二十二號
 昭和十二年七月縣令第三十二號
 改正

第一章 總則

第一條 本校ハ實業學校令及專門學校令ニ依リ商業上須要ナル高等ノ教育ヲ施スヲ以テ目的トス。

第二條 本校ノ修業年限ハ三年トス

第二章 學科目及教授時數

第三條 學科目及每週授業時數左ノ如シ

規則

學科 目	學年		
	第一學年	第二學年	第三學年
修身	1	1	1
國語及漢文	1	2	1
作文及書法	1	1	1
理化	1	2	2
數學	2	2	2
商業數學	2	2	2
經濟地理	2	2	2
經濟歷史	2	2	2
英語	7	7	7
法律學	3	3	3
經濟學及財政學	3	3	3
商業學	4	2	3
簿記及會計學	3	2	2
經營學	3	2	2
商品學	3	2	2

選擇必修科目	第一學年	第二學年	第三學年
研究	3-5	4-6	3-6
體操	3	3	3
計	3-1-3-4	3-1-3-4	3-1-3-5
計	3-1-3-4	3-1-3-4	3-1-3-3

研究ハ生徒ヲシテ或學科目ニ關聯セル特殊事項ニ就キ教師指導ノ下ニ研究セシムルモノトス
 選擇必修科目及每週教授時數ハ左ノ通トシ各學年配當時數ノ範圍内ニ於テ時間割ノ許ス限り之ヲ選擇必修セシム
 但シ學校ノ都合ニ依リ其ノ學科目及教授時數ヲ増減シ又ハ履修學年ヲ變更スルコトアルヘシ
 學校ニ於テ必要ト認ムルトキハ各學年ノ選擇必修科目中ヨリ特ニ或數科目ヲ指定シ其ノ中ヨリ必ス一又ハ二科目ヲ選擇
 セシムルコトアルヘシ

第一學年	第二學年	第三學年
英語	英語	英語
第二外國語	第二外國語	第二外國語
自然科學	陸上運送	貿易通信
心理學及論理學	海上運送	經濟事情
國語及漢文	倉庫	工業要項
國史	信託	生命保險
タイプライティング	植民	取引所
速記	統計學	工業政策
衛生	衛生	衛生
體育	體育	體育

算	一	哲學概論	二	社會政策	二
社	會	學	二	教	育
					學
					二

第二外國語ハ支那語、獨逸語、佛蘭西語、西班牙語及露西亞語ノ中其ノ一ヲ選擇セシム
但シ學校ノ都合ニ依リ外國語ノ數ヲ増、減スルコトアルヘシ

第三章 學年學期及休業日

第四條 學年ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル

第五條 學年ヲ分チ左ノ二學期トス

第一學期 (自四月一日至十月十五日)

第二學期 (自十月十六日至三月三十一日)

第六條 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、日 曜日

二、大祭 祝日

三、開校 記念日

四、春季 休業 (自四月一日至四月七日)

五、夏季 休業 (自七月十一日至九月五日)

六、冬季 休業 (自十二月二十五日至翌年一月七日)

第四章 入 學 在 學

第七條 生徒ヲ入學セシムヘキ時期ハ學年ノ始メ三十日以内トス

第八條 第一學年ニ入學ヲ許ス者ハ左記各號ノ一ニ該當スル者ノ中ヨリ選抜ス

一、中學校ヲ卒業シタル者

二、專門學校入學者檢定規程ニ依ル試驗檢定ニ合格シタル者

三、專門學校入學者檢定規程ニ依リ一般專門學校ノ入學ニ關シ無試驗檢定ノ指定ヲ受ケタル者

第九條 入學者ノ選抜ハ志願者ノ入學前ニ於ケル學業成績選抜試驗ノ成績及身體檢査並人物考査ノ結果ヲ參按シテ之ヲ決定ス

第十條 第八條第一號及第三號ニ掲ケタル學校ニ在學スル者ニシテ當該學校長ヨリ其ノ年三月末ニ卒業スヘシト認メラレタル者ハ同年ニ於ケル本校入學ニ關シ當該學校ノ卒業者ニ準スルコトヲ得但シ豫定期ニ卒業セザリシトキハ其ノ入學ニ關スル手續ハ總テ効力ヲ失フモノトス

第十一條 選抜試驗ハ中學校又ハ尋常小學校卒業程度ヲ以テ入學資格トスル修業年限五年ノ商業學校卒業ノ程度ニ於テ之ヲ行ヒ試驗科目ハ生徒募集ノ都度之ヲ公示ス

第十二條 第八條第一號及第三號ニ掲ケタル學校ヲ卒業シタル入學志願者ニシテ在學中最後ノ三學年ヲ通シテ其ノ學年ノ及第者全數ノ約五分ノ一以上ノ席次ニ在リテ卒業成績席次卒業者全數ノ約十分ノ一以上ノ席次ニ在ル者ハ選抜試驗ヲ用ヒスシテ入學ヲ許可スルコトアルヘシ

第十條ノ卒業見込者ニシテ最後ノ三學年中前二學年ノ成績前項ノ規定ニ該當スルトキハ前項ニ準シテ之ヲ取扱フコトヲ得但シ卒業期ニ於テ前項規定ノ成績ヲ得サリシトキハ其ノ効力ヲ失フモノトス

第十三條 選抜試驗ヲ用ヒサル入學志願者ニシテ入學ノ許可ヲ得サル場合選抜試驗ヲ受ケンツスル者ハ別ニ出願ヲ要セスシテ選抜試験ヲ受クルコトヲ得

第十四條 入學志願者ハ生徒募集ノ都度公示スル書式ニ依リ入學願書及其ノ他ノ書類ニ考査料ヲ添ヘ之ヲ學校長ニ差出ス

ヘシ
考查料ハ金五圓トシ納付後何等ノ事由アルモ還付セス

第十五條 入學許可ヲ得タル者ハ其ノ許可ノ日ヨリ二十日以内ニ在學誓書(第一號書式)及戶籍謄本ヲ學校長ニ差出スヘシ
第十六條 退學者退學許可ノ日ヨリ一年以内ニ再入學ヲ出願スルトキハ該議ノ上原級以下ニ入學ヲ許可スルコトアルヘシ
第十七條 保證人ハ生徒ノ父兄後見人又ハ親族中ノ成年者ニシテ生徒在學中一切ノ事件ニ付完全ニ責務ヲ盡シ得ヘキ者タルヘシ

第十八條 保證人轉籍轉居改氏名若クハ改印等ヲ爲シタルトキハ直ニ之ヲ届出ツヘシ

第十九條 保證人死亡若クハ第十七條ノ資格ヲ失ヒタルトキハ更ニ保證人ヲ定メ在學誓書ヲ差出スヘシ

第二十條 生徒轉籍改氏名若クハ改印シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ但シ轉籍改氏名ノ届出ニハ戶籍抄本ヲ添付スヘシ

第二十一條 生徒ハ本校制定ノ制服制帽ヲ着用スヘシ但シ新入學生徒ハ入學ノ日ヨリ一月以内ニ着用スヘシ

第二十二條 生徒ハ學校長ノ許可ヲ受クルニ非サレハ他ノ學校ニ入り又ハ他ノ學校若クハ官廳ニ於ケル各種ノ試験ニ應スルコトヲ得ス

前項ノ許可ヲ受ケムトスル者ハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ願出ツヘシ

第五章 休學 退學

第二十三條 疾病又ハ止ムヲ得サル事故ニヨリテ三月以上修學スルコト能ハスト思料スルトキハ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得但シ疾病ニ因リ休學セムトスル場合ニ於テハ願書ニ醫師ノ診斷書ヲ添付スルヲ要ス

第二十四條 陸軍又ハ海軍ノ現役ニ服シ若クハ召集ニ應スル者ハ其ノ服役又ハ召集ノ期間學校長ノ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得

トヲ得

第二十五條 休學ノ許可ヲ得タル者ハ休學ノ事由ノ止ミタル翌日ヨリ原學年ノ課程ヲ修メシム

前條ニ依リ休學シタル者ハ服役滿期又ハ召集解除後三週間以内ニ於テ原學年ニ復スヘシ

第二十六條 休學ハ同一學年ニ於テ一年以内ニ限ル但シ第二十四條ニ依ル休學ハ此ノ限りニアラス

第二十七條 生徒退學セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人連署ヲ以テ學校長ニ願出テ許可ヲ受クヘシ

第二十八條 左ニ掲タル各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命ス

- 一、性行不良ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者
- 二、學業劣等若クハ身體虛弱ニシテ修學ニ適セスト認メタル者
- 三、休學ノ許可ヲ得スシテ引續キ一年以上缺席シタル者
- 四、正當ノ理由ナクシテ引續キ三十日以上缺席シタル者
- 五、正當ノ理由ナクシテ屢々遅刻缺席シ出席常ナラサル者
- 六、授業料滯納六十日ニ及フ者

第六章 獎學 懲戒

第二十九條 人物德操學業健康共ニ優秀ナルモノト認ムル者ハ特待生トナスコトアルヘシ

第三十條 特待生ハ每學年之ヲ定ム

第三十一條 特待生ニ對シテ授業料ヲ徴收セス

第三十二條 特待生ニシテ學業ヲ怠リ又ハ其ノ體面ヲ損スル行爲アリト認メタルトキハ直ニ特待生タルコトヲ罷ム

第三十三條 校規命令又ハ訓育ノ趣旨ニ違背シ生徒ノ本分ニ背戻スル者ハ學校長之ヲ懲戒ス

第三十四條 懲戒ハ之ヲ分チテ戒飭、停學、放校ノ三トス

第三十五條 戒飭ハ訓戒ヲ加ヘテ將來ヲ戒メ停學ハ二定期間特別監督ノ下ニ反省セシメ放校ハ學校ヨリ放逐ス

第七章 修業及卒業

第三十六條 各學年ノ課程ヲ修了ハ學業成績及勤惰ヲ考查シテ之ヲ定ム

第三十七條 未修了ノ學科目多クシテ次學年ノ課程ヲ履修スルニ不適當ト認メタル者ハ原學年ノ課程ヲ再修セシム

第三十八條 未修了ノ學科目ニ就テハ在學中又ハ第三學年次ノ考查修了後滿二年以内ニ再考查ヲ受クルコトヲ得

第三十九條 全部ノ課程ヲ修了シタル者ニハ卒業證書(第一號書式)ヲ授與ス

第四十條 各學年ノ課程ヲ履修セルモ前條ニ該當セサル者ニハ修業證書ヲ授與ス

修業證書ヲ授與セラレタル者ニシテ第三十八條ノ再考查ヲ受ケ合格シタルトキハ卒業證書ヲ授與ス

第八章 授業料

第四十一條 授業料ハ一學年金八拾圓トシ左ノ三期ニ之ヲ分納セシム

第一期 (自四月至七月) 金參拾圓

第二期 (自九月至十二月) 金參拾圓

第三期 (自一月至三月) 金貳拾圓

第四十二條 授業業ハ學校長ノ定ムル期日ニ納付スヘシ

第四十三條 授業料ハ一旦納付ノ後ハ如何ナル事由アルトモ之ヲ還付セス

第四十四條 休學ノ許可ヲ得タル生徒ヨリハ休學期間中授業料ヲ徵收セス但シ授業料徵收期日前ニ休學又ハ退學シタルトキハ其ノ月ノ授業料ハ金七圓トシ指定ノ日ニ於テ之ヲ納付スヘシ

第四十五條 左ニ掲クル各號ノ一ニ該當スル者ハ其ノ事由ノ生シタル月ヨリ一箇月金七圓ノ割ヲ以テ次ノ授業料納付期ノ前月迄ノ授業料ヲ指定期日內ニ納付スヘシ但シ第二號ニ該當スル者ニシテ既ニ其ノ期ノ授業料納付済ノモノハ此ノ限ニ

アラス

一、特待生タルコトヲ罷メラレタル者

二、休學ノ事故止ミ就學シタル者

第四十六條 定日ニ授業料ヲ納付セサルトキハ本人ニ之ヲ催告シ猶納付セサルトキハ保證人ニ催告ス前項ノ催告ヲ受ケ猶納付セサルトキハ第二十八條第六號ニ依リ處分ス

附則

本令ノ施行ニ關シ必要ナル事項ハ學校長之ヲ定ム

在學誓書(第一號書式)

在學誓書

私儀今般御校ニ入學御許可相成候ニ就テハ在學中校規命令等堅ク相守ルヘキハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可致此段誓約候也

本籍

族籍

現住所

昭和 年 月 日

何

某印

年 月 日生

右 今般御校ニ入學許可相成候ニ就テハ御校在學中監督保護ノ責ニ任スヘキハ勿論御校ノ學籍ヲ脱シ候後ト雖本人在學中ニ係ル一切ノ義務ハ必ス履行可爲致萬一違背候節ハ拙者ニ於テ一切引受ケ可申此段保證候也

規則

昭和	年	月	日
兵庫縣立神戸高等商業學校長	殿	保証人	何
本籍	籍	職業	現住所
本人トノ關係			
年	月	日	某印

卒業證書(第二號書式)

卒業證書	族籍	何
右ノ者本校所定ノ課程ヲ修メ正ニ其ノ業ヲ卒ヘタリ仍テ之ヲ證ス	年	月
昭和	年	月
日	日	日生
兵庫縣立神戸高等商業學校長	位勳功	何
學位爵		某印

○細則

一、生徒心得 (昭和四年十月十四日制定)

- 第一條 本校生徒タル者ハ常ニ校規ヲ守リ師訓ニ從ヒ左ノ綱領ヲ遵守スヘシ
 - 一、學業ヲ勵ミ智徳ヲ磨キ人格ノ陶冶ニ努ムヘシ
 - 二、體力ヲ練リ節制ヲ守リ心身ノ強健ヲ圖ルヘシ
 - 三、質實ヲ旨トシ勤儉力行ノ美風ヲ養フヘシ
 - 四、禮節ヲ重シ信義ヲ敦クシ舉止常ニ端正ナルヘシ
 - 五、國體ヲ尊ヒ公益ヲ念ヒ健全ナル國民ノ基幹タルヲ期スヘシ
- 第二條 讀書及娛樂ハ常ニ其ノ選擇ニ注意シ智徳又ハ趣味ノ向上ニ資シ品性ノ修養ニ益セムコトヲ心掛クヘシ
- 第三條 生徒ノ品位ヲ瀆シ校風ヲ紊ス虞アル場所ニ立入ルコトヲ避クヘシ
- 第四條 不都合ノ行爲アリタルトキハ學則ニ依リ懲戒ノ外ニ相當ノ制裁ヲナスコトアルヘシ
- 懲戒又ハ其ノ他ノ制裁ヲ受ケタル者ニシテ改過ノ實明カナルトキハ懲戒録ヨリ之ヲ抹消スルコトアルヘシ
- 第五條 各學年級及各組ニ主任一名ヲ置キ教職員之ニ當ル
- 級主任及組主任ハ生徒ト學校トノ親密ナル連絡ヲ計リ其ノ級ノ指導訓育ニ任ス
- 第六條 各學年級ノ各組ニ級委員二名ヲ置キ級ノ事務ヲ取扱ハシム
- 級委員ハ各學期ノ初メニ記名投票ニ依リ生徒中ヨリ四名ノ候補者ヲ互選セシメ校長之ヲ命ス任期ハ一學期間トス
- 但シ第一學年第一學期ニ限り互選ニ依ラス校長之ヲ命ス
- 第七條 學校ノ内外ヲ問ハス本校職員及ヒ生徒ニ對シ互ニ敬禮ヲナスヘシ

授業ノ始終ニハ教師ニ對シ敬禮スヘシ

授業中ハ勿論放課時ト雖モ靜肅ヲ旨トシ喧噪粗野ノ言動アルヘカラス

第八條 校内ニ於テハ所定ノ場所以外ニ於テ飲食、喫煙スヘカラス

第九條 生徒ニ對スル學校ノ告示ハ之ヲ一定ノ場所ニ揭示ス生徒ハ常ニ之ニ注意スヘシ

學校ノ告示ハ揭示シタル日ヨリ一般ニ之ヲ了知シタルモノト看做ス

生徒カ揭示ヲナサムトスルトキハ豫メ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

第十條 諸願書及届書ハ總テ校長宛トシ生徒課ニ提出スヘシ

第十一條 缺席及缺課ニ關シテハ左ノ通届出ヲ勵行スヘシ

一、三日以内缺席又ハ缺課セムトスルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ事後二日以内ニ)其ノ旨届出ツヘシ

但シ場合ニ依リ保證人ノ連署ヲ命スルコトアルヘシ

二、缺席又ハ缺課三日以上ニ互ルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ最初ノ日ヨリ七日以内ニ)保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

三、病氣ニヨリ缺席又ハ缺課七日以上ニ互ルトキハ豫メ(豫知シ難カリシトキハ最初ノ日ヨリ十日以内ニ)醫師ノ診斷書ヲ添

ヘ保證人連署ヲ以テ届出ツヘシ

四、體操及教練ノ見學引續キ七回以上ニ及フトキ及野外演習又ハ野營ニ缺席セムトスルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添ヘ(豫

知シ難カリシトキハ事後三日以内ニ)届出ツヘシ

五、試験ニ缺席シタル者ニシテ學業成績考査規程第八條ニ依ル特別ノ取扱ヲ受ケムトスルトキハ同條ニ依リ遲滞ナク其

ノ旨届出ツヘシ

六、左ノ事由ニ依リ缺席又ハ缺課ヲナシ届出ヲ完了シタルトキハ之ヲ缺席日數又ハ缺課時數ニ算入セス

- 1. 父母ノ喪ニアリタルトキ 七日及往復日數

- 2. 祖父母、兄弟、姉妹ノ喪ニアリタルトキ 五日及往復日數

- 3. 其ノ他近親ノ服忌 三日及往復日數

- 4. 父母、祖父母、兄弟、姉妹其ノ他近親ノ法要 當日及往復日數

- 5. 徴兵検査ノ受檢ニ要シタル日數

- 6. 學校ヨリ出張等ヲ命シタル日數又ハ時數

第十二條 服装ニ關シテハ左ノ通心得ヘシ

一、登校ノ際及本校生徒トシテ旅行スル場合ハ制服制帽及制靴ヲ着用スヘシ

但シ稍異式ノモノト雖モ事情ニ依リ生徒課ノ許可ヲ受ケタルトキハ之ヲ代用スルコトヲ得

二、病氣其ノ他ノ事故ニヨリ登校ノ際和服ヲ着用セムトスルトキハ生徒課ノ許可ヲ受クルヘシ

三、和服ヲ着用シテ外出スルトキハ制帽及袴ヲ着用スヘシ

四、體操及教練ノ際ハ必ス體操服ヲ着用スヘシ

第十三條 校室又ハ校具ヲ使用セムトスルトキハ生徒課願出ツヘシ

建物、器具、圖書等ハ常ニ良ク保存整頓ニ留意スヘシ若シ毀損亡失シタルトキハ直チニ其ノ旨生徒課ニ届出テ場合ニ依

リ之ヲ辨償スヘシ

第十四條 校ノ内外ヲ問ハス左ノ行爲ヲナサムトスルトキハ豫メ生徒課ノ許可ヲ受クヘシ

一、集會ヲ催サムトスルトキ

二、講演又ハ宣傳等ヲナサムトスルトキ

三、印刷物ヲ配布セムトスルトキ

四、團體ヲ組織シ又ハ他ノ團體ニ加入セムトスルトキ

外套



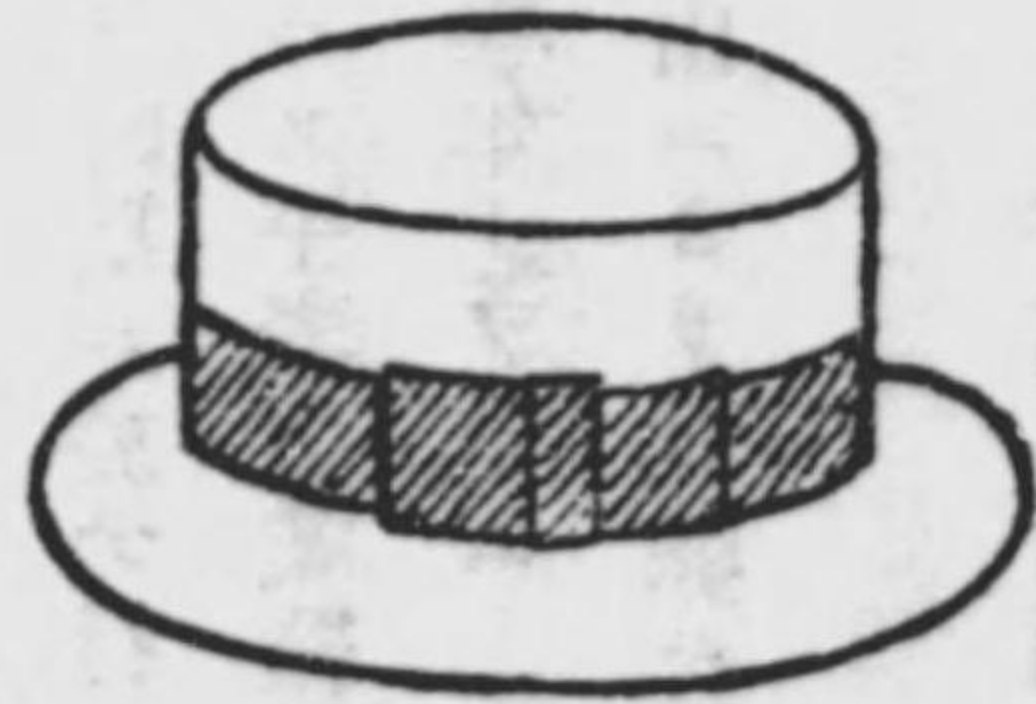
上衣正面



正帽



略帽



上衣背面



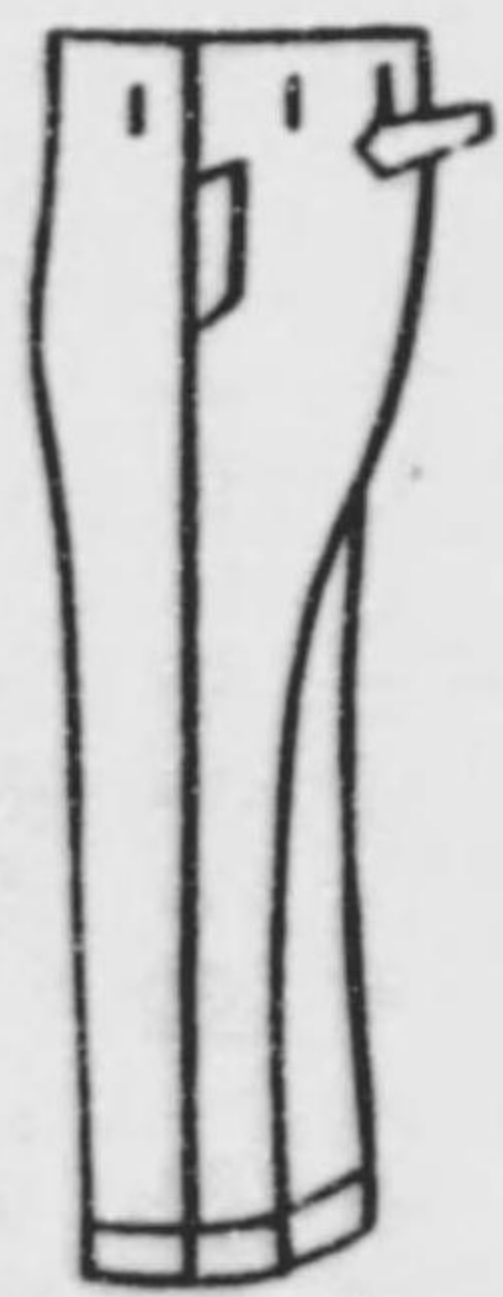
正帽前章



上衣卸



袴



脚絆



略服				操服			
袴		上衣		袴		衣	
地	制	卸	地	制	地	制	卸
質	式		質	式	質	式	
上衣ニ同シ	制服ニ同シ	制服ニ同シ	霏降小倉織又ハ之ニ準ズルモノ	制服ニ同シ	上衣ニ同シ	圖ノ如シ	制服ニ同シ

六月一日ヨリ九月三十日迄
着用スルコトヲ得又制服上
衣ト略服ズボント混用スル
ハ差支ナキモ略服上衣ト制
服ズボンノ混用ハ之ヲ許サ
ズ但シ儀式及其ノ他特ニ指
定スル場合必ス制服ヲ着用
スヘシ

第二條 登校並ニ本校生徒トシテ旅行ノ際ハ制服制帽ヲ着用スヘシ若シ病氣其他ノ事故ニヨリ和服ヲ着用セムトスルトキハ許可ヲ受クヘシ

第三條 夏服用ノ期間ハ六月一日ヨリ九月三十日迄トス

第四條 夏服用期間ニ於テハ儀式及體操ノ場合ノ外ハ略帽ヲ用フルコトヲ得

三、學業成績考查規程 (昭和四年九月十一日制定)

第一條 學業成績ヲ分チテ學期成績、學年成績及卒業成績ノ三トス
學期成績ハ學期試驗評點ト平常ノ業績及勤惰トヲ參酌シテ之ヲ定ム

第二條 學年成績ハ學期成績評點ノ和ヲ二除シテ之ヲ定ム、但シ一ノ學期ヲ以テ終了スル學科目ニアリテハ學期成績ヲ以テ學年成績ト看做ス

卒業成績ハ進級ニ合格シタル各學年ニ於ケル總學科目成績ノ學年平均評點ノ總和ニ依テ之ヲ定ム

第三條 學業成績ハ評點ヲ以テ表ハシ各學科目百點ヲ以テ滿點トス

成績評點ハ左ノ評語ヲ以テ之ヲ表示ス

甲 (八十點以上) 乙 (六十點以上)

丙 (五十點以上) 丁 (五十點未滿)

第四條 或ル學科目ハ之ヲ數分科ニ分チ各分科ハ成績考查ニ當リ之ヲ獨立ノ學科目ト看做ス

分科ヲ設クル學科目及分科數ハ每學年之ヲ定ム

第五條 學期試驗ハ每學期ノ終リニ於テ期日ヲ定メ行フ

但シ特別ノ必要アルトキハ他ノ時期ニ於テ行フコトアルヘシ

第六條 或學科目ハ學期試驗ヲ行ハス平素ノ業績及勤惰ヲ考查シテ其ノ成績ヲ定ムルコトアルヘシ

學期試驗ヲ行ハサル學科目ハ每學年之ヲ定ム

第七條 疾病其他已ムヲ得サル事由ニヨリ試驗ニ缺席シタル者ニハ平常ノ業績勤惰及出席狀況ヲ參酌シ左ノ取扱ヲナスコトアルヘシ

一、當該學科目ノ他ノ學期ニ於ケル評點ノ七割以內ヲ與ヘ之ヲ以テ其學期成績評點ト看做ス

二、一學期ヲ以テ終了スル學科目ニ就テハ追試驗ヲ行フ

追試驗ハ次學期授業開始後一ヶ月以內ニ之ヲ行フ

追試驗ノ評點ハ其ノ得點ノ八割以內ヲ與ヘテ定ム

三、兵役ニ關スル事由ニ因テ試驗ニ缺席シタル者ニハ前二號ニ依ラス特別ノ取扱ヲナスコトアルヘシ

第八條 前條ノ取扱ヲ受ケムトスル者ハ試驗缺席ノ事由ヲ詳記シ保證人ノ連署ヲ以テ遲滯ナク其旨届出ツヘシ病氣ニ因ル場合ニハ醫師ノ診斷書ヲ添付スヘシ

右ノ願出ヲナササル者ハ前條ノ取扱ヲ受クルコトヲ得ス

第九條 各學科ノ授業時數ニ對シ出席時數ノ割合六割ニ滿タサル者ハ其學科ノ學期試驗ヲ受クルコトヲ許サス

但シ特別ノ事情アリト認メタル場合ニ限り特ニ受験ヲ許スコトアルヘシ

第十條 各學科目ノ學年成績評點五十點以上ニシテ總學科目ノ學年成績評點ノ和ヲ學科目數ヲ以テ除シタル平均評點六十點以上ヲ得タル者ヲ以テ當該學年課程ヲ修了シタルモノトシ進級又ハ卒業セシメ然ラサル者ハ原學年級ニ留ム

第十一條 學年成績評點五十點未滿ノ學科目ハ未修了ノモノトシ未修了ノ學科目三科學以內ニシテ總學科目平均評點六十點以上ヲ得タル者ハ詮議ノ上假ニ進級ヲ許シ一定期日ニ於テ未修了學科目ノ再試驗ヲ行ヒ其ノ成績合格スルニ及ヒテ進級セシムルコトアルヘシ

再試驗學科目ノ成績ハ當初ノ學年成績評點ト再試驗ノ得點ヲ二倍シタルモノトノ和ヲ三除シタルモノニ依テ之ヲ定ム

再試驗學科目ノ成績ハ當初ノ學年成績評點ト再試驗ノ得點ヲ二倍シタルモノトノ和ヲ三除シタルモノニ依テ之ヲ定ム

再試驗學科目ノ成績ハ當初ノ學年成績評點ト再試驗ノ得點ヲ二倍シタルモノトノ和ヲ三除シタルモノニ依テ之ヲ定ム

再試驗學科目ノ成績ハ當初ノ學年成績評點ト再試驗ノ得點ヲ二倍シタルモノトノ和ヲ三除シタルモノニ依テ之ヲ定ム

○事務規程

一、職員服務規程 (昭和五年六月三十日制定)

- 第一條 專任ノ職員出勤シタルトキハ校長ノ定ムル特別ノ場合ノ外ハ必ス出勤簿ニ捺印スヘシ
- 第二條 病氣其他ノ事故ニヨリ缺勤又ハ遅刻セムトスルトキハ豫メ届出ツヘシ
病氣缺勤七日以上ニ渉ルトキハ醫師ノ診斷書ヲ添フヘシ
- 第三條 執務時間中病氣其ノ他ノ事故ニヨリ早退セムトスルトキハ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第四條 親族ノ喪ニ服スルトキハ其親族トノ續柄及死亡ノ日時ヲ記載シテ届出ツヘシ
父母ノ祭日ニ當リ賜暇ヲ受ケムトスルトキハ前日迄ニ其旨ヲ届出ツヘシ
- 第五條 公務ノ都合ニ依リ必要アルトキハ執務時間外又ハ休日ト雖モ服務スヘシ
休日ニ執務スルトキハ登校及退出ノ際其旨ヲ當直ニ通告スヘシ
- 第六條 歸省、墓參、轉地療養其他私事旅行ヲナサムトスルトキハ其事由及所要日數ヲ記載シ願出ツヘシ休暇中ニ於ケル
場合モ又同シ
- 第七條 出張ヲ命セラレタルトキハ出發歸任共ニ届出ヲ爲シ且遲滞ナク文書又ハ口頭ヲ以テ復命スヘシ
出張中豫定ノ日限ニ歸着スルコト能ハサルトキハ其事由ヲ具シ校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第八條 他ノ事業ノ囑託ニ應セムトスルトキハ豫メ校長ノ許可ヲ受クヘシ
- 第九條 本校ヲ經由セスシテ辭令ヲ受ケ其他履歷ニ關係アル事項アリタルトキハ其都度之ヲ届出ツヘシ
- 第十條 新任者ハ直ニ住所届ヲ差出スヘシ其後ノ住所異動アリタルトキモ亦同シ
- 第十一條 轉免又ハ休職ヲ命セラレタルトキハ擔任事務及取扱書類其他所管物品ヲ後任者又ハ校長ノ指名シタル職員ニ引

繼ヲナスヘシ

- 第十二條 公文書類ハ校長ノ許可ナクシテ猥リニ之ヲ關係者外ニ示シ又ハ謄寫セシムヘカラス
- 第十三條 校長名若クハ學校名ヲ以テスル文書ハ校長ニ稟議シ決裁ヲ受ケタル後ニアラサレハ發送スルコトヲ得ス
但シ豫メ校長ノ承認ヲ得タルモノハ事後之ヲ校長ニ報告スヘシ
- 第十四條 校内ノ出火、近火其他變災アルトキハ速ニ登校シテ警備ニ當リ災害防止ニ努ムヘシ

二、校務分掌規程 (昭和五年七月二十二日制定)

- 第一條 校務分掌ノ爲メ教務課、生徒課、人事課、事務課及圖書課ヲ置キ其ノ他必要ニ應シ研究室、標本室等ノ特別室ヲ設ク
- 第二條 教務課、生徒課、人事課及圖書課ニ課長ヲ置キ各特別室ニ室主任ヲ置ク
課長及室主任ノ任期ハ二年トス但シ必要ニ應シ伸縮スルコトアルヘシ
- 第三條 生徒課ニ生徒係若干名ヲ置ク
- 第四條 人事課ニ主事及係員若干名ヲ置ク
- 第五條 事務課ニ庶務係及會計係ヲ置キ各係ニ係主任ヲ置ク
- 第六條 各課、係又ハ室ノ分掌事務ニシテ他ノ課、係又ハ室ノ事務ニ關係アルヘキ事項ニ就テハ關係者協議ノ上之ヲ處理
シ常ニ相互ノ連絡ニ努ムヘシ
- 第七條 事務ノ所屬明カナラサルモノハ校長ノ指揮ニ依ル
- 第八條 教務課ハ左ノ事務ヲ分掌ス
一、教務ニ係ル文書ノ起案編纂及保管
一、學科課程教科書ニ關スル事
一、授業時間配當ニ關スル事

事務規程

- 一、授業及休業ニ關スル事
- 一、試験及成績ニ關スル事
- 一、教室及教具ニ關スル事
- 一、生徒募集、入學及學級編成ニ關スル事
- 一、修學旅行及見學等ニ關スル事
- 一、職員會議ニ關スル事
- 一、教員ノ出缺勤ニ關スル事
- 一、教務上ノ統計ニ關スル事
- 一、參觀人取扱ニ關スル事
- 一、其他教務ニ關スル一切ノ事務

第九條 生徒課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

- 一、生徒課ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、生徒ノ入學及學籍ニ關スル事
- 一、生徒ノ監督及風紀ニ關スル事
- 一、生徒ノ勤怠及賞罰ニ關スル事
- 一、生徒ノ健康衛生及身體檢査ニ關スル事
- 一、學資貸給其他生徒ノ生活ニ便スル福利施設ニ關スル事
- 一、生徒ノ兵役ニ關スル事
- 一、生徒ノ願、届及船車割引證等ニ關スル事

- 一、儀式ニ關スル事
- 一、學友會ノ監督ニ關スル事
- 一、銃器火藥及警備ニ關スル事
- 一、生徒ノ統計ニ關スル事
- 一、卒業生ニ關スル事
- 一、其他生徒ニ關スル一切ノ事務

第十條 人事課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

生徒ノ在學中及卒業後ニ於ケル各自ノ身上ニ關シ補導援助ヲナスコト

第十一條 事務課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

庶務係

- 一、庶務ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、御眞影及勅語謄本ノ管守竝ニ儀式ニ關スル事
- 一、職印、校印ノ管守ニ關スル事
- 一、職員ノ進退身分服務出張及諸願届ニ關スル事
- 一、職員ノ出勤簿ノ整理
- 一、法令規則類ノ整理及保管
- 一、文書ノ收受發送及保管
- 一、學校一覽、年報、官報、日誌、證書及記録ニ關スル事
- 一、宿直、日直及校外外ノ警備竝ニ衛生ニ關スル事

事務規程

事務規程

三二

- 一、備人ノ進退及取締ニ關スル事
- 一、外來者ノ應接
- 一、他課ノ所管ニ屬セサル一切ノ事務

會計係

- 一、會計ニ關スル文書ノ起案編纂及帳簿ノ整理保存
- 一、豫算決算ニ關スル事
- 一、財産ノ保管ニ關スル事
- 一、金錢出納ニ關スル事
- 一、營繕ニ關スル事
- 一、物品ノ購入出納保管及處分ニ關スル事
- 一、授業料及手数料ニ關スル事
- 一、寄附ノ收受ニ關スル事
- 一、給水電氣瓦斯暖房防火器及通信機等ニ關スル事
- 一、其他會計ニ關スル一切ノ事務

第十二條 圖書課ハ左ノ事務ヲ分掌ス

- 一、圖書ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、購入圖書及新聞雜誌年報一覽等ノ選擇註文竝ニ整理保管
- 一、圖書印等ノ管守
- 一、書庫及閱覽室ノ整理竝ニ取締

- 一、圖書類ノ出納及貸出ニ關スル事

- 一、寄贈及委託圖書ニ關スル事

- 一、圖書目錄ノ編纂及保管

- 一、其他圖書ニ關スル一切ノ事務

第十三條 特別室ハ各左記ノ事務ヲ分掌ス

研究室

- 一、特定ノ學術上ノ研究調査ニ關シ必要ナル圖書資料ノ蒐集整理及保存利用ニ關スル事
- 一、前項ノ研究調査ニ關聯シ必要ナル一切ノ事務

標本室

- 一、商品見本及理化學用具標本模型藥品等ニ關スル文書ノ起案編纂及保管
- 一、前項物品ノ蒐集整理及保存利用ニ關スル事
- 一、其他商品及理化學用品ニ關スル一切ノ事務

三、處務規程 (昭和五年九月三十日制定)

第一條 校長事故アルトキハ事務ニ關シテハ主務課長之ヲ代理ス

但シ重要ナル事項ニシテ急遽處理ヲ要セサルモノハ校長ノ決裁ヲ經テ施行スルモノトス

第二條 事務ノ性質ニ依リテハ臨時若クハ常設ノ委員ヲ設ケテ之ヲ處理セシムルコトアルヘシ

第三條 訓令、内訓、達、通牒、指令等ニシテ例規トナルヘキモノハ其原本ヲ庶務係ニ於テ編綴保存スヘシ

第四條 本校ニ到着セル封書、書籍、其他ノ封緘物件ハ公用ト私用トヲ問ハス庶務係又ハ當直員ニ於テ到着物受付簿ニ登錄ノ上當該課員又ハ宛名人ニ遲滞ナク配付シ書留郵便物及之ニ類スル物ニ就テハ受領印ヲ徵スヘシ

事務規程

三三

生徒宛ノ郵便物等ハ總テ生徒課ニ配付スヘシ

第五條 公文書ハ親展文書ヲ除キ庶務係ニ於テ之ヲ收受シ文書件名簿ニ登記シ該文書ニ番號及月日ヲ記入シタル上速カニ主務課ニ配付シ受領印ヲ徴スヘシ

校長宛親展文書ハ庶務係ヨリ校長ニ進達シ下附セラレタルモノハ前項ニ準シ手續ヲナスヘシ

二課以上ニ關係アル文書ハ其重キニ從ヒ配付スヘシ

電報ハ之ニ譯文ヲ附シ第一項ノ手續ヲナスヘシ

第六條 左ノ文書ハ主務課ニ於テ直接收受スヘシ

一、各課宛親展文書

二、生徒ヨリ差出ス願届類

三、入學願書

四、其他校長ノ指定シタル書類

第七條 各課ニ於テ交付ヲ受ケタル文書ニシテ處分ヲ要スルモノハ遲滞ナク處分案ヲ起草シ其他ニ關係アルモノハ合議ノ上校長ニ稟議スヘシ

文書ニ餘白アルトキハ稟議用紙ヲ用ヒス餘白ニ處分案ヲ記載スルコトヲ得

第八條 決裁済ノ文書ニシテ發送ヲ要スルモノハ各主務課又ハ庶務係ニ於テ淨書ノ上發送ノ手續ヲ執ルヘシ

第九條 發送文書ハ特別ノ場合ヲ除キ校長名又ハ學校名ヲ用ヒ左ノ例ニ依リ番號ヲ付シ主務課ニ於テ文書發送簿ニ登録スヘシ

ヘシ

神高商教發

神高商生發

神高商庶發

神高商計發

神高商圖發

第十條 庶務係ニ於テ郵便電信ヲ發送シタルトキハ其月日、發送先、料金(用件)ヲ登記スヘシ

第十一條 回覽ヲ要スル文書ハ庶務係ニ於テ之ヲ回覽ニ供シ校長關係各課長各主任及職員ニ及ホシ回覽済ノ上ハ庶務係ニ於テ之ヲ主務課ヘ返付スヘシ

第十二條 完結文書ハ主務課ニ於テ同種事件ニ關スルモノヲ取纏メテ整理シ處理完結ノ月日ヲ逐ヒ卷首ニ牽引ヲ付スヘシ

完結文書ハ別ニ定ムル期間主務課ニ於テ保存スヘシ

第十三條 特殊ノ取扱ヲ要スル文書ハ其上部餘白ニ左ノ種別ヲ朱記シ別冊トシテ整理スヘシ

一、例規トナルヘキモノ 「例規」

二、秘密ニ涉ルモノ 「秘」

四、會議

第一條 校務上ノ打合セヲナシ又ハ校長ノ諮問事項ヲ審議スル爲メ必要ニ應ジ職員會又ハ教授會ヲ開ク

第二條 職員會ニ出席スヘキ職員ハ會議ノ目的タル事項ニ依リ開會ノ都度校長之ヲ定ム

第三條 教授會ハ教授ヲ以テ會員トス

但シ時宜ニ依リ校長ハ他ノ職員ヲ之ニ列席セシメ又ハ之ニ出席スヘキ會員ヲ指定スルコトアルヘシ

第四條 職員會及教授會ハ校長之ヲ召集シ校長又ハ校長カ代理ヲ命シタル職員其ノ座長トナル

五、圖書規程 (昭和五年十二月十五日制定)

(一) 總則

第一條 圖書ハ凡テ書庫内ニ收メ圖書課之ヲ管理ス

第二條 圖書ヲ寄託セントスル者アルトキハ其ノ需メニ應スルコトアルヘシ

寄託圖書ニ關シテハ寄託者ヨリ特ニ指定セル條件ニ從フノ外凡テ本校圖書ト同一ノ取扱ヲナス

第三條 圖書又ハ圖書購入資金ノ寄贈ヲ受ケタルトキハ之ヲ寄贈簿ニ登錄シ圖書ニハ寄贈者ノ氏名ヲ記入ス

第四條 圖書ヲ別チテ左ノ二種トス

一、普通圖書

二、特別圖書

(二) 購 入

第五條 圖書購入ノ請求ヲナシ得ル者ハ教職員トス

第六條 圖書購入請求書ハ圖書購入請求票ニ必要ノ事項ヲ記入シ圖書課長ニ差出スヘシ

第七條 圖書課長ハ豫算其他ノ調査ヲナシ校長ノ承認ヲ受ケ直チニ購入ノ手續ヲナスヘシ

(三) 整 理

第八條 圖書ヲ購入シタルトキハ直ニ圖書原簿ニ登録シ閱覽ニ必要ナル手續ヲナスヘシ

第九條 圖書ノ寄贈ヲ受ケタルトキハ第三條及前條ノ手續ヲナスヘシ

但シ小冊子及之ニ類スルモノハ圖書原簿ニ登録スルコトナク閱覽ニ供スル手續ヲナスコトヲ得

第十條 新聞雜誌ノ保存ニ關シテハ永久當分ノ二種ニ區別シ永久保存ノモノハ製本後圖書原簿ニ登録スヘシ

第十一條 整理前ノ圖書ハ之ヲ貸出又ハ閱覽セシムルコトヲ得ス

但シ特ニ校長ノ許可アリタル場合ハコノ限ニアラス

第十二條 圖書ノ點檢ハ隨時之ヲ行フ

(四) 檢 索

第十三條 圖書課員ノ外圖書ノ出納ヲナスコトヲ得ス

第十四條 左ニ掲クル者ハ書庫内ニ入りテ圖書ノ檢索ヲ爲スコトヲ得

一、教 職 員

二、特ニ校長ノ許可ヲ得タル者

第十五條 特別圖書ノ檢索ハ其閱覽ヲ許可セラレタル者ニ限り圖書課員立會ノ上之ヲ爲スコトヲ得

第十六條 圖書檢索者ハ書庫内ニ於テ圖書管理上最善ノ注意ヲ拂フヘシ

(五) 貸 出

第十七條 圖書ヲ借受クルモノハ定式ノ借用紙ニ所定ノ事項ヲ記入シ記名捺印スヘシ

第十八條 各課及特別室ニ於テ教授上又ハ執務上必要ナル圖書ハ校長ノ許可ヲ受ケタル冊數ニ限り借受クルコトヲ得

各課長又ハ室主任ハ其ノ保管ノ責ニ任ス

第十九條 普通圖書ハ左ノ制限内ニ於テ借受クルコトヲ得

一、教 職 員	冊 數	期 間
二、特ニ校長ノ許可ヲ受ケタル者	三十冊	六ヶ月間
三、冊	一ヶ月間	

第二十條 特別圖書ハ教職員ニ限り十日間借受クルコトヲ得

但シ特ニ校長ノ許可ヲ得タル場合ハ十日以上ニ亘ルコトヲ得

第二十一條 借受ケタル圖書ハ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス

第二十二條 借受ケタル圖書ハ借用者其ノ保存ノ責ニ任シ紛失又ハ汚損シタルトキハ圖書又ハ代價ヲ以テ辨償セシメ若クハ之ヲ修繕セシムルコトアルヘシ

第二十三條 貸出期限内ト雖モ必要アルトキハ圖書ヲ臨時返納セシメ又ハ之ヲ點檢スルコトアルヘシ

(六) 閱 覽

第二十四條 閱覽室ハ休日ノ外毎日午前八時三十分ヨリ午後四時三十分迄之ヲ開ク

但シ時宜ニヨリ變更スルコトアルヘシ
第二十五條 圖書ヲ閱覽セントスルモノハ定式ノ閱覽證用紙ニ所定ノ事項ヲ記入ノ上係員ヨリ借受ケ閱覽終リタルトキハ直チニ返納スヘシ

閱覽圖書ハ三冊ヲ限リ同時ニ借受クルコトヲ得

第二十六條 閱覽圖書ハ閱覽室外ニ携出スルコトヲ許サス

第二十七條 借受ケタル圖書ヲ紛失又ハ汚損シタルトキハ圖書又ハ代價ヲ以テ辨償セシメ若クハ修繕セシムルコトアルヘシ

六、警備規程 (昭和五年九月三十日制定)

第一條 專任職員ノ中ニ警備主任ヲ置キ各種警備ニ關スル事務ヲ主管セシム

第二條 非常用具及非常設備ハ毎月少クトモ一回警備主任ニ於テ點檢シ尙藥品等ニテ交換ヲ要スルモノハ次回交換月日ヲ記載貼布スヘシ

第三條 非常持出箱ニハ「非常持出」ト標記スヘシ

校内非常用具、非常設備及非常持出箱ノ所在ヲ當直室竝ニ事務室ニ揭示シ置クヘシ

第四條 電燈及瓦斯ノ裝置機能等ニハ常ニ注意シ警備主任ハ庶務係及會計係立會ノ上毎年少クトモ一回技術者ヲシテ之ヲ檢査セシムヘシ

第五條 當直室ニハ消防署及警察署ノ電話番号ヲ揭示シ置クヘシ

第六條 校内ノ出火、近火其ノ他非常事變發生ノ場合ハ發見者ハ直ニ事務課又ハ當直員ニ急報スヘシ

第七條 執務時間外ニ於テ前條ノ事變ノ爲大事ニ至ル虞アリト認メタルトキ當直員及現在員ハ左ノ概目ニ從ヒ非常手配ヲ爲スト同時ニ學校長、各課長各主任其ノ他ノ職員ニ急報スヘシ

一、御眞影竝ニ勅語謄本ノ奉護

二、消防署並ニ警察署トノ連絡

三、應急災害防止方法ノ實施

四、非常持出箱及其ノ他ノ文書竝ニ物品ノ搬出

五、構内出入口及搬出物ノ警戒

第八條 執務時間外ニ於テ前條ノ急報ニ接シ又ハ事變ヲ聞知シタル職員生徒ハ直ニ登校シテ非常手配中ニ參加シ災害防止ニ努ムヘシ

七、當直規程 (昭和五年七月二十二日制定)

第一條 判任官待遇職員及之ニ準スル專任職員ハ一名宛輪番ヲ以テ當直勤務ヲ爲スヘシ

當直ノ順番ハ庶務係ニ於テ之ヲ定メ少クトモ三日以前ニ本人ニ通知スヘシ

第二條 當直勤務時間ハ宿直ニアリテハ午後四時ヨリ翌日ノ午前八時迄トシ日直ニアリテハ午前八時ヨリ午後四時迄トス但シ保管物竝ニ收受物ノ引繼ヲ了スルニ非サレハ勤務ヲ離ル、コトヲ得ス

第三條 左ノ期間中ハ當直ヲ免除ス

一、出張ノ日ヨリ歸任ノ日マテ

但シ午前中ニ出發スルトキハ其ノ前日ノ宿直ヲ免除ス

二、忌引中

三、父母ノ看病ノ爲メ請假中

四、徵兵檢査召集點呼等ニ應召中及其ノ前日

五、新任者着任後七日間

六、特別ノ理由ニ基キ指定セラレタル期間

第四條 病氣其ノ他ノ事故ニ依リ當直ヲ缺勤シタルトキハ次番者ヲ繰上ケ勤務セシム
前項缺勤者ハ後日之ヲ補勤セシム但シ病氣缺勤七日以上ニ亙ルトキハ此ノ限ニ非ス

第五條 當直中ハ左ノ帳簿及物品ヲ備ヘ置クヘシ

一、宿直日誌

二、職員及生徒住所録

三、各室鎖鑰

四、文書及物品ノ收受簿及發送簿

五、郵便切手端書及同受拂簿

六、電信用語符號表

七、文書及物品容器

第六條 當直者ハ左ノ各項ノ事務ヲ執行スヘシ

一、校僕ヲ指揮監督シテ校内ノ一般警備特ニ火元ノ取締ニ注意シ夜間ハ午後八時以後ニ於テ二回以上校僕ヲ伴ヒ校舎内

外ヲ巡視シテ異狀ノ有無ヲ調査スルコト

二、非常事變アルトキハ警備規程ニ從ヒ臨機ノ處置ヲ爲スコト

三、各室鎖鑰ヲ安全ニ保管スルコト

四、文書等ノ收受發送ヲ爲スコト

但シ公文書中急ヲ要スルコトヲ認メタルモノハ直ニ校長若クハ當該課員ニ回附スルコト

第七條 當直者ハ左記事項ヲ當直日誌ニ記錄シ該日誌ト共ニ保管竝ニ收受シタル文書及物品ヲ庶務係若クハ次番者（休日

ナルトキ）ニ引繼クヘシ

但シ重要ト認ムル事項ハ口頭ヲ以テ校長若クハ當該課員ニ報告スヘシ

一、月日、曜日、天候

二、當直職員及校僕氏名

三、鎖鑰ヲ使用シタルトキハ其ノ事由

四、校内異狀ノ有無

五、來校者氏名及用件

六、其他處理事項ノ顛末

第八條 當直勤務中止ムヲ得サル事故ヲ生シタルトキハ第一條ノ職員中ヨリ代勤者ヲ定メ其ノ登校ヲ待チテ退出スルコトヲ得

第九條 庶務係ハ當直簿ヲ備ヘ當直勤務者當直免除者及當直缺勤者ニ關スル記錄ヲナシ免除及缺勤ニ關シテハ其ノ理由ヲ明記スヘシ

八、貿易研究室規程（昭和九年十二月三日制定）

第一條 本研究室ハ貿易及其他國際的經濟問題ニ關シ理論ノ研究竝ニ實地ノ調査ヲ行フヲ以テ目的トス

第二條 本研究竝ニ其ノ目的ノ爲メ左ノ事業ヲ行フ

一、研究調査ニ必要ナル圖書資料ノ蒐集整理竝ニ保管利用

二、研究調査ニ關シ職員生徒竝ニ實際家ト連絡シ必要ナル協同ヲ行フコト

三、研究調査ノ結果ノ發表

四、其他本研究室ノ目的ノ爲メ適當ト認メタル事項

事務規程

第三條 本研究室ニ左ノ役員ヲ置キ本校職員中ヨリ校長之ヲ命ス
 委員若干名 研究調査ヲ分擔シ協同シ事業ノ遂行ニ當ル
 主任 一名 委員中ヨリ之ヲ命シ本部ノ事業ヲ統括ス
 常務委員一名 委員中ヨリ之ヲ命シ本部ノ常務ヲ處理ス
 係員若干名 委員ノ指揮ニ從ヒ事務ニ從事ス
 第四條 圖書課ノ管理ニ屬スル圖書ニシテ本研究室ニ必要ナルモノハ圖書課ノ委託ヲ受ケ本室ニ於テ之ヲ管理スルコトヲ得

○職員

○現職職員 (二月現在)

職名	姓名	学位
校長	原口亮平	神戸商業大學名譽教授
教授	西居靈	文學士
	鈴木富太	文學士
	須藤文	文學士
	小松泰	文學士
	須永秀	文學士
	岡田	文學士
	一谷藤一	文學士
	小菅敏	文學士
	中井眞太	文學士
	三戸雄	文學士
	田中	文學士
	有井	文學士
	本田	文學士
	本田	文學士
	實治	文學士

職員

職員

哲學、社會政策、英文經濟、獨逸語、獨文經濟學研究

(在外研究中)

保險、海上保險、火災保險、生命保險

英語

銀行、貿易、倉庫、信託

國語漢文、作文及書法

生徒主事

(兼)

文學士
(兼) バチエラー、オプ、アーツ
(スタンフォード大學)

法學士

砲兵中佐

歩兵大佐

准尉

文學士

商學士

文學士

文學士

文學士

文學士

四四

田村吉實

谷口重吉

前田加一郎

橋本泰來

北尾政雄

永松忠雄

西居靈證

鈴木富太郎

小松泰馬

中林裂婆吉

西隆順

迎垣半治

岡部久義

中村長之助

永村末喜

マスター、オプ、アーツ
(エール大學)
歩兵少佐

教授囑託

英語、英文通信、貿易通信

教練

助教

配屬將校

(出征中)

教練

體操

英語、英文通信、貿易通信

數學、商業數學

工業要項

經營學

外國爲替、爲替研究

物理學、自然科學

海上運送

化學

佛蘭西語

佛蘭西語

支那語

國史

獨逸語

講師

書法

珠算

タイプライティング

劍道

柔道

理學士

工學士

商學士

理學士

工學士

商學士

工學士

法學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

文學士

尾上千之

川井一郎

福田敬太郎

池田實

上林一雄

生島廣治

山下吉二

賀來俊一

賀屋俊雄

山名正孝

木島誠三

加藤一郎

小林好重

余根田廣太郎

近藤主二

本田重遠

藤田俊男

職員

外國人教師

四五

職員

人事課

課長兼主事	主事	主事	主事	人事係
教授主事	教授主事	教授主事	教授	書記
西居 靈	鈴木 富太	須藤 文	岡田	馬田 瀧三郎

生徒課

課長	生徒係兼警備主任	生徒係	生徒係	生徒係
教授主事	教授嘱託	助教授	助教授	書記
鈴木 富太	永村 末喜	迎垣 半治	岡部 久義	森初 次

○事務分掌

教務課

課長	教授主事	書記	近藤 主二	西居 靈
長谷川 富夫	宮脇 久巳	鈴木 富太	永村 末喜	迎垣 半治

職員

書記

英語 英語 英語 英語 支那語

徐 仁 怡	竹中 俊雄	馬田 龍三郎	近藤 主二	本多 新一郎
森 初 次	吉坂 武男	長谷川 富夫	好田 義明	桑重 一男

校醫

縣立神戸病院内科部長 醫學博士

竹田 正次

同	同	同	第一學年級主任	同	同	同	第二學年級主任	同	同	同
C組主任	B組主任	A組主任		C組主任	B組主任	A組主任		C組主任	B組主任	A組主任
教	教	教	教	教	教	教	教	教	教	教
授	授	授	授	授	授	授	授	授	授	授
小菅敏郎	有井治郎	木田實郎	岡田巧	橋本來	北尾政	田中博	須永秀	前田加一	一谷藤一	三戸雄一

年級主任及組主任	貿易研究室			事務課	圖書課	人事係
第三學年級主任	委員(主任)	委員	委員	會計係主任	庶務係主任	課長
須藤文吉	教授	教授	教授	書記	書記	兼生徒主事
	余根田廣太郎	谷口重吉	本井實治郎	有田中博	田中龍三	馬田俊
				吉坂武男	本多新一郎	桑重一男
						小松新一郎
						桑重一男

○舊職員

前官職	在職	摘要	現職又ハ住所	氏名
講師	自昭和四年四月二十三日	解	兵庫縣體育主事	木村伊勢
講師	自昭和五年四月二十三日	解	神戸高工教授	瀨尾武次
講師	自昭和四年四月三十日	解	神戸高工教授	山下吉二
講師	自昭和六年三月三十一日	解	縣立第一神戸商業教諭	土本源治
書記	自昭和六年四月十六日	退	縣立第一神戸商業教諭	弓田瑞穂
外國人講師	自昭和六年三月三十一日	契約満期		ダブルユー、ビ、シ、トラップオード
教授	自昭和四年四月十日	解	京都帝大助教	山崎直樹
教授	自昭和七年四月二十三日	解		杉武夫
書記	自昭和四年七月五日	退	神戸市須磨區磯馴町一丁目四	黒田倫吉
教授	自昭和五年三月三十一日	解	大阪女子醫專教授	野澤仁三
教授	自昭和六年三月三十一日	解	大阪商大豫科教授	片山俊
教授	自昭和八年四月十日	解		シ、ビ、ケ、アーガール
教授	自昭和八年四月十日	解		近藤英也
教授	自昭和八年六月十五日	解		中垣貫
教授	自昭和八年六月三十日	解	明石市役所	

前官職	在職	摘要	現職又ハ住所	氏名
教授	自昭和四年四月二十三日	解	神戸高工教授	片岡秀吉
書記	自昭和五年三月三十一日	解	神戸坂倉商店	水谷桂之輔
講師	自昭和九年四月十二日	退	京都市立松原商務學校教諭	増田正巳
配屬將校	自昭和九年八月一日	服務被免	山口縣熊毛郡大野村	松宮啓
教授	自昭和六年三月三十一日	解		ジャン、フアヴェリアル
教授	自昭和八年四月十日	解		ボール、イ、エツクル
教授	自昭和五年三月三十一日	死		大田節男
教授	自昭和五年三月三十一日	解		中野亮之助
教授	自昭和十一年三月三十一日	解		シ、ビ、ケ、アーガール
書記	自昭和十一年三月三十一日	轉任	縣立姫路工業學校教諭	勝野勳
講師	自昭和十一年三月三十一日	解	縣立第一神戸商業教諭	安藤榮
講師	自昭和十一年三月三十一日	解	大阪府警察部	若林信治
教授	自昭和十一年四月八日	解	大阪商大高商部教授	岡本修助
教授	自昭和十一年五月十七日	死		杉浦
教授	自昭和十一年五月九日	死		西本勇治
教授	自昭和十二年四月六日	退		

前官職	在職	職	摘要	現職又ハ住所	氏名
書記	自昭和十二年四月十一日	死	死亡	神戸商大教授	物延 研治
教授囑託	自昭和十二年五月三十一日	解	囑託	兵庫縣體育運動主事	宮下 幸吉
助教	自昭和十二年七月三十一日	轉	任		川上 不二夫
配屬將校	自昭和十二年九月十四日	服	務被免		伊藤 眞雄
校長	自昭和十二年十月二十二日	卒	去	大阪商大高商部教授	松井 辰之助
教授囑託	自昭和十二年三月三十一日	解	囑託	神戸商大教授	齋藤 常三郎
教授囑託	自昭和十二年三月三十一日	解	囑託	京都帝大農學部	齋藤 仁
教授囑託	自昭和十二年四月十一日	解	囑託		林 嘉一
教授囑託	自昭和十二年七月十六日	解	囑託		カスバート、ロビンソン
配屬將校	自昭和十二年八月三十一日	服	務被免		本川 治郎
講師	自昭和十三年三月三十一日	解	囑託		山本 正信
雇	自昭和十三年四月三十日	解	雇		宮里 アサ
教授囑託	自昭和十三年五月五日	解	囑託	福井縣今立郡北中山村	佐々木 圓梁

○生 徒

(昭和十三年九月一日現在)

第三學年 A組 (五十一名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
大阪明星商	余部 春峯	大阪	大連第二中	北川 照男	東京	第一神戸中	瀧谷 善三郎	大阪
大阪高津中	淺野 昌武	大阪	香川坂出商	近藤 馨	香川	第一神戸中	谷隆 三郎	大阪
加古川中	榎本 章二	兵庫	第一神戸商	小西 隆夫	兵庫	大阪成器商	榎井 常晏	大阪
第一神戸商	藤本 景三	同	龍野中	黒田 治	同	明石中	梅津 寛一郎	兵庫
加古川商	藤田 健三	同	高知中村中	楠本 正時	高知	第一神戸商	宇佐 美忠雄	兵庫
三重尾鷲中	濱口 房藏	三重	第二神戸中	丸山 泰雄	兵庫	第一神戸商	山本 茂三	大阪
大阪扇町商	狭間 榮祐	大阪	水島 正三	森田 章郎	大阪	第一神戸商	横山 勇二	大阪
京都第二商	平山 政次	京都	大天王寺商	村上 靖夫	兵庫	第一神戸商	米田 雄也	兵庫
第三神戸中	廣畑 正利	兵庫	阪天寺商	森上 三郎	兵庫	第一神戸商	頼廣 也	兵庫
同	入江 重三	同	第三神戸中	村崎 夫	兵庫	第一神戸商	橋本 明也	兵庫
廣島第一中	伊東 信三	廣島	鳳鳴中	長澤 潔	同	第一神戸商	河本 義明	兵庫
第一神戸中	岩村 保之	京都	甲陽中	大森 直之	高知	山誠之館中	河相 弘治	兵庫
加古川中	金澤 健二	兵庫	第三神戸中	坂本 輝進	岡山	第三神戸中	森元 治	兵庫
第一神戸中	柏木 章二	同	第一神戸中	柴本 輝之	兵庫	龍野中	中塚 正道	同
第一神戸商	川上 隆三	同	第二神戸中	重田 勇作	兵庫	宮崎肥中	中山 巳佐男	同
宮崎都城商	榎上 誠三	同	第三神戸商	柴田 勇作	兵庫	瀧川中	島崎 登太郎	兵庫
瀧川中	木下 信雄	滋賀	第一神戸中	高橋 徳治	新潟	瀧川中	兵衛 崎	兵庫

第三學年 (五十一名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
明石中	安藤 圭正	兵庫	第三神戶中	森本 清曉	兵庫	廣島第一中	品川 一雄	廣島
京都第一商	荒川 圭市	京都	姫路商	永井 芳夫	同	大阪明星商	鹽崎 正一	大阪
第二神戶中	藤原 謙徳	岡山	京都第一商	長野 三夫	京都	澁川中	高原 一耶	大阪
福誠之館中	東治 徳雄	同	京都四條商	中川 喜彦	同	第三神戶中	竹林 文二	岡山
京都第二商	平松 常雄	京都	神戶夜間中	西村 錦彦	同	第二神戶中	上原 克己	同
灘中	井口 泰藏	兵庫	神戶夜間中	西村 錦彦	同	愛媛四條中	榑井 俊男	同
第一神戶商	池本 泰稔	同	豊岡中	野垣 一男	兵庫	大阪明星商	矢倉 藤雄	大阪
澁川中	今井 俊治	同	第一神戶中	越智 英敏	同	加古川中	山田 豊信	同
第一神戶商	磯村 喬弘	同	第一神戶中	大橋 收二	京都	第三神戶中	山田 厚信	同
姫路商	岩宮 重雄	同	第一神戶中	岡本 靖彦	兵庫	大阪東商	吉田 清守	同
甲陽中	神谷 直樹	同	第二神戶中	近江 正治	同	鳥取中	赤井 千嶽	同
京都第一中	金澤 眞三	滋賀	大阪大倉商	長部 隆夫	岡山	鳥取中	赤井 千嶽	同
鳥取第二中	河崎 浩夫	鳥取	大阪大倉商	長部 隆夫	岡山	鳥取中	赤井 千嶽	同
姫路中	上月 辰巳之丞	兵庫	天王寺商	陸野 恒義	兵庫	第一神戶商	森川 健三	同
第一神戶商	松谷 一三	同	京都第三中	齋藤 麟太郎	兵庫	大阪市商	野勢 幹太	同
大阪茨木中	妻鹿 利男	同	香川坂出商	嶋本 憲一	香川	第一神戶商	山脇 力也	同

第三學年 (五十名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戶商	明田 謙三	兵庫	島根大社中	古曾 志正	島根	第三神戶中	堤 不二夫	兵庫
第三神戶中	安藤 太耶	同	第三神戶中	倉澤 二耶	同	第一神戶中	内田 重一	同
第一神戶商	荒木 義夫	同	岡山津山商	前田 六壽	岡山	第一神戶中	楠田 正義	同
徳島脇町中	藤井 龍男	徳島	金澤第一中	丸岡 大六	兵庫	第一神戶中	梅田 正彌	同
天王寺商	福本 正雄	兵庫	京都第一商	三久 保夫	滋賀	都立命館中	若林 士郎	京都
灘中	濱田 雄三	兵庫	第二神戶中	村岡 宏三	兵庫	龍野中	八木 稔雄	兵庫
豊岡中	伊原 信雄	同	第一神戶中	中村 謙四	同	第一神戶商	山田 音次	同
第一神戶商	井川 道直	同	第一神戶中	延藤 龜郎	岡山	灘中	山口 護	同
第一神港商	池田 正道	同	第三神戶中	岡本 隆夫	兵庫	第一神戶中	山本 雄二	同
甲陽中	稲垣 武夫	同	第一神戶中	太田 鏡一	石川	第一神戶中	矢野 鷹男	同
第一神戶商	石野 孝三	兵庫	第一神戶中	大坪 豊治	北海道	第二神戶中	梶原 正二	同
灘中	井藤 康三	同	第一神戶中	齋藤 豊夫	兵庫	第三神戶中	小島 政雄	同
京都第一商	井澤 康三	同	大阪大倉商	阪本 一夫	同	京都第三中	松原 道雄	同
奈良叡傍中	川井 清繁	同	大阪東商	鹿海 義治	同	天王寺中	大橋 良太郎	同
大連商	川本 清	同	三田中	高橋 文夫	同	甲陽中	尾崎 榮三	同
第一神戶商	木崎 正滋	同	新瀨中	高橋 文夫	同	京都第二商	高木 利久	同
關學中學部	木村 正滋	同	第一神戶中	高田 豊一	同			

第二學年

組 A (六十一名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
瀧川中	安積敏男	兵庫	姫路商	宮脇正弘	兵庫	第一神港商	辻堂利夫	兵庫
第二神戶中	藤井廣治	兵庫	大阪堺中	森木泰正	兵庫	福島安積中	津野周吉	兵庫
第三神戶中	藤本勝一	兵庫	第一神港商	森岡義雄	兵庫	明石中	浦井和男	兵庫
第二神戶中	深谷銀一	兵庫	第一神戶中	母袋吉之助	兵庫	第一神戶中	浦井和男	兵庫
第三神戶中	福岡健介	兵庫	第二神戶中	村井信雄	兵庫	第三神戶中	和野實	兵庫
大阪北野中	濱田博之	兵庫	第一神戶中	内藤健次郎	兵庫	第二神戶中	渡邊時雄	兵庫
大阪市閩商	樋野信次郎	兵庫	第一神戶中	西村芳三	兵庫	第一神戶中	山田總太郎	兵庫
瀧川中	平久保正男	滋賀	京都第一商	西岡邦信	兵庫	第二神戶中	山本義一	兵庫
第一神戶中	石川富次	滋賀	大阪北野中	小田中崎三	兵庫	第一神戶中	吉田英二	兵庫
第二神戶中	梶金之助	兵庫	京都第八中	荻野榮一	兵庫	第一神戶中	青木英造	兵庫
第一神港商	龜井泰夫	滋賀	第三神戶中	關田正勝	兵庫	同	古河俊造	兵庫
第一神港商	小川重夫	兵庫	滿洲鞍山中	尾松義邦	兵庫	同	甲斐治郎	兵庫
龍野中	是兼八郎	兵庫	橫濱第一中	柴田藏	兵庫	同	金田榮之助	兵庫
第三神戶中	倉田剛二	兵庫	第三神港商	島田專一	兵庫	同	前川晴一	兵庫
第二神戶中	眞淵省三	兵庫	第一神戶中	島屋泰一	兵庫	同	名川淵晴	兵庫
第一神戶中	前橋亮	兵庫	第二神戶中	白澤真一	兵庫	同	中村三丸	兵庫
第一神戶中	丸山寛一	兵庫	同	信澤真一	兵庫	同	高木新二	兵庫
第一神戶中	松井武次	兵庫	同	寺西與夫	兵庫	同	白井敏郎	兵庫
第一神戶中	三橋益次	兵庫	同	坪井三郎	兵庫	同	小野中	兵庫

第二學年 組 B (六十二名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戶中	淺見眞太郎	兵庫	岡山第一商	松尾清	岡山	大阪扇町商	富田純太郎	兵庫
第二神戶中	土居通秋	兵庫	第一神戶中	三宅久夫	兵庫	第一神戶中	坪田福三	兵庫
第一神戶中	深田一	兵庫	第二神戶中	物延秀夫	兵庫	三田中	上原八三	兵庫
加古川中	福田興一	兵庫	宇治山中	森田英二	兵庫	瀧川中	白井幸男	兵庫
第二神戶中	後藤文利	兵庫	第三神戶中	野間稔	兵庫	第二神戶中	若原謙次	兵庫
山口萩中	弘中五夫	兵庫	第一神戶中	大庭六郎	兵庫	第一神戶中	渡邊種男	兵庫
第一神港商	廣岡敬三	兵庫	第一神戶中	尾島俊博	兵庫	第一神戶中	山本亮輔	兵庫
第一神戶中	廣瀬德雄	兵庫	同	佐賀孝一	兵庫	同	山中八洲	兵庫
第一神戶中	日吉勝郎	兵庫	第一神戶中	妹尾鈴弘	兵庫	同	米倉秀民	兵庫
第一神港商	稲見龍一	兵庫	第三神港商	清水泰三	兵庫	同	藤本雅夫	兵庫
明石中	伊藤常太	兵庫	同	白井登喜和	兵庫	同	岸本貞二	兵庫
京都第二商	岩井龍一	兵庫	同	杉浦厚生	兵庫	同	近藤正夫	兵庫
第一神戶中	銀治道	兵庫	同	住元楠雄	兵庫	同	大尾正夫	兵庫
第一神戶中	金山利春	兵庫	同	隅谷市郎	兵庫	同	西尾正夫	兵庫
新州公立商	北浦利彦	兵庫	同	諏訪敏之	兵庫	同	大合重夫	兵庫
第三神戶中	小池準一	兵庫	同	多智正尚	兵庫	同	育英商	兵庫
第一神戶中	小西公一	兵庫	同	田原三郎	兵庫	同	大天王寺中	兵庫
京都桃山中	久保直一	兵庫	同	武田榮二	兵庫	同	明石中	兵庫
京都桃山中	久保直一	兵庫	同	田丸富博	兵庫	同	第一神戶中	兵庫
甲陽中	黒川彦一	兵庫	同	民谷博	兵庫	同	同	兵庫

第二學年 (五十四名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
德島商	足立金一	德島	第一神戶中	北村章藏	香川	京都第一商	並見義郎	京都
姫路中	秋山五郎	兵庫	第一神戶商	小林博美	兵庫	第一神戶商	高本三郎	愛媛
京都第一商	藤井英一	京都	第一神戶中	高坂昇	神奈川	山興讓館中	竹角三郎	岡山
第一神戶中	藤本眞一	兵庫	同	松本一男	兵庫	姫路中	田角四郎	兵庫
第一神港商	藤尾幸雄	同	明石中	松浦守夫	兵庫	大阪北野中	田崎善男	同
姫路中	福永貞夫	同	甲陽中	三浦通雄	兵庫	石川小松中	德田政善	石川
第一神戶中	福島眞夫	愛媛	第二神戶中	宮田周一	岡山	廣島第一中	津田一男	廣島
第二神戶中	林武重	福岡	第一神戶商	村上幸雄	廣島	第二神戶中	渡邊輝助	東京
第三神戶中	日野實喜男	島根	京都第一商	江平次郎	京都	明石中	安福清一	兵庫
第一神港商	赤穂幸雄	兵庫	第一神戶中	中川利民	兵庫	第一神戶中	吉田典一	福岡
赤穂中	平山秀人	同	島根濱田中	中村義幹	島根	明石中	河合重典	同
熊本中	廣瀬隆一	熊本	京都第三中	小野正耕	大阪	第二神戶中	室口慶廣	愛媛
德島中	石井清	德島	上海日本商	坂口敏治	長崎	第三神戶中	坂部知廣	同
第二神戶中	龜之園豊	鹿兒島	第一神戶商	佐々木重輔	兵庫	第二神戶中	坂部守一	同
龍野商	金治長	兵庫	第一神戶中	澤田茂	愛知	同	同	同
第一神戶中	加藤元信	福山	京都舞鶴中	志摩榮三	京都	同	同	同
同	菊池公和	福岡	第一神戶商	下村金彌	東京	瀧川中	山本隆巖	同

第一學年

A 組 (五十四名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第一神戶商	安部茂夫	廣島	第一神戶商	片山重男	兵庫	第一神戶商	奥繁三郎	大阪
第一神港商	阿部太一	兵庫	第一神港商	木下博一	同	第一神港商	大伴三郎	同
大阪大倉商	天知晃一	同	第三神港商	岸川謹一	佐賀	第一神戶商	三枝利雄	同
第一神戶商	青木正雄	同	門司商	北本四郎	兵庫	大阪大倉商	佐野治生	大阪
市岡商	荒井清夫	同	姫路商	古賀文一	福岡	大阪天王寺商	佐々木宏典	同
岡山倉敷商	有田繁三	大阪	京都第一商	兒島義一	兵庫	第一神戶商	白川敬典	同
第一神戶商	江口助七	岡山	報徳商	黒井伸一	京都	同	高谷清	同
同	五島信夫	兵庫	第一神戶商	前田二清	同	第三神港商	馬野明	同
金澤商	長谷川政雄	同	同	松本弘	同	同	遠松啓	同
第三神港商	樋口恒次郎	石川	同	三木繁	同	同	山田泰三	同
大阪市岡商	平山正敏	兵庫	同	三島芳太郎	同	同	山口恭三	同
廣島市商	久森駿	長崎	廣島尾道商	宮田治	廣島	大阪天王寺商	山川新八	同
第一神戶商	堀北知也	兵庫	名古屋商	宮田治	愛知	同	山本謙一	同
同	石野耕三	同	第一神港商	長瀬浩	岡山	同	山本謙一	同
第三神港商	石岡正信	同	第一神戶商	中西吉郎	大阪	同	横部正一	同
大阪明星商	金尾善治	同	同	西谷日郎	廣島	同	横部正一	同
姫路商	笠川融雄	福山	報徳商	岡本友一	廣島	第二神港商	吉田公雄	同

第一學年

(五十四名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
第二神戶中	有坂實	兵庫	岡山第一中	町田操	岡山	第二神戶中	志水澤	鹿兒島
龍野中	土井三郎	同	加古川中	正垣次	兵庫	第一神戶中	笠谷	東京
高知城中	福永弘	高知	龍野中	三木和之	同	臺灣高雄中	周石	臺灣
瀧川中	幅谷光	兵庫	第一神戶中	美田卯一	同	第一神戶中	多田	兵庫
新瀧中	長谷川光	新瀧	三浦照三	三浦照三	長崎	大阪高津中	高橋	大阪
第二神戶中	廣井甫	兵庫	三好淳三	三好淳三	愛媛	富山魚津中	高橋	富山
明石中	橋本樸	德島	森好廣	森好廣	京都	富山魚津中	高橋	富山
福傳習館中	石井光夫	兵庫	永井弘一	永井弘一	兵庫	第三神戶中	立石敏	兵庫
第一神戶中	石川博敏	兵庫	中村孝一	中村孝一	兵庫	熊本濟々堂	立石敏	兵庫
第三神戶中	伊藤慶介	兵庫	中島嘉久	中島嘉久	兵庫	第一神戶中	土屋敏	兵庫
第一神戶中	岩佐義人	同	西村巧	西村巧	兵庫	第一神戶中	築屋三	兵庫
第二神戶中	居山郁雄	同	西道弘	西道弘	兵庫	第一神戶中	上谷三	兵庫
第一神戶中	神崎康郎	同	小原幸雄	小原幸雄	兵庫	第一神戶中	和勝武	兵庫
第二神戶中	笠井徹造	同	岡田庚申	岡田庚申	兵庫	第三神戶中	山勝彦	兵庫
第三神戶中	片山稔	同	坂出起男	坂出起男	兵庫	大阪高津中	山勝彦	兵庫
京都第一中	小森勝二	京都	佐々木正人	佐々木正人	岡山	福岡豊津中	福岡豊	福岡
龍野中	香西十郎	同	澤田一雄	澤田一雄	岡山	金澤第三中	吉田潔	富山
瀧中	桑畑太郎	同						

第一學年

(五十七名)

出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍	出身校名	氏名	本籍
京都桃山中	有川乾二	京都	瀧中	小林透	兵庫	第一神戶中	竿田隆	愛媛
同	芦田武三	同	伊丹中	小南孝	同	第二神戶中	更家弘	三重
鳥取米子中	江戶四郎	兵庫	第二神戶中	間世田修	鹿兒島	第一神戶中	下野幸	兵庫
第三神戶中	藤井蕭	兵庫	阪天王寺中	南昌明	大阪	第一神戶中	白阪肇	同
第二神戶中	平尾元	同	第三神戶中	守屋紀一	熊本	第一神戶中	菅田敏	同
愛媛西條中	堀洋平	愛媛	滿洲撫順中	村上勇	岐阜	第一神戶中	多田敏	同
豐岡中	今井國夫	兵庫	三田中	村上茂	兵庫	第一神戶中	高橋正	同
第三神戶中	諫山保一	同	第二神戶中	永長正	同	第一神戶中	高橋正	同
瀧中	岩佐義夫	新瀧	仲本久	馬雄	同	第一神戶中	高橋正	同
第二神戶中	岩佐義夫	同	中谷信雄	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第一神戶中	角谷清	同	西山寛一	同	同	第一神戶中	高橋正	同
明石中	海原福代	兵庫	岡井福逸	同	同	第一神戶中	高橋正	同
鹿兒島川内中	鎌田政志	兵庫	岡井福逸	同	同	第一神戶中	高橋正	同
島川中	鎌田政志	兵庫	岡井福逸	同	同	第一神戶中	高橋正	同
京都第三中	葛西平	京都	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第一神戶中	數井卓男	同	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第一神戶中	桐山清	同	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第三神戶中	岸本利一	同	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第一神戶中	小原一	同	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同
第三神戶中	小原一	同	大森末光	同	同	第一神戶中	高橋正	同

○諸統計

一、生徒募集人員、入學志願者及入學者ノ員數

入學年度	區分		入學志願者	受驗缺席者	受驗者	入學者
	生徒募集人員	檢定				
昭和四年	約一五〇	五一六	五一六	二〇	四九六	一六三
昭和五年	一五〇	九〇七	九六一	一〇六	八〇一	一四〇
昭和六年	一五〇	六〇二	六七〇	一六八	五〇二	一三七
昭和七年	一五〇	七八三	八三五	一六九	六一四	一三七
昭和八年	一五〇	八八八	八七三	一七七	七〇六	一五〇
昭和九年	一五〇	八五六	九二二	一四八	七八四	一三四
昭和十年	一五〇	一〇二六	一〇九	二四	九一五	一四四
昭和十一年	一五〇	一一四七	一二三一	一〇六	一〇二	一四九
昭和十二年	一五〇	一〇六九	一一四九	一八二	九一五	一四四
昭和十三年	一五〇	一一七五	一二三〇	一六五	一〇六	一四二

備考 △印ヲ附シタルモノハ無試験檢定不合格者ニシテ更ニ試験檢定ヲ受ケタル者
 ×印ヲ附シタルモノハ無試験檢定不合格者ニシテ試験檢定ニ缺席シタル者

B

入學年度	區分	生徒募集人員	入學志願者		受驗缺席者		受驗者		入學者	
			中學	商業	中學	商業	中學	商業	中學	商業
昭和四年	約一五〇	三九六	一一〇	一	一六	四	三八〇	一一六	五五	
昭和五年	一五〇	七二九	二三一	一	九七	一九	六三二	一一二	五六	
昭和六年	一五〇	五〇一	一六八	一	六六	一九	四三二	一一二	五三	
昭和七年	一五〇	六六三	一七二	一	五九	二〇	六〇四	一〇二	五二	
昭和八年	一五〇	六八三	一九〇	一	八一	二七	六〇二	一〇七	五三	
昭和九年	一五〇	七三〇	一八〇	二	八四	二一	六四六	一〇五	五一	
昭和十年	一五〇	八四〇	二六七	二	一〇	二二	七三〇	一〇六	四九	
昭和十一年	一五〇	八五四	三七六	一	七二	二二	七八二	一〇七	五三	
昭和十二年	一五〇	七三〇	四一九	一	四三	三九	六八七	一〇五	六〇	
昭和十三年	一五〇	八五九	三七〇	一	三九	一七	八二〇	一一一	五三	

二、入學志願者及入學者ノ地方府縣別

(出身學校所在地ニ依ル)

地方別	區別	入學年度												
		昭和四年	昭和五年	昭和六年	昭和七年	昭和八年	昭和九年	昭和十年	昭和十一年	昭和十二年	昭和十三年	計		
兵庫	志願入學者	三六〇	四四四	五〇二	五二二	五三三	五八八	六〇〇	五七六	一〇五	六〇三	二八	五、三四九	
	入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、九八	
京都	志願入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	
	入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	
東京	志願入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	
	入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	
大阪	志願入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	
	入學者	一四四	一三三	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一四二	一、三三〇	

地方別 區 別	昭 和 四 年 度	昭 和 五 年 度	昭 和 六 年 度	昭 和 七 年 度	昭 和 八 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度	昭 和 十 一 年 度	昭 和 十 二 年 度	昭 和 十 三 年 度	計
	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	
神奈川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
新潟	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千代田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
茨城	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
埼玉	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
栃木	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
群馬	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山梨	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
滋賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岐阜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
長野	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福井	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
秋田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地方別 區 別	昭 和 四 年 度	昭 和 五 年 度	昭 和 六 年 度	昭 和 七 年 度	昭 和 八 年 度	昭 和 九 年 度	昭 和 十 年 度	昭 和 十 一 年 度	昭 和 十 二 年 度	昭 和 十 三 年 度	計
	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	者 志 願 入 學 者	
秋田	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
石川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
富山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
島根	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鳥取	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
岡山	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
広島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
山口	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
徳島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
香川	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
愛媛	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
高松	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
福岡	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
大分	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐賀	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
熊本	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
宮崎	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鹿児島	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
沖縄	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
諸 統 計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

地方別	區別		昭和十一年度		昭和十年度		昭和九年度		昭和八年度		昭和七年度		昭和六年度		昭和五年度		昭和四年度	
	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者	志願者	入學者
北海道																		
關東州																		
關東州																		
中華民國																		
滿洲																		
計	五二六	一六三	六二一	一六四	六〇〇	一五六	八三五	一五七	八七三	一六〇	九二二	一五六	一、一〇九	一、一五五	一、一三三	一、一〇九	一、一三三	一、一〇九
計	九四八	六六六	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九	一、一〇九

三、生徒出身學校別

(昭和十三年九月現在)

出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計	出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計
第一神戶中學校	兵庫	二四	三三	二九	八六	豐岡中學校	兵庫	二	一	一	四
第二神戶中學校	兵庫	一四	三三	二九	七六	赤穂中學校	兵庫	一	一	一	三
第三神戶中學校	兵庫	一四	三三	二九	七六	甲陽中學校	兵庫	一	一	一	三
明石中學校	同	一四	三三	二九	七六	瀧川中學校	同	一	一	一	三
姫路中學校	同	一四	三三	二九	七六	瀧中學校	同	一	一	一	三
加古川中學校	同	一四	三三	二九	七六	鳳鳴中學校	同	一	一	一	三
小野中學校	同	一四	三三	二九	七六	關西學院中學校	同	一	一	一	三
三田中學校	同	一四	三三	二九	七六	伊丹中學校	同	一	一	一	三
龍野中學校	同	一四	三三	二九	七六	神戶第一夜間中學校	同	一	一	一	三
尼崎中學校	同	一四	三三	二九	七六	京都第一中學校	京都	一	一	一	三
柏原中學校	同	一四	三三	二九	七六	京都第三中學校	京都	一	一	一	三
合計		二四	三三	二九	八六	合計		二	一	一	四

出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計	出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計
立命館中學校	京都	一	一	一	三	欽傍中學校	奈良	一	一	一	三
桃山中學校	同	一	一	一	三	虎姫中學校	滋賀	一	一	一	三
舞鶴中學校	同	一	一	一	三	尾鷲中學校	三重	一	一	一	三
宮津中學校	大阪	一	一	一	三	宇治山田中學校	同	一	一	一	三
北野中學校	同	一	一	一	三	津中學校	同	一	一	一	三
市岡中學校	同	一	一	一	三	新宮中學校	和歌山	一	一	一	三
天王寺中學校	同	一	一	一	三	金澤第一中學校	石川	一	一	一	三
高津中學校	同	一	一	一	三	金澤第三中學校	同	一	一	一	三
茨木中學校	同	一	一	一	三	小松中學校	同	一	一	一	三
堺中學校	同	一	一	一	三	福井中學校	福井	一	一	一	三
第一岡山中學校	岡山	一	一	一	三	魚津中學校	富山	一	一	一	三
第二岡山中學校	同	一	一	一	三	新瀨中學校	新潟	一	一	一	三
津山中學校	同	一	一	一	三	本巢中學校	岐阜	一	一	一	三
金光中學校	同	一	一	一	三	德島中學校	德島	一	一	一	三
興讓館中學校	同	一	一	一	三	脇町中學校	同	一	一	一	三
廣島第一中學校	廣島	一	一	一	三	四條中學校	愛媛	一	一	一	三
福誠之館中學校	同	一	一	一	三	中村中學校	高知	一	一	一	三
山羅中學校	同	一	一	一	三	城東中學校	同	一	一	一	三
世羅中學校	同	一	一	一	三	田川中學校	福岡	一	一	一	三
第二鳥取中學校	鳥取	一	一	一	三	豐津中學校	同	一	一	一	三
米子中學校	同	一	一	一	三	中學傳習館	同	一	一	一	三
大社中學校	同	一	一	一	三	熊本中學校	熊本	一	一	一	三
濱田中學校	同	一	一	一	三	中學濟々費	同	一	一	一	三
萩中學校	山口	一	一	一	三	合計		一	一	一	三
合計		一	一	一	三	合計		一	一	一	三

出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計	出身學校	學校所在地	第三學年	第二學年	第一學年	合計
唐津中學校	佐賀					龍野商業學校	兵庫				
飯肥中學校	宮崎					京都第一商業學校	京都				
川內中學校	鹿兒島					京都第二商業學校	京都				
橫濱第一中學校	神奈川					京都四條商業學校	京都				
東京第八中學校	東京					市岡商業學校	大阪				
開成中學校	同					天王寺商業學校	同				
安積中學校	福島					大倉商業學校	同				
臺南第一中學校	臺灣					明星商業學校	同				
臺北第一中學校	同					扇町商業學校	同				
高雄中學校	同					成器商業學校	同				
大連第二中學校	關東州					東山商業學校	同				
鞍山中學校	滿洲國					津山商業學校	同				
撫順中學校	同					第一岡山商業學校	同				
第一神戶商業學校	兵庫					倉敷商業學校	同				
第二神戶商業學校	同					尾道商業學校	同				
姫路商業學校	同					廣島市商業學校	同				
第一神港商業學校	同					米子商業學校	同				
第二神港商業學校	同					坂出商業學校	同				
第三神港商業學校	同					德島商業學校	同				
育英商業學校	同					都城商業學校	同				
報德商業學校	同					門司商業學校	同				
合計		三	一〇	一	一五	合計		一	二	一	四

四、生徒年令數表

(昭和十三年四月現在)

學年別	最高	最低	平均
第一學年	二十一年七月	十七年一月	十八年一月
第二學年	二十一年十一月	十八年一月	十九年一月
第三學年	二十三年八月	十九年一月	二十年三月
合計			

五、生徒身體檢查統計表

(昭和十三年五月檢查)

區分	一八年	一九年	二〇年	二一年	二二年	二三年	二四年
身長	一四四六八二	二六四〇七三	二二四二七二	一〇七七八五	四三〇〇六	四九二二	一七五五
體重	一六四五	一六五〇	一六四八	一六五一	一六五四	一六四一	一七五五
胸圍	四八八〇	八九二六五	七三八九	三、七五〇	一四三九〇	一六〇一	五六五
坐高	五三六	五五八	五五七	五五二	五五三	五三三	五六五
坐高	七二七〇七	一三二八九五	一〇七二九六	五、四三九	二、一七〇九	二四九六	八〇二
坐高	八二五	八三一	八二五	八三六	八三五	八三二	八〇二
坐高	七、七四六	一四四六三八	一一七四八二	五、八七三三	二、三五五六	二六八三	九三三
坐高	八九四	九〇四	九〇四	九〇四	九〇五	八九四	九三三
坐高	四	九	六	一	一	一	一

種別	前年					第三學年	第二學年	第一學年	計
	農業	工業	其他	其他	其他				
農	1	2	4	2	6	1	1	1	5
工	1	1	2	2	2	2	3	1	13
其他	1	1	1	1	1	1	1	1	8
計	3	4	8	6	11	7	8	4	32

六、生徒家庭職業別

(昭和十三年四月調査)

檢評概	他ノ疾ノ病及異常										
	肋膜炎	心臟疾	貧血症	脚氣	脫腸	神經衰弱	言語障礙	精神障礙	骨關節ノ異常	四肢運動障礙	其他
査養人員	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	6
第三學年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第二學年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
第一學年	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
計	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	30

其	區分																								
	腺病	結核性疾患	其他ノ齒疾	齦炎	其他皮膚病	傳染性皮膚病	扁桃腺肥大	鼻	咽	及	頭	耳	力聽	障	疾眼	トラホーム	亂視	遠視	近視	弱視(兩眼)	胸	柱	脊	正	
一八〇年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
一九〇年	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
二〇〇年	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
二一〇年	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
二二〇年	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
二三〇年	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2
二四〇年	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2

種別	前年										第三學年										第二學年										第一學年										計																																																											
	物 品 販 賣 業	吳 服 業	食 料 品 商 業	食 融 保 險 業	金 融 業	貿 易 商 業	米 穀 商 業	材 木 商 業	藥 品 商 業	其 他 商 業	交 通 業	官 運 業	公 務 行 社 員	銀 行 員	教 育 員	醫 師 員	醫 生 員	自 由 業 其 他 員	無 職 業	其 他 業	合 計																																																																															
	31	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	31	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	37	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	27	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	95	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1

七、職員及備人數表

(昭和十二年十二月十日現在)

八、圖書冊數

(昭和十三年十月一日現在)

部	門	和書冊數	洋書冊數	合計
第一門 (〇〇〇〇)	總記	四、三三五	四二六	四、六六一
第二門 (二〇〇〇)	產業	一、八四四	三五	二、一九
第三門 (三〇〇〇)	商業	二、〇二一	一、一七四	三、一九
第四門 (四〇〇〇)	經濟	二、〇二一	六八一	二、七〇二
第五門 (五〇〇〇)	社會、政治、統計	三七四	一一七	四九一
第六門 (六〇〇〇)	法學、哲學	七二二	三〇九	一、〇三一
第七門 (七〇〇〇)	歷史、地理、教育	五九六	二九一	八八七
第八門 (八〇〇〇)	語學、文藝	七六〇	九〇	八五〇
第九門 (九〇〇〇)	理學、工藝	一、〇四	四七七	一、五八一
合計		一一、七三一	三、六二〇	一五、三五

官職	現員	校長	教授	主任	助教	書記	教授	講師	外國人	校醫	校醫	門候	小使	計
現員	一	一	一八	一	二	五	一四	四	五	一	一	二	六	六五

〇敷地及建物

一、敷地

校 舍 兵庫縣明石郡垂水町字高丸陸
敷地面積 約壹萬九千坪

諸統計

總面積	二八四三九	總面積	八一九四
地階面積	九六六七	廊下	五〇三六四
壹階面積	五〇三六四	研究室	二五〇〇
貳階面積	五〇三六四	同	二五〇〇
參階面積	二八六五七	同	二五〇〇
四階面積	三三二五七	同	二五〇〇
塔屋面積	一二七五〇	書庫	二七五〇〇
雨天體操場及武術場	一七六〇〇	便所	一一六八八
倉庫	三〇〇〇〇	研究室	二五〇〇
地階之部		同	二五〇〇
機關室	二〇六〇	同	二五〇〇
便所	一五六〇	同	二五〇〇
石炭庫	四八〇〇	地理教室	二七五〇
倉庫	三三三〇	標本室	二二〇〇
小使室	八六六四	理化準備室	一八四一五
湯沸場	一四六四〇	理化實驗室	二二〇〇
階下	一〇〇〇〇	講堂	九〇〇〇
廊下	八三三三	應接室	二〇〇〇
壹階之部		廣間	五〇〇〇
圖書閱覽室	六五〇〇〇	階下	一〇〇〇〇
書庫	一〇〇〇〇	廊下	二二五〇〇
		階下	八八七〇八

一、建

物

七四

參階之部	五〇三六四	四階之部	三三三七五	雨天體操場及武術場之部	一七六〇〇
大教室	六五〇〇〇	教室	三三三七五	柔道室	二七〇〇〇
教室	二七五〇〇	教室	三三三七五	劍道室	二七〇〇〇
丸教室	二五五〇〇	特別教室	二五五〇〇	雨天體操場	八六〇〇〇
便所	二六八八	特別教室	二五五〇〇	運動器具室	四〇〇〇
教室	二五五〇〇	便所	二六八八	銃器庫	二〇〇〇
教室	二五五〇〇	廊下	二六八八	其他	一六〇〇〇
教室	二五五〇〇	塔屋之部	二七五〇	倉庫之部	一五〇〇〇
廊下	六二四五四	塔屋之部	二七五〇	一階	一五〇〇〇
計	二八六五七	計	二七五〇	二階	一五〇〇〇
		總計	一八三三九九	總計	一八三三九九

諸統計

七五

卒業生

Table of graduates with columns for name, address, school, and profession. Includes names like 上組合資會社, 日本ベイント會社, 兵庫縣廳, etc.

第二回卒業生

(昭和八年三月卒業 百五十一名)

Table of graduates with columns for name, address, school, and profession. Includes names like 三越神戶支店, 帝國酸素會社, 天津中和公司, etc.

卒業生

Table of graduates with columns for name, address, school, and profession. Includes names like 死市電氣局, 神戶市電氣局, 大正海上火災保險, etc.

大阪遞信局	自家營業(奉天)	死	大阪三品取引所	日本莫大小輸出組合	東洋紡績會社	神戸高商教授囑託	三井物產會社	大阪稅關	日本晝夜銀行	室谷木材會社	角倉商店	三井生命保險會社	松下電器產業	神戸長瀨商會	死	自家營業	長田大介商店	伊藤忠商會社	江畑貿易合資會社	第三神港商業教諭	自家營業(青島)	安田銀行	宮地事務所
上田信弘	魚住繁夫	大	大河原	大島菊雄	大谷一雄	大塚俊二	大前正二	大村義信	岡島周一	岡村美	岡本	岡田	尾崎通夫	小野次郎	小川久	小原	笠原	柏木平治	金川松	金澤嘉	加納耕三	河合	河上義太
柏原中	大連商	三田中	三田中	野村證券會社	三原郡廣田村	田島商店	大阪貯蓄銀行	大阪鐵工所	八幡郵便局	宗像會居	阪神電氣鐵道會社	帝國酸素會社	今野商店	日商株式會社	大商	淺野信治商店	大阪變壓機會社	神戸瓦斯會社	カニホンエクスポート	山下汽船會社	昭毛紡績會社	大日本農道新聞社	第一神戶商
川本武雄	川本義夫	北真喜一	木村清	木村幸	木村不美	木村義夫	久保田義	黒井信次	小坂久仁	小坂達	小寺正	小林愛	近藤	齋藤秀	堀江作太	佐久間	佐藤英	澤田	柴田正	清水菊	清水保	進藤	
鳳鳴	第三神戶中	日高本	明本	市	節	夫	繼	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎	郎

大阪鐵道局	自家營業	石田帽子店	石田商店	川崎汽船會社	死	東京海上火災	野澤組神戸支店	東京衛機製造所	自家營業	大阪商船會社	死	神戸市役所產業課	三井物產會社	三井生命保險會社	第一銀行	内谷商店	自家營業	白石基礎工事會社	大日本蓄音機會社	龍野商業教諭	松山彌五郎商店	神戸海上火災保險	死	
杉谷哲夫	角田敏之	高木	武本	代	中	中	中	中	中	中	中	告	筒井	堤	外山	中	中	中	中	中	永	永	永	永
第一神港商	神津中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第三神戶中	第二神戶中	
三井物產會社	大阪鐵道局	大倉商會社	山田合同運送	豐國自動車會社	死	神戸瓦斯會社	三菱商會	東京海上火災保險	日商株式會社	神戶銀行	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井	藤井
橋崎八十二	成瀨	西尾	西川	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口	野口
第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中

白鷺嘉納合名會社	增井良太郎	第一神戶中	三井物產會社	安並美	晴	高知城東中
南洋倉庫會社	松村信治	第一神戶商	自家營業(スマトラ)	山田福	宏	第二神戶中
丸善石油會社	松本藤雄	第一神戶商	理化學興業會社	山根元	三	大阪東商
死	丸尾利夫	第二神戶商	滿洲森林會社	山本義	次	第一神戶商
姫路野里青年學校	萬谷喜代	第一神戶中	阪神電氣鐵道會社	山本格	耶	第一神戶中
自家營業	水口尚	第二神戶商	關西鑄鐵所	山本節	男	第三神戶中
野村證券會社	南口修	第二神戶中	神戶海上運送火災保險	山本松	夫	第三神戶中
自家營業	三宅修	第三神戶中	和久商	山本松	男	第三神戶中
富國海上火災保險	室尾弘讓	第三神戶中	ユニオントレーディング	山本松	男	第三神戶中
兵庫縣廳	本橋定	第三神戶中	エッチャメーヤー商會	山本松	男	第三神戶中
自家營業	本橋定	第一神戶中	日本和商會	山本松	男	第一神戶中
大阪商船會社	山田正	第一神戶中	セメント同業會	山本松	男	第一神戶中
山田染料會社	門田正	第一神戶中	三菱商會	山本松	男	第一神戶中
帝國酸素會社	柳田兵	第二神戶中	坂倉正造商店	山本松	男	第一神戶中
東洋紡績會社	安田兵	第二神戶中	今野商店	山本松	男	第一神戶中
神戶商大研究科	安田兵	第二神戶中	死	山本松	男	第一神戶中

第三回卒業生

(昭和九年三月卒業 百四十名)

廣藤洋行	青木末彦	第二神戶中	日本發送電會社	麻田武夫	浪華商
滿洲興業銀行	赤木克巳	岡山關西中	自家營業	荒川和一	京都第一商

大阪鐵道局	荒木節男	第二神戶商	大阪鐵道局	浦上清利	姫路中
中山製鋼所	新正英	育英商	自家營業	江村嘉	廣島府中
川崎造船所	飯田三	石川縣小松中	死	大久保忠	第一神戶中
大阪機械工作所	池田一	市岡中	自家營業	大谷健	第一神戶中
加藤物產會社	池田一	第一神戶商	東洋クロス株式會社	大野榮	第一神戶中
川崎車輛會社	秋山捷	第一神戶商	東洋倉庫會社	大野榮	第一神戶中
神戶銀行	石垣八	第二神戶商	南洋倉庫會社	大野榮	第一神戶中
須磨區行幸町三丁目	石垣八	第二神戶商	川崎造船飛行機工場	大野榮	第一神戶中
東京市澁谷區原宿三丁目	石丸康	第三神戶商	出光商會	大野榮	第一神戶中
目石郡玉津村	石丸康	第三神戶商	川崎造船飛行機工場	大野榮	第一神戶中
三菱商會社	石丸康	第三神戶商	川崎造船飛行機工場	大野榮	第一神戶中
自家營業	市野健	第一神戶商	自家營業	大野榮	第一神戶中
自家營業	市野健	第一神戶商	自家營業	大野榮	第一神戶中
三井物產會社	井上正	第一神戶商	宮部末高合名會社	大野榮	第一神戶中
自家營業	井上正	第一神戶商	宮部末高合名會社	大野榮	第一神戶中
椿本チエーン製作所	今田賢	第一神戶商	南滿洲鐵道會社	大野榮	第一神戶中
岸和田紡績會社	岩佐正	第一神戶商	大阪鐵道局	大野榮	第一神戶中
三菱海上火災保險	岩崎吉	第一神戶商	大阪陶業會社	大野榮	第一神戶中
小林燐寸會社	植田春	第三神戶中	東洋陶器會社	大野榮	第一神戶中
田村輸出會社	上山善	第二神戶商	ニッケル會社	大野榮	第一神戶中
神戶工業試驗場	浮田昌	第三神戶中	兼松商店	大野榮	第一神戶中
高木吉兵衛商店	高木忠	第二神戶中	神戶市役所營繕課	大野榮	第一神戶中

中山製鋼所	大阪合同運送會社	ワインクレル商會	出光商會	自家營業	死	十合吳服店	川崎造船所	山本貿易商店	神戶區役所	自家營業	滿洲興業銀行	死	高雄港丸一組	野村證券會社	自家營業	伊藤忠商事會社	近海郵船株式會社	兼松商店	長谷川商店	福知山高女	日本ハイント會社	東洋製鋼會社
黒川多計	小橋	近藤	蔡東	坂井	阪上	阪上	志方	習田	柴野	白井	菅井	菅井	杉本	杉本	杉本	諏訪	高木	高木	竹谷	大田	多田	多田
第一神戶中	第一神戶中	第二神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中
六阪鐵道局	日本毛織會社	兵庫縣廳文書課	自家營業	日本ビクタ	山音製機會社	大阪商船會社	三井物產會社	同	上木商會	エブラハム商會	陸軍大阪工廠	日本毛織會社	丸二商會	長瀬商會	自家營業	明治海運會社	攝津貯蓄銀行	大阪商船會社	丸池商事會社	朝鮮火藥銃砲會社	神戶人絹輸出組合	東京芝區中門前三丁目
橋中	田中	谷原	茅原	辻	辻	辻	辻	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺	寺
功	忍	一	遠	夫	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
明石	第一神戶中	第二神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中	第三神戶中

三九運輸會社	神戶海上火災保險	姫路信用組合	朝鮮火藥銃砲會社	北海道製酪販賣組合	自家營業	岸和田人絹業	自家營業	滿洲國方正金融合作社	神戶中央卸賣市場	東洋紡績會社	死	自家營業	中川商店	德島專賣局	日本化學工業會社	兼松商店	第一銀行	酒井寬三商店	神戶海上火災保險
濱田	濱田	濱田	林利	原二	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭	原圭
第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中
高島屋飯田會社	日本織寸共販會社	川西商會	死	同	若田	京都電燈會社	神戶電燈會社	淺野物產會社	三菱銀	三井物產會社	三井物產會社	死	カ	日	喜	東	神	日本海上保險會社	
松田	丸木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	三木	
文	義	和	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	
市	小	關	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	大	
甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	甲	

第四回卒業生

(昭和十年三月卒業 百四拾七名)

卒業生

伊藤忠商會社	上野支店	滿洲興業銀行	自馬商營店	竹家商營店	自家商營店	日本火災保險會社	大阪鐵道局	高島屋飯田會社	日本額棟株式會社	理化學興業會社	自家商營店	伊藤忠商會社	神戶商大學	大日本紡績會社	川西航空機會社	丸善礦油會社	川崎汽船會社	九州大學法文學部	今興商會	大阪變壓器會社	第一銀行	中村商店	
秋山善彦	淺原芳夫	朝日健輔	足立孝義	網島義一	飯田正一	池田正一	石田敏正	湯淺敏正	石光敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正	磯野敏正
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商
東洋紡績株式會社	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
浦見修一	江里口秀雄	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝	岡本忠孝
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

卒業生

帝國醜素會社	自家商營店	川崎造船會社	小倉石油株式會社	松島商會	日本勸業銀行	死	十五銀行	自家商營店	同	帝國人造絹絲會社	中山太陽堂	原田商會	嘉納合名會社	川崎造船會社	飛物行會社	三井物產會社	日本海上保險會社	吉林稅務監督局	神戶商大學	丸紅商會	中山製鋼所	戰死	ヘルベツト石鹼會社	
小坂干城	小林三郎	河本豐次	齋藤新	佐伯新	阪本七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七	佐々木七
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商
大日本紡績會社	山下汽船會社	神戶稅關	中山製鋼所	日本絹織會社	瀧川商會	高田清太郎商會	自家商營店	岸本商會	大阪鐵工所	川西航空機會社	明治製菓會社	南滿洲鐵道會社	昭和火災保險會社	八馬汽船會社	自家商營店	宇治川電氣會社	太陽レィオン	日本畜飼料會社	大正海上火災保險會社	飾磨商業學校	神戶商大學	宮下木材會社	新居喜久夫	
高谷幸義	多田弘	谷川克	田川源	網島之助	津村輝	天毛政	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安	土居安
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

自家營業	ベルグマン商會	松島商店	上海香港銀行神戸支店	大阪商船會社	昌和洋行	三井物產會社	松下乾電池會社	自家營業	四島商店	日本製米精粉會社	日産ゴム會社	大阪魚會社	川西倉庫會社	吉本興業會社	日和商會	栗林商船會社	自家營業	安部幸兵衛商店	大同貿易會社	養父郡廣谷町十二所	東洋錫會社	橫濱正金銀行	長谷川商店
西岡	西山	野垣	信川	野淵	橋本	長谷川	長谷川	細川	羽根	馬場	濱田	濱田	林野	黒野	田友	原博	平岩	福本	福正	藤井	藤正	藤慶	古山
光	幸	一	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
四條	英商	第一神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第三神戶商	第一神戶中	第一神戶中
伊奈製陶會社	吉崎商店	朝日化學肥料會社	千代田火災保險會社	兼松商店	原田商會	死	神戶商會	加藤物產會社	大阪鐵道局	福雄商店	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死	死
福田	本間	前川	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田	前田
忠	泰	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
愛知	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

御木本真珠店	大阪貯蓄銀行	丸二商店
吉見	吉山	若林
耶	耶	三
第一神戶中	第一神戶中	第一神戶商
布引商會社	昭和透視紙會社	
和田	液部	
福三	正義	
耶	耶	
豐中	第三神戶中	

第五回卒業生

(昭和十一年三月卒業 百五拾五名)

ドツドゥエル商會	育英商業教諭會	出組合中央會派遺	貿易練習會	日本レイヨン會社	神戶銀行	東京商大學生	株式祭原商店	山本順彌太商店	神戶製鋼所	渡部ローラー會社	兼松商店	鹽野香料會社	株式會社泰通商會	大同貿易會社	旭シルク會社	自家營業	
赤染	秋本	淺田	安部	飯田	池內	伊東	伊藤	伊藤	伊藤	乾上	井上	茨木	今村	今村	植原		
八郎	弘介	昌作	政雄	修二	修二	二	二	二	三	三	三	三	三	三	三	三	
龍野中	第二神戶中	明石中	和歌山中	大倉中	豐岡中	久留米中	津中	津中	三田中	第一神戶中	第一神戶中	第一神戶中	第二神戶中	京都第一中	第一神戶中		
自家營業	ウインケル商會	大阪合同會社	丸善礦油合名會社	大興股份有限公司	丸善礦油合名會社	自家營業	岩井商店	岩井商店	長谷川商店	神戶銀行	大同貿易會社	丸紅商店	日本海上火災保險會社	死	川西倉庫會社	神戶市役所土木課	
上村	内海	江上	榎本	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	岡田	萩野	小倉	小倉	小倉	小倉	大財	小原	貝澤
夫	典	顯	知	助	助	助	助	助	助	弘	弘	弘	弘	弘	弘	弘	弘
第三神戶中	第二神戶中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中	京都第一中

卒業生

Table of graduates with columns for name, address, and school. Includes names like 伊東龍三, 宮本義三, 宮本三郎, etc.

第六回卒業生

(昭和十二年三月卒業 百三十七名)

Table of graduates for the 6th graduation, including names like 朝藤和彦, 天野謙一, 天野謙二, etc.

Main table of graduates with columns for name, address, and school. Includes names like 伊東龍三, 宮本義三, 宮本三郎, etc.

卒業生

神戶商大學生	川崎汽船	兼松商店	神戶海上火災保險會社	同	兼松商店	豐岡町原榮三郎商店	丸紅商店	川西機械製作所	枋木商會社	兵庫縣會計課	入營中	伊藤忠商會社	日本砂鐵工業會社	入營中	兼松商店	第一銀行	西島竹藏商店
足立泰造	荒川義春	青山孝太郎	三宅次郎	南川善雄	水川善雄	三津正四郎	圓山本成	松本家義	松村義治	松村義治	松島登喜雄	松岡辰五郎	松井政利	増田衛夫	前田元繼	前田丹次	前川圭二
第一神戶商中	第二神戶商中	市岡商業	大阪高津中	第一神戶商中	第一神戶商中	第三神戶商中	八尾神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中
神戶倉商會	神戶商大學生	大同貿易會社	神戶商大學生	大阪商船會社	入木商會社	枋木商會社	日商株式會社	同	同	同	神戶商大學生	東京商大學生	乾汽船會社	神戶海上火災保險會社	多聞酒造會社	自家營業	川崎造船所
今福	今基	石山正男	渡邊良一	渡邊綱一	米澤正一	橫田邦一	山口皓三	柳田全三	矢野全三	八木敏夫	森田弘一	森川左近	村上富一	宮本俊一	宮本英一	宮本正一	川島洋二
第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中

第七回卒業生

(昭和十三年三月卒業 百五十二名)

神戶商大學生	川崎汽船	兼松商店	神戶海上火災保險會社	同	兼松商店	豐岡町原榮三郎商店	丸紅商店	川西機械製作所	枋木商會社	兵庫縣會計課	入營中	伊藤忠商會社	日本砂鐵工業會社	入營中	兼松商店	第一銀行	西島竹藏商店
足立泰造	荒川義春	青山孝太郎	三宅次郎	南川善雄	水川善雄	三津正四郎	圓山本成	松本家義	松村義治	松村義治	松島登喜雄	松岡辰五郎	松井政利	増田衛夫	前田元繼	前田丹次	前川圭二
第一神戶商中	第二神戶商中	市岡商業	大阪高津中	第一神戶商中	第一神戶商中	第三神戶商中	八尾神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中
神戶倉商會	神戶商大學生	大同貿易會社	神戶商大學生	大阪商船會社	入木商會社	枋木商會社	日商株式會社	同	同	同	神戶商大學生	東京商大學生	乾汽船會社	神戶海上火災保險會社	多聞酒造會社	自家營業	川崎造船所
今福	今基	石山正男	渡邊良一	渡邊綱一	米澤正一	橫田邦一	山口皓三	柳田全三	矢野全三	八木敏夫	森田弘一	森川左近	村上富一	宮本俊一	宮本英一	宮本正一	川島洋二
第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中	第一神戶商中

卒業生

第一銀行	第一製鐵會社	丸二商店	神戶商大學生	同	朝日海上保險會社	神戶商大學生	帝國酸素會社	川崎汽船會社	同	神戶商大學生	大日本紡績會社	日下部汽船會社	關西共同火力發電會社	東京商大學生	關西學院大學生	神戶商大學生	大阪海上火災保險	海軍經理學校學生	大阪鐵道局	關西大學	滿洲炭礦會社	神戶商大學生	神戶商大學生		
石山	伊藤	岩田	岩井	茨木	泉	池田	宇田	上田	浦田	落合	岡野	大久保	奧西	大村	小野	小野	尾之内	尾之内	乙島	小澤	角田	門田	神吉	神祥	
雄峰	一誠	八義	治郎	秋光	信	夫	三	二	夫	三	夫	三	夫	三	夫	三	夫	三	夫	三	夫	三	夫	三	夫
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商
神戶商大學生	三菱海上保險會社	伊藤忠商事會社	力キ自動車會社	大阪貯蓄銀行	日本綿製品輸出組合	日本郵船會社	大同貿易會社	大阪鐵道局	神戶商大學生	同	小林桂助商店	大宮永商店	神戶商大學生	京都電燈會社	神戶商大學生	自營會社	出光商會	神戶商大學生	神戶製鋼會社	神戶商大學生	神戶商大學生	矢澤商會	三井物產會社	神戶商大學生	
神田	河本	河本	川本	川本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本	河本
夫	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

卒業生

三菱鑛業會社	日本棉花會社	川西倉庫會社	長瀬商會	神戶商大學生	阪根金屬商會	東京商大學生	帝國酸素會社	岸本商會	日產自動車販賣會社	神戶商大學生	兼松商會	日本鐵線鋼索會社	自家營業會社	紡機製造會社	丸紅商會	安宅商會	兼松商會	關西大學	神戶海上火災保險	出光商會	神戶海上火災保險	加藤物產會社	東京商大學生	
笹倉	城島	島野	清水	篠田	鹽出	鹽出	貝賀	杉本	須藤	杉山	鈴江	千田	瀬尾	田林	多賀	多賀	田口	高橋	高倉	高屋	高屋	武田	竹村	
春	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實	實
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商
東京商大學生	嘉納合名會社	川崎造船會社	神戶商大學生	出光商會	日本莫大小輪出組合	神戶石光季男商店	住友化學工業會社	新興人絹會社	日本レヨン會社	神戶商大學生	兼松商會	神戶商大學生	山陽皮革會社	安宅商會	桑原商會	山本棉花會社	カネキ自動車會社	中村汽船會社	東京導修大學	立命館大學	神戶商大學生	滿洲特產工業會社	神戶製鋼會社	
田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田	田
啓	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商	第一神戶商

會計	死不外國大學官自其新取百倉鐵海保信銀鑛工貿易、商店	第一回卒業	二六 三〇 六一
計	亡詳學學員吏業他社所店庫送運險託行業業	第二回卒業	二〇 七一 七
		第三回卒業	二八 四二 九
		第四回卒業	三八 四七 九
		第五回卒業	二八 四九 七
		第六回卒業	二五 三〇 四
		第七回卒業	三〇 三九 二
		合計	二八 四 一 九 八

卒業生就職別一覽

(昭和十三年十一月調)

共同信託會社	住友生命保險會社	日清製粉會社	神戶商大學	日本綿製品輸出組合	日商株式會社	兼松株式會社	關西大學	關西信託會社	神戶銀行	神戶商大學	東洋紡績會社	三井物產會社	神戶商大學	三菱倉庫會社	日商株式會社	日本ハイト會社	神戶商大學	法政大學	大阪商會	大阪商船會社	大阪商會	名古屋高商工經管科	東京商大學	日本棉花會社	卒業生
前川	前川	堀本	古屋	福島	福島	藤野	藤野	藤野	藤野	日吉	久野	久野	廣瀬	廣瀬	廣瀬	廣瀬	平田	樋口	林川	早川	服部	長谷川	春井	原田	
滋麻	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策	同策
布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中	布中
關西	日產	中山	神戶	泰通	倉本	大日本	丸石	大倉	精版	兼松	神戶	村上海	滿洲	川西	杉山	大阪	丸紅	川西	日清	阪神	靜岡	川崎	鐘洲		
渡邊	吉田	弓場	安野	矢野	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本	山本
部	邊	德	松	一	太	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二	貫	實	美	榮	次	雄	實	耶	耶	貞	馨	耶	次	淳	夫	雄	武	一	平	彌	一	耶	耶	耶	耶
尾	京	京	瀧	加	小	第	京	京	第	同	同	第	京	姬	同	第	京	北	第	尼	第	第	加		
三	都	都	三	古	豆	一	都	都	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
神	道	第	神	川	島	神	都	都	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神	神
戶	第	二	港	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中
中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中	中

卒業生地方別一覽

(昭和十三年十一月調)

神戶	大阪	京都	名古屋	東京	其他内地	朝鮮	臺灣	滿洲及支那	南洋	其他外國	大學等在學	不詳	死亡	合計
七三	三〇	二七	八二	八八	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一四八
五一	四七	四三	四三	九四	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一五一
六一	三二	六一	六一	六三	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一四〇
四六	四三	二二	二二	一八	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一四七
五九	四三	二二	二二	一八	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一五五
四〇	三〇	二一	二一	九六	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一三七
四五	四二	三三	三三	四四	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一五二
三七	二六	二四	二四	七九	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一一	一〇三
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計

○關係法令

一、實業學校令(抄) (明治三十二年勅令第二十九號)

第一條 實業學校ハ實業ニ従事スル者ニ須要ナル知識技能ヲ授クルヲ以テ目的トシ兼テ徳性ノ涵養ニ力ムヘキモノトス
 第二條ノ二 實業學校ニシテ高等ノ教育ヲ爲スモノヲ實業專門學校トス
 實業專門學校ニ關シテハ專門學校令ノ定ムル所ニ依ル

二、專門學校令(抄) (明治三十六年勅令第六十二號)

第一條 高等ノ學術技能ヲ教授スル學校ハ專門學校トス
 專門學校ニ於テハ人格ノ陶冶及國體觀念ノ養成ニ留意スヘキモノトス
 專門學校ハ特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ノ規定ニ依ルヘシ
 第二條 北海道府縣又ハ市ハ土地ノ情況ニ依リ必要アル場合ニ限リ專門學校ヲ設置スルコトヲ得
 第四條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ設置廢止ハ文部大臣ノ認可ヲ受クヘシ
 第五條 專門學校ノ入學資格ハ中學校若クハ修業年限四箇年以上ノ高等女學校ヲ卒業シタル者又ハ之ト同等ノ學力ヲ有スルモノト檢定セラレタル者以上ノ程度ニ於テ之ヲ定ムヘシ但シ美術音樂ニ關スル學術技能ヲ教授スル專門學校ニ就テハ文部大臣ハ別ニ其ノ入學資格ヲ定ムルコトヲ得

前項檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第六條 專門學校ノ修業年限ハ三箇年以上トス

第七條 專門學校ニ於テハ豫科、研究科及別科ヲ置クコトヲ得

第八條 (上畧)

公立又ハ私立ノ專門學校ノ修業年限、學科、學科目及其ノ程度並豫科、研究科及別科ニ關スル規程ハ公立學校ニ在リテハ管理者、私

關係法令

- 立學校ニ在リテハ設立者文部大臣ノ認可ヲ經テ之ヲ定ム
- 第九條 公立又ハ私立ノ專門學校ノ教員ノ資格ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム
- 第十條 公立又ハ私立ノ專門學校ハ文部大臣ノ監督ニ屬ス
- 文部大臣ハ公立又ハ私立ノ專門學校ニ對シ報告ヲ徵シ檢閲ヲ行ヒ其ノ他監督上必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得
- 第十一條 公立ノ專門學校ニ於テハ授業料ヲ徵收スヘシ特別ノ場合ニハ之ヲ減免シ又ハ徵收セサルコトヲ得
- 第十二條 第一條ニ該當セサル學校ハ專門學校ト稱スルコトヲ得ス

三、公立私立專門學校規程 (明治三十六年 文部省令第十三號)

- 第一條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ設置ノ認可ヲ受ケントスルモノハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ左ノ事項ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ
 - 一 目的
 - 二 名稱
 - 三 位置
 - 四 學則
 - 五 生徒定員
 - 六 敷地建物ノ圖面及其ノ所有ノ區別
 - 七 開校年月
 - 八 經費及維持ノ方法
 - 九 設立者ノ履歷
- 醫學專門學校ニ就キテハ臨床實習用病院ノ位置、敷地建物ノ圖面、臨床實習用患者ノ定員及解剖用屍體ノ豫定數ヲ具スヘシ
- 第一項第二項ノ敷地ニ關スル圖面ニハ面積、地質及附近ノ狀況ヲ記シ且ツ飲料水質ノ調査書ヲ添付スヘシ
- 第一項第一號乃至第七號及第二項ニ掲ケタル事項ノ變更ハ文部大臣ノ認可ヲ受ケヘシ
- 第一項第八號ニ掲ケタル事項ノ變更ハ遲滞ナク文部大臣ニ届出ツヘシ
- 第二條 專門學校ハ校地、校舍、校具其ノ他必要ノ設備ヲ爲スヘシ

第三條 校地ハ學校ノ規模ニ適應セル面積ヲ有シ且道徳上及衛生上害ナキ所タルヘシ

第四條 校舍ニハ左ノ諸室ヲ備フヘシ

- 一 教室
- 二 事務室
- 三 其ノ他必要ナル實驗室、實習室、研究室、圖書室、器械室、標本室、藥品室、製煉室等ノ諸室
- 校舍ハ教授上並衛生上適當ニシテ堅牢ナルコトヲ要ス
- 第五條 學具ハ教授上必要ナル圖書、器械、器具、標本模型等トス
- 第六條 專門學校ニ於テハ左ノ表簿ヲ備フヘシ
 - 一 學則、日課、教科用圖書配當表
 - 二 職員ノ名簿及履歷書、出勤簿、擔任學科目及時間表
 - 三 生徒學籍簿、出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類
 - 四 試験ノ問題、答案及成績表
 - 五 資産原簿、出納簿、經費ノ豫算決算ニ關スル帳簿
- 生徒學籍簿ニハ生徒ノ氏名、族籍、居所、生年月日、入學前ノ學歷、入學轉學退學ノ年月日及學年、卒業ノ年月日、入學試験ノ有無轉學退學ノ事由、徵兵事故、保證人ノ氏名及居所等ヲ記載スヘシ
- 別科ノ生徒ニ關シテハ出席簿、徵兵猶豫ニ關スル書類ヲ省略シ及學籍簿ノ記入事項ヲ便宜省略スルコトヲ得
- 第七條 專門學校ノ教員タルコトヲ得ヘキ者左ノ如シ
 - 一 學位ヲ有スル者
 - 二 帝國大學分科大學(元東京大學各部、元札幌農學校ヲ含ム)卒業者又ハ東京高等商業學校(元高等商業學校ヲ含ム)卒業者ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者
 - 三 文部大臣ノ指定シタル者
 - 四 文部大臣ノ認可シタル者

前項第一號乃至第四號ニ該當スル者ヲ得難キ場合ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ一時他ノ者ヲ以テ教員ニ代用スルコトヲ得

前二項ニ依リ認可ヲ受ケントスル場合ニハ公立學校ニ在リテハ管理者、私立學校ニ在リテハ設立者ニ於テ本人ノ履歷書ヲ具シ文部大臣ノ認可ヲ得

臣ニ申請スヘシ但シ奏薦ニ依リ任命セラル、者ニ就テハ別ニ認可ノ手續ヲ經ルコトヲ要セス
文部大臣ハ必要ト認ムルトキハ前項ノ場合ニ於テ學術ノ檢定ヲ行フコトアルヘシ

第八條 專門學校ニ於テ本科生徒ヲ入學セシムルハ毎年一回トス其期間ハ三十日以内トス但シ學科課程相同シキ專門學校間ニ於ケル生徒ノ轉學ニハ本文ヲ適用セス

專門學校ノ本科第二學年以上ニ入學ヲ許スヘキ者ハ本科第一學年ニ入學スルコトヲ得ル資格ヲ有シ且前各學年ノ學科課程ヲ卒リタル者ト同等ノ學力ヲ有スル者タルヘシ學年級ヲ設ケサル專門學校ニ就キテモ又之ニ準ス

前項入學者ノ學力ハ總テ試験ニ依リ之ヲ檢定スヘシ

第九條 (略)

第十條 學校長ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニハ退學ヲ命スヘシ

一 性行不貞ニシテ改善ノ見込ナシト認メタル者

二 學力劣等ニシテ成業ノ見込ナシト認メタル者

三 引續キ一箇年以上缺席シタル者

四 正當ノ事由ナクシテ引續キ一箇月以上缺席シタル者

第十一條 學校長ハ教育上必要ト認メタルトキハ生徒ニ懲戒ヲ加フルコトヲ得

第十二條 專門學校ノ學則中ニ規定スヘキ事項凡ソ左ノ如シ

一 入學資格、修業年限、學科、學科目、學科程度ニ關スル事項

二 學年、學期、休業日ニ關スル事項

三 入學、退學、進級、卒業等ニ關スル事項

四 懲戒ニ關スル事項

五 入學料、授業料、等ニ關スル事項

六 豫科、研究科、別科ニ關スル事項

七 寄宿舎ニ關スル事項

第十三條 專門學校令第四條ニ依リ專門學校ノ廢止ノ認可ヲ受ケントスルモノハ其理由及生徒ノ處分方法ヲ具シ文部大臣ニ申請スヘシ

第十四條 專門學校令十五條ニ依リ文部大臣ノ認可ヲ受ケントスルモノニ付テハ本令第一條ヲ準用ス

第十五條 實業專門學校ニ關シテハ特別ノ規程アル場合ニハ本令ヲ適用セス

附 則

本令ハ明治三十六年四月一日ヨリ施行ス

明治十五年文部省達第四號、同第五號同第六號中甲種藥學校ニ關スル規程ハ之ヲ廢止ス

四、公立學校職員制 (抄)

(大正六年 勅令第五號)

第一條ノ三 公立ノ專門學校、實業專門學校及高等學校ニ左ノ職員ヲ置ク

學 校 長

教 授

生 徒 主 事

助 教

書 記

生 徒 主 事 補

第三條 專門學校、實業專門學校及高等學校ノ學校長ハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇トス

學校長ハ文部大臣ノ命ヲ承ケ校務ヲ掌理シ所屬職員ヲ監督ス

第五條 專門學校、實業專門學校、高等學校、大學豫科及高等女學校高等科ノ教授ハ奏任官ノ待遇、助教教授ハ列任官ノ待遇トシ生徒ノ教育ヲ掌ル(下略)

第五條ノ二 專門學校、實業專門學校、高等學校ノ生徒主事ハ教授ノ中ヨリ之ニ兼任ス但シ特別ノ事情アルトキハ專任ノ生徒主事ヲ置クコトヲ得

專任生徒主事ハ奏任官ノ待遇トス生徒主事ハ學校長ノ命ヲ承ケ生徒ノ訓育ヲ掌ル

第八條ノ五 專門學校、實業專門學校及高等學校ノ生徒主事補ハ助教、教諭又ハ助教諭ノ中ヨリ之ニ兼任ス但シ特別ノ事情アルトキハ專任ノ生徒主事補ヲ置クコトヲ得

專任生徒主事補ハ列任官ノ待遇トス

生徒主事補ハ上司ノ指揮ヲ承ケ生徒主事ノ職務ヲ助ク
 第十一條 大學、專門學校、實業專門學校、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ書記ハ判任官ノ待遇トス上司ノ指揮ヲ承ケ庶務ニ従事ス

五、公立學校職員待遇官等級令 (抄) (大正六年勅令第七號)

第一條 公立學校職員ニシテ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ノ官等ハ別表第一表ニ依ル
 第三條 高等官官等俸給令第二條、第三條第二項及第五條第一項ノ規定ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ノ任免及敘等ニ之ヲ準用ス(第二項略)
 高等官三等ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ハ在職二年ヲ超ユルニ非サレハ之ヲ勅任官ノ待遇ト爲スコトヲ得ス
 前三項ノ規定ノ適用ニ付テハ高等文官ノ在職年數ハ之ヲ同官等待遇ヲ受クル公立學校職員ノ在職年數ト看做ス
 第四條 公立學校職員ニシテ判任官ノ待遇ヲ受クル者ノ等級ハ別表第二表ニ依ル
 職員制上他ノ職ニ在ル者ヲ以テ兼シムル職ノ等級ハ本職ノ等級ニ依ル
 第五條 公立學校職員ニシテ判任官ノ待遇ヲ受クル者ノ進退ハ地方長官之ヲ專行ス
 第六條 公立學校職員ニシテ勅任官、奏任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ノ席次ハ同官等又ハ同等級内ニ於テハ文武官吏ノ次席トス
 第七條 公式令第十四條第三項、第四項及第十五條第三項、第四項ノ規定ハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル公立學校職員ノ官記及免官ノ辭令書ニ之ヲ準用ス

第一表

高等專門學校	勸任官	高等官	高等官	高等官	高等官	高等官	高等官
		三等待遇	四等待遇	五等待遇	六等待遇	七等待遇	八等待遇
專門學校	學校長	同	同	同	同		
		上	上	上	上		
實業專門學校	教授	同	同	同	同	同	同
		上	上	上	上	上	上
高等學校	生徒主事	同	同	同	同	同	同
		上	上	上	上	上	上

第二表

判任官一等待遇	判任官二等待遇	判任官三等待遇	判任官四等待遇
月俸百圓以上	月俸七十圓以上	月俸五十圓以上	月俸五十圓未滿
百圓未滿	七十圓未滿	七十圓未滿	月俸五十圓未滿

六、公立學校職員俸給令 (抄) (明治三十六年勅令第六十六號)

第一條 本令ニ於テ職員ト稱スルハ公立ノ專門學校、大學豫科、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勅任官奏任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受クル者ヲ謂フ
 第二條 勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル專門學校、實業專門學校、大學豫科及高等學校ノ職員ノ年俸ハ第一號表ニ依ル
 第四條 判任官ノ待遇ヲ受クル職員ノ月俸ハ第四號表ニ依ル
 第五條 官吏ニシテ在官ノ僱職員ニ任セラレタル者ノ俸給ハ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得
 第六條 一級俸ヲ受ケ在職五年以上ニ至リ特ニ功勞アル職員ニハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ六百圓以内判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ在リテハ四百圓以内ノ加俸ヲ給スルコトヲ得
 第七條 教員ニシテ舍監、主事ヲ兼ムル者ニハ相當ノ加俸ヲ給スルコトヲ得
 第八條 教員ノ俸給ハ其ノ教授時數ニ應ジ等級相當ノ額ヲ減給スルコトヲ得
 第九條 二校以上ノ職員ヲ兼ムル者ニハ其ノ俸給ヲ分割シテ關係學校ノ經費中ヨリ之ヲ支給スルコトヲ得
 第十條 陸軍給與令又ハ海軍給與令ニ依リ俸給ヲ受クル職員ニハ其ノ間俸給ヲ支給セス但シ其ノ俸給額職員ノ俸給額ヨリ寡少ナルトキハ其ノ不足額ヲ給スルコトヲ得
 第十一條 俸給ハ等級在職一年以上ニ至ラザレハ増加スルコトヲ得但シ奏任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ年俸千百參拾圓以下ノ者及判任官ノ待遇ヲ受クル職員ニシテ月俸七拾五圓以下ノ者ハ此ノ限ニ在ラス
 第十二條 名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若クハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ轉任スル場合ニ於テ支給スル俸給ハ前職ノ俸給額ニ相當スル俸給以下トス若シ相當額ナキトキハ其ノ最モ近キ上級ノ俸給以下トス但シ前職等級在職一年ヲ踰エタルモノニ在リテハ一級ヲ進ムルコトヲ得

關係法令

前項ノ規定ハ年俸千五百拾圓以下又ハ月俸七拾五圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス
 第十三條 退職後一年以内ニ再任セララルル場合ニ於テハ其ノ俸給ハ前職ノ俸給以下トス
 前項ノ場合ニ於テ其ノ前職等級在職一年ヲ踰エタル者ハ前職ノ等級ニ一級ヲ進ムルコトヲ得
 前二項ノ規定ハ年俸千五百拾圓以下又ハ月俸七拾五圓以下ノ俸給ヲ支給スル場合ニハ之ヲ適用セス
 退職後一年以内ニ名稱又ハ待遇ノ異ナリタル職員若ハ種類ノ異ナリタル學校ノ職員ニ任セララルル場合ニ於テハ前條ノ規定ヲ適用ス
 第十四條 前三條ノ俸給額ニハ加俸ヲ算入セス
 第十五條 休職者ニハ其ノ休職中俸給三分ノ一ヲ給ス但シ教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スル場合ニ於テ休職ヲ命セラ
 レタル者ニ付テハ之ヲ給セス又ハ三分ノ一以下ヲ給スルコトヲ得
 第十六條 特別ノ事情ニ依リ第十一條乃至第十三條ノ規定ニ依リ難キ場合ニ於テハ地方長官ハ文部大臣ノ指揮ヲ受ケ特別ノ處分ヲ爲ス
 コトヲ得
 第十七條 高等官官等俸給令第二十三條乃至第二十九條ノ規定ハ勅任官又ハ奏任官待遇ヲ受ケル職員ニ關シ判任官俸給令第十三條乃至
 第十四條ノ規定ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル職員ニ關シ之ヲ準用ス
 第十八條 俸給、旅費其他諸給與ニ關スル規定ハ地方長官之ヲ定ム
 第一號表

學校長	一級	二級	三級	四級	五級	六級	七級	八級	九級	十級	十一級	十二級
教授	14,000	13,000	12,000	11,000	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000
助教授	12,000	11,000	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000
生徒主事	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0
高等專門學校	12,000	11,000	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000
實業專門學校	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0
專門學校	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0	0	0
高等專門學校	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0	0	0	0	0

第四號表

高等專門學校	12,000	11,000	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000
實業專門學校	10,000	9,000	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0
專門學校	8,000	7,000	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0	0	0
高等專門學校	6,000	5,000	4,000	3,000	2,000	1,000	500	0	0	0	0	0

七、公立學校職員分限令 (大正四年 勅令第三號)

第一條 本令ハ公立ノ大學、專門學校、高等學校、師範學校、中學校、高等女學校、實業學校、盲學校及聾啞學校ノ職員ニシテ勅任官
 奏任官又ハ判任官ノ待遇ヲ受ケル者ニ適用ス
 第二條 公立學校職員ハ勅令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依ルニ非サレハ其ノ職ヲ免セララルルコトナシ
 第三條 公立學校職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ其職ヲ免スルコトヲ得
 一 不具、癡疾ニ因リ又ハ身體若ハ精神ノ衰弱ニ因リ職務ヲ執ルニ堪ヘサルトキ
 二 傷疾ヲ受ケ若ハ疾病ニ罹リ其職ニ堪ヘサルニ因リ又ハ自己ノ便宜ニ因リ免職ヲ願出テタルトキ
 三 學校編制ノ變更ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
 前項第一號ノ規定ニ依リ其職ヲ免スルトキハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受ケル者ニ在リテハ文官高等懲戒委員會、判任官ノ待遇ヲ受
 ケル者ニ在リテハ文官普通懲戒委員會ノ審査ニ付ス
 第四條 公立學校職員ハ廢職若ハ廢校ノ場合又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル場合ニ於テハ當然退職者トス
 第五條 第八條第一項第三號乃至第五號ノ規定ニ依リ休職ヲ命セラレ又ハ第八條第二項ノ規定ニ依リ休職トナリ滿期ニ至リタルトキハ
 當然退職者トス
 第六條 公立學校職員ハ其意ニ反シテ待遇ヲ下シ又ハ俸給ヲ減セラルルコトナシ
 第七條 文官分限令第九條及第十條ノ規定ハ公立學校職員ニ關シ之ヲ準用ス
 第八條 公立學校職員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ休職ヲ命スルコトヲ得
 一 懲戒事件ニ關シ懲戒委員會ノ審査ニ付セラレタルトキ
 二 刑事事件ニ關シ告訴又ハ告發セラレタルトキ
 三 學校編制變更其他ノ事由ニ因リ過員ヲ生シタルトキ
 四 教員養成ヲ目的トスル官立府縣立ノ學校ニ入學スルトキ

關係法令

關係法令

五 教育上又ハ事務上必要ナルトキ
 公立學校職員ニシテ陸海軍現役ニ服シ又ハ戰時事變ニ際シ召集セラレタル者ハ當然休職者トス但シ師範學校訓導ニシテ兵役法第十條ノ規定ニ依ル短期現役ニ服スルモノハ此限ニ在ラス
 第九條 休職ノ期間ハ前條第一項第一號及第二號ノ場合ニ在リテハ其事件ノ懲戒委員會又ハ裁判所ニ鑿屬中トシ第三號及第五號ノ場合ニ在リテハ勅任官又ハ奏任官ノ待遇ヲ受クル者ニ付テハ二年、判任官ノ待遇ヲ受クル者ニ付テハ一年トシ第四號及前條第二項ノ場合ニ在リテハ其ノ事故止ミタル後尙ホ三月トス
 第十條 休職者ハ職務ニ從事セス及俸給ヲ減セラレ又ハ之ヲ受ケサルノ外總テ在職者ト異ナルコトナシ
 第十一條 文官分限令第十四條ノ規定ハ公立學校職員ニ之ヲ準用ス

八、官吏服務紀律

(明治二十年勅令第三十九號)

第一條 凡ソ官吏ハ天皇陛下及天皇陛下ノ政府ニ對シ忠順勤勉ヲ主トシ法律命令ニ從ヒ各其職務ヲ盡スヘシ
 第二條 官吏ハ其職務ニ付本屬長官ノ命令ヲ遵守スヘシ但其命令ニ對シ意見ヲ進ルコトヲ得
 第三條 官吏ハ職務ノ内外ナ間ハ廉恥ヲ重シ貪汚ノ處爲アルヘカラス
 官吏ハ職務ノ内外ナ間ハ威權ヲ濫用セス謹慎懇切ナルコトヲ務ムヘシ
 第四條 官吏ハ己ノ職務ニ關スルト又ハ他ノ官吏ヨリ聞知シタルトナ間ハ官ノ機密ヲ漏洩スルコトヲ禁ス其職ヲ退ク後ニ於テモ亦同様トス
 裁判所ノ召喚ニ依リ證人又ハ鑑定人ト爲リ職務上ノ機密ニ就キ訊問ヲ受クルトキハ本屬長官ノ許可ヲ得タル件ニ限り供述スルコトヲ得
 第五條 官吏ハ私ニ職務上未發ノ文書ヲ關係人ニ漏示スルコトヲ禁ス
 第六條 官吏ハ本屬長官ノ許可ナクシテ擅ニ職務ヲ離レ及職務上居住ノ地ヲ離ルルコトヲ得ス
 第七條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ營業會社ノ社長又ハ役員トナルコトヲ得ス
 第八條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ其職務ニ關シ慰勞又ハ謝儀又ハ何等ノ名義ヲ以テスルモ直接ト間接トナ間ハス總テ他人ノ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
 官吏外國ノ君主又ハ政府ヨリ授與セントスル所ノ勳章榮賜俸給贈遺ヲ受クルニハ天皇陛下ノ裁可ヲ要ス

第九條 左ニ掲ケタル者ト直接ニ關係ノ職務ニ居ルノ官吏ハ其響應ヲ受クルコトヲ得ス

- 一 官廳ノ工事ヲ受負フ者
 - 一 官廳ノ爲替方又ハ出納ヲ引受クル者
 - 一 官廳ノ補助金ヲ受クル起業者
 - 一 官廳ノ用品ヲ調達スル者
 - 一 官廳ト諸般ノ契約ヲ結フ者
- 第十條 凡ソ上官タル者ハ職務ノ内外ナ間ハス所屬官吏ヨリ贈遺ヲ受クルコトヲ得ス
 第十一條 官吏竝ニ其家族ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ直接ト間接トナ間ハス商業ヲ營ムコトヲ得ス
 第十二條 官吏ハ取引相場會社ノ社員タルコトヲ得ス及間接ニ相場商業ニ關係スルコトヲ得ス
 第十三條 官吏ハ本屬長官ノ許可ヲ得ルニ非サレハ本職ノ外ニ給料ヲ得テ他ノ事務ヲ行フコトヲ得ス
 第十四條 浪費シテ產ヲ破リ其分ニ應セサル負債ヲ爲ス者ハ過失ノ一タルヘシ
 第十五條 官吏ハ私立郵船會社又ハ私立鐵道會社ヨリ無賃乘車切符ヲ受クルコトヲ得ス
 第十六條 凡テ局長所長其他一部ノ長ハ各所屬官吏ヲ監督シ其過失若シ懲戒處分ヲ行フノ區域ノ内ニ在ラサル者ハ之ヲ訓告スルコトヲ得ムヘシ若シ懲戒處分ヲ要スト認ルトキハ事狀ヲ具ヘテ之ヲ本屬長官ニ稟告スヘシ其情ヲ知り隱蔽シテ稟告セサル者亦過失タルコトヲ免レス
 第十七條 本規律ハ高等官判任官及俸給ヲ得テ公務ヲ奉スル者ニ適用ス

九、公立ノ專門學校長實業專門學校長高等學校長職務規程

(大正十四年文部省訓令)

第一條 學校長ハ判任官ノ待遇ヲ受クル職員ノ進退ヲ地方長官ニ申請シ高等官ノ待遇ヲ受クル職員ノ進退ニ付意見ヲ具ヘ文部大臣ニ稟申スルコトヲ得
 第二條 學校長事故アルトキハ文部大臣ノ許可ヲ經テ高等官ノ待遇ヲ受クル職員ノ一人ヲシテ其事務ヲ代理セシムルコトヲ得
 第三條 左ノ事項ハ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外學校長之レヲ專行スヘシ但シ第二號及第七號ニ關シテハ處分後文部大臣ニ報告スヘシ
 第三號ニ關シ高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者又ハ公立私立專門學校規程第七條第一號乃至第三號ニ該當スル者ヲ教員ニ採用シタルトキ亦同シ

關係法令

關係法令

- 第一 學科ノ擔任及事務ノ分課ヲ定ムルコト
- 第二 規則ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコト
- 第三 官吏ノ待遇ヲ受ケサル職員ノ進退ニ關スルコト
- 第四 職員ノ内國各地出張ニ關スルコト
- 第五 職員ノ除服出仕請暇ニ關スルコト
- 第六 職員ノ任地外居住官廳其ノ他ノ事業囑託ニ應スルノ願ニ關スルコト
- 第七 三日以内ノ臨時休業ヲ爲スコト
- 第四條 學校長ハ毎年會計年度ノ終ニ於テ前年ノ功程ヲ具ヘ文部大臣ニ報告スヘシ
- 第五條 第一條ノ稟申並第三條及第四條ノ報告ハ地方長官ヲ經由スヘシ

一〇、陸軍現役將校學校配屬令 (抄) (昭和二十四年)

- 第一條 官立又ハ公立ノ師範學校、中學校、實業學校、高等學校、大學預科、專門學校、高等師範學校、臨時教員養成所、實業學校教員養成所又ハ青年學校教員養成所ニ於ケル男生徒ノ教練ヲ掌ラシムル爲陸軍現役將校ヲ當該學校ニ配屬ス但シ戰時事變ノ際其ノ他已ムヲ得サル場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス
- 前項ノ規定ニ依ル將校ノ配屬ハ陸軍大臣、文部大臣ト協議シテ之ヲ行フ
- 配屬將校ハ教練ニ關シテハ當該學校長ノ指揮監督ヲ承ク
- 第三條 陸軍大臣及文部大臣ハ特別ノ事由アルトキハ本令ニ依ル將校ノ配屬ヲ止ムルコトヲ得
- 第四條 陸軍大臣ハ現役將校ヲシテ本令ニ依リテ將校ヲ配屬シタル學校ニ於ケル教練實施ノ狀況ヲ查閱セシムルコトヲ得

一一、陸軍現役將校學校配屬ニ關スル訓令 (抄) (大正十四年)

(文部省訓令第五號)

國民ノ心身ヲ健全ニ發達セシメテ其實質ヲ向上セシメ以テ國力ヲ増進シ國運ノ隆昌ヲ圖ルハ内外現時ノ情勢ニ鑑ミ最モ喫緊ノ一要務タリ而シテ其目的ノ達成ハ主トシテ之ヲ教育ノ效果ニ待タサルヘカラス故チ以テ明治維新以來教育ノ制度ヲ定ムルヤ思フ此ニ致シテ施設經營シ明治十九年教育法令改正スルニ當リ特ニ學校ニ於テ兵式體操ヲ課スルコトトセリ當時一般ノ學校ニ於テ教師モ生徒モ熱心ニ事ニ此ニ從ヒタレハ其ノ教育ノ實績ヲ進メタル功顯著ナルモノアリタリ然ルニ時勢ノ變遷ニ伴ヒ學校ニ於ケル兵式體操モ動モスレハ當初

ノ精神ト乖離シ徒ニ形式ニ流レテ其ノ眞髓ヲ失ハムトスル傾向ナキニアラズ是ニ於テ大ニ之ヲ振作シテ體育ヲ促進スルト共ニ德育ヲ裨補シ併セテ國防能力ノ増進ヲ圖ルノ必要朝野ニ論議セララルニ至レリ竊ツテ世界ノ大勢ヲ察スルニ大戦以來歐米諸國ニ於テハ國民訓練又ハ軍事豫備教育ト稱スルモノ著シク發達シ之ニ依リテ實質剛健ノ士風ヲ振起シ社會民心ヲ善導シ且國民ノ間ニ國防思想ヲ普及セシメムコトヲ期セリ我力國ハ列強ニ先チテ學校教育ニ兵式體操ヲ加ヘ國民訓練ノ實ヲ示シタルニ拘ラス近時却テ彼ニ一籌ヲ輸スルノ情態ニ在ルハ頗ル遺憾トスル所ナリ

内外ノ情勢右ニ述ヘタルカ如シ當局ニ於テハ夙ニ學校ニ於ケル教練ヲ一層振作スルノ方針ヲ定メ之カ爲ニハ現役將校ヲシテ其ノ指導ノ任ニ當ラシムルコトノ有效ナルヲ認メ之カ實行方法等ニ就キテ考究ヲ重ネタル結果今般其ノ實現ヲ見ルニ至レリ

抑々學校ニ於テ教練ヲ課スルノ目的ハ學生生徒ノ心身ヲ鍛鍊シテ其實質ヲ向上セシムルニ在リ換言スレハ國家的觀念ヲ明徴ニシテ獻身奉仕ノ精神ヲ振起シ自主自立ノ習慣ヲ馴致シテ責任ヲ盡シ規律ヲ重ンシ節制ヲ守リ協同ヲ尙ヒ且命令ニ服從スルノ氣風ヲ作興シ身體ヲ強壯ニシ志氣ヲ鼓舞シ更ニ堅忍敢爲ノ精神ヲ涵養スルニ在リ而シテ之カ勵行ニ依リテ國防能力ヲ増進セシムルノ結果ヲ生スルハ論ヲ須タス

今次ノ施設ハ現役將校ヲ學校ニ配屬セシメ教練ノ教授ニ當ラシムルモノナレトモ之ヲ以テ在來勤務セル教練ノ教師ニ代ヘムトスルノ趣旨ニアラスシテ教練ノ教授能率ヲ増大シ其ノ實施ヲ一層適切有效ナラシメムトスルニ外ナラス隨ツテ配屬將校ハ當該學校長ノ監督ノ下ニ立チ其ノ指揮ニ基キテ業務ニ從事スヘキハ勿論其ノ教授ニ際シテモ善ク他ノ學科目トノ聯絡ヲ保チ學生生徒ノ心身發達ノ狀況ニ應ジ別ニ定ムル教授要目ニ準據シテ之ヲ實行スヘキモノトス

地方長官及學校當事者ハ克ク其ノ趣旨目的ヲ體シ相當設備ノ充實ヲ圖ルコトニ力メ且運用宜シキヲ制シ以テ其ノ實績ヲ擧グルニ遺憾ナカラムコトヲ期スヘシ

一二、教員免許令 (明治三十三年)

- 第一條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外教員免許狀ヲ授與スルハ本令ノ定ムル所ニ依ル
- 第二條 特別ノ規定アル場合ヲ除クノ外本令ニ依リ免許狀ヲ有スル者ニ非サレハ教員タルコトヲ得ス但シ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ免許狀ヲ有セサル者ヲ以テ教員ニ充ツルコトヲ得
- 第三條 教員免許狀ハ教員養成ノ目的ヲ以テ設置シタル官立學校ノ卒業者又ハ教員檢定ニ合格シタル者ニ文部大臣之ヲ授與ス
- 第四條 教員檢定ハ試驗檢定及無試驗檢定トシ教員檢定委員之ヲ行フ

關係法令

關係法令

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教員檢定ヲ受クルコトヲ得ス

一 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

二 破産者ハ家資分散ノ宣告ヲ受ケ復權セサル者又ハ身代限りノ處分ヲ受ケ債務ノ辨償ヲ終ヘサル者

第六條 教員檢定ヲ出願スル者ハ手数料トシテ一學科目毎ニ金七圓ヲ納付スヘシ

第七條 教員檢定ニ關スル規程ハ文部大臣之ヲ定ム

第八條 教員免許狀ヲ受ケタル者ノ氏名族籍及免許ノ學科ハ官報ヲ以テ之ヲ公告ス

第九條 教員免許狀ヲ有スル者其ノ氏名族籍ヲ變更シ又ハ免許狀ヲ毀損亡失シタルトキハ其ノ事由ヲ記シ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ文部大臣ニ出願スルコトヲ得

前項ニ依リ免許狀ノ書換若ハ再渡ヲ出願スル者ハ手数料金壹圓ヲ納付スヘシ

第十條 教員免許狀ヲ有スル者第五條各號ノ一ニ該當シタルトキハ免許狀ハ其ノ効力ヲ失フ

第十一條 教員免許狀ヲ有スル者不正ノ所爲其ノ他教員タルヘキ體面ヲ汚辱スルノ所爲アリテ其ノ情狀重シト認ムルトキハ文部大臣ハ其ノ免許狀ヲ褫奪ス

第十二條 本令ニ依リ納付スヘキ手数料ハ收入印紙ヲ用キ之ヲ願書ニ貼付スヘシ其ノ既ニ納メタル後ハ何等ノ事情アルモ之ヲ還付セス

附 則

第十三條 本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

第十四條 本令施行前文部大臣ニ於テ授與シタル師範學校、中學校、高等女學校ノ教員免許狀及舊東京師範學校ニ於テ授與シタル中學師範學校卒業證書ハ本令ニ依リ授與シタル教員免許狀ト同一ノ効力ヲ有ス

附 則

本令ハ昭和三年一月一日ヨリ之ヲ施行ス

一三、師範學校中學校高等女學校教員檢定規程(抄) (昭和七年八月三十日) (文部省令第十五號ヲ以テ改正)

第一條 教員檢定ハ受檢者ノ學力、性行、身體ニ就キ之ヲ行フ

第二條 檢定ヲ爲スヘキ學科目左ノ如シ

修身、公民科、教育、國語漢文、歴史、地理、外國語、數學、理科、家事、裁縫、手藝、實業、圖書、手工、音樂、作業科、體操

國語漢文ハ國語、漢文、習字ノ三部ニ、外國語ハ英語、獨語、佛語、支那語ノ四部ニ、理科ハ動物、植物、礦物、生理及衛生、物理、化學ノ六部ニ、手藝ハ刺繡、造花、編物、染色、機織ノ五部ニ、實業ハ農業、工業、商業、簿記ノ四部ニ、圖書ハ日本需用器

畫、西洋需用器畫ノ二部ニ、體操ハ體操、教練、劍道、柔道ノ四部ニ分チテ檢定ヲ出願スルコトヲ得此ノ場合ニ於テ一學科目ノ一部又ハ數部ノ檢定ヲ出願スルモ其手数料ニ關シテハ一學科目ト看做ス

師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ檢定ハ家事、裁縫ニ限リ之ヲ行フ此ノ場合ニ於テ家事ハ衣服、食物住居及家事經濟、育児看護家庭衛生及生理ノ二部ニ、裁縫ハ和服裁縫、洋服裁縫ノ二部ニ分チテ檢定ヲ出願スルコトヲ得其ノ手数料ニ關シテハ前項ノ例ニ依ル

第三條 試驗檢定ハ毎年少クトモ一回之ヲ行ヒ無試驗檢定ハ隨時之ヲ行フ

試驗檢定ノ出願期限及試驗ヲ行フヘキ學科目ハ文部大臣ニ於テ之ヲ告示シ試驗施行ノ期日及注意ハ教員檢定委員會長ニ於テ之ヲ公告ス

第四條 檢定ヲ受ケントスル者ハ第一號書式ノ願書ニ左ノ書類ヲ添ヘ試驗檢定ニ在リテハ豫備試驗ヲ受ケヘキ者ハ其ノ受檢地ノ地方廳其ノ他ノ者ハ便宜ノ地方廳ヲ經由シ無試驗檢定ニ在リテハ地方廳若ハ當該學校ヲ經由シテ文部大臣ニ出願スヘシ

一 第二號書式ノ履歷書及受檢資格ニ關スル學校卒業證書若ハ教員免許狀ノ寫

二 第五條第一號、第二號、第四號、第五號及第九號ニ該當スル者ニ在リテハ第三號書式ノ當該學校長證明書、同條第三號ニ該當スル者ニ在リテハ第四號書式ノ試驗檢定合格證明書、同條第六號ニ該當スル者ニシテ教員免許狀授與地方廳以外ノ地方廳ヲ經由スル場合ニ在リテハ第五號書式ノ授與地方廳證明書、第十一條第一項第二號ニ該當スル者ニ在リテハ第六號書式ノ相當官署ノ證明書

三 第七號書式ノ學校醫ノ身體檢查書但シ學校醫ノ設置ナキ地ニ在リテハ醫師法ニ依ル醫師ノ身體檢查書ヲ以テスルモ妨ナシ

地方長官又ハ當該學校長ハ本人ノ性行ニ就キ意見ヲ具申スルコトヲ要ス

第五條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得但シ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ試驗檢定ヲ受クルコトヲ得ル者ハ高等師範學校、女子高等師範學校、臨時教員養成所、專門學校若ハ專門學校ト同等以上ノ學校トシテ文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者又ハ當該學科目ニ關シ教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者ニ限ル

一 中學校卒業者

二 高等女學校及高等女學校實科若ハ實科高等女學校卒業者

三 專門學校入學者檢定規程ニ依リ試驗檢定ニ合格シタル者

關係法令

一一五

- 四 專門學校入學者檢定期程第十一條ニ依リ專門學校入學ニ關シ指定ヲ受ケタル者
- 五 兵役法施行令第百條第三號又ハ文官任用令第六條第一號ニ依リ中學校ト同等以上ト認定セラレタル學校ヲ卒業シタル者
- 六 小學校本科正教員、尋常小學校本科正教員、小學校專科正教員若ハ小學校准教員ノ免許狀ヲ有スル者
- 七 教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者
- 八 外國ニ於テ師範學校、中學校、高等女學校ニ準スヘキ學校ヲ卒業シタル者
- 九 文部大臣ニ於テ某學科目ニ關シ適當ト認定シタル學校ヲ卒業シタル者
- 十 第一號及第二號ニ準スヘキ學歷アル者

第六條 (削除)

第七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ文部大臣ノ適當ト認メタル學科目ニ關シ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得

- 一 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者及選科修了者
- 二 第五條各號ノ一ニ該當スル者ニシテ卒業者ノ教員無試験檢定ニ關シ文部大臣ノ許可ヲ受ケタル公立、私立學校ニ入り三箇年以上在學シテ卒業シタル者但シ體操科ヲ修ムル者ニ在リテハ二箇年以上トシ修業年限四箇年ノ高等女學校、高等女學校實科若ハ實科高等女學校ノ卒業者並第五條第三號ニ該當スル者及第四號中修業年限四箇年ノ高等女學校卒業者ニ準スヘキ者又ハ修業年限五箇年ノ高等女學校第四年修了者ニ在リテハ家事、裁縫、體操、手藝ノ一科目又ハ數科目ヲ修ムル場合ノ外四箇年以上トス
- 三 高等學校高等科教員免許狀ヲ有スル者
- 四 實業學校教員免許狀ヲ有スル者
- 五 第五條第一號乃至第八號ニ該當スル者ニシテ外國ノ大學校又ハ之ニ準スヘキ學校ニ於テ修學シ學位若ハ卒業證書ヲ受領シタル者
- 六 相當ノ學歷ヲ有シ師範學校、中學校、高等女學校及之ト同等以上ノ學校ニ於テ五箇年以上檢定ヲ受ケントスル學科目ノ教授ヲ擔任シ其ノ成績優良ナル者
- 第七條ノ二 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科ノ家事又ハ裁縫ニ關シ無試験檢定ヲ受クルコトヲ得
- 一 學位ヲ有スル者
- 二 大學ヲ卒業シタル者又ハ大學ニ於テ試験ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者
- 三 外國ニ於テ大學若ハ之ニ準スヘキ學校ニ入り學位若ハ卒業證書ヲ有スル者

四 文部大臣ノ指定シタル學校ノ卒業者

五 相當ノ學歷ヲ有シ師範學校專攻科、高等女學校高等科又ハ專攻科、女子高等師範學校、臨時教員養成所、專門學校又ハ之ト同等以上ノ學校ニ於テ五箇年以上當該學科目ノ教授ヲ擔任シ其ノ成績優良ナル者

第八條 試験檢定ヲ分チテ豫備試験、及本試験トス但シ師範學校專攻科並ニ高等女學校高等科及專攻科教員ノ試験檢定ニ於テハ豫備試験ヲ行ハス

豫備試験ヲ施行スル學科目ニ在リテハ豫備試験ニ合格シタル者ニアラサレハ本試験ヲ受クルコトヲ得

豫備試験ニ合格シタル者ハ次ノ試験檢定ニ於テ同一ノ學科目ニ付出願スル場合ニ限り豫備試験ヲ免ス

國語漢文ノ内國語ノ豫備試験ニ於テハ漢文ヲ、漢文ノ豫備試験ニ於テハ國語ヲ併セ課ス

理科ノ内各部ノ豫備試験ニ於テハ一般理科ヲ併セ課ス

第九條 試験ハ受験者出願ノ學科目ニ就キ其ノ教員タラントスル學校ノ學科目ヲ教授スルニ足ルヘキ程度ヲ標準トシテ之ヲ行ヒ國民道徳要領、教育大意及教授法ノ試験ヲ併セ行フ但シ教員免許令ニ依リ授與セラレタル教員免許狀ヲ有スル者若ハ小學校本科正教員ニ對シテハ本文國民道徳要領及教育大意、修身科出願者ニ對シテハ國民道徳要領、教育科出願者ニ對シテハ教育大意ノ試験ヲ行ハス

第十條 豫備試験ハ願書經由ノ地方廳所在地ニ於テ之ヲ行フ

前項試験ノ施行ハ東京府ヲ除クノ外地方長官之ヲ監督ス

本試験ヲ行フヘキ場所ハ教員檢定委員長ニ於テ之ヲ公告ス

第十一條 體操ノ内教練ノ試験檢定ヲ出願シタル者ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キテハ教練ノ試験ヲ免ス

一 陸軍歩兵科士官

二 陸軍歩兵科下士官任官後滿四箇年以上現役ニ服シタル者

體操ノ内教練、劍道、柔術ノ試験ハ女子ニ對シテハ之ヲ行ハス

第十二條 日本畫用器畫又ハ西洋畫用器畫ノ試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ日本畫、西洋畫又ハ用器畫ノ一以上ニ關シ成績優良ナルトキハ教員檢定委員長ハ其ノ部分ノ成績ニ關シ證明書ヲ授與スヘシ

歴史ノ試験檢定ヲ受ケタル者ニシテ日本史、東洋史又ハ西洋史ニ關スル各部分ニ就キ成績優良ナルトキ亦同シ

前項ノ證明書ヲ受ケタル者ニシテ更ニ同一ノ學科目ニ就キ檢定ヲ出願シタルトキハ其ノ證明書ニ記載セサル部分ニ就キ本試験ヲ行フ

第十三條 不正ノ方法ニ依リ試験ヲ受ケントシタル者及試験ニ關スル規程ニ違背シタル者ハ試験ヲ受クルコトヲ得ス

檢定ニ合格シタル後前項ノ事實發覺シタルトキハ其ノ合格ヲ無効トスルコトアルヘシ

參照

教員無試験檢定ニ關シ文部大臣ノ指定 (抄) (明治三十六年 文部省告示第三十號)

高等商業學校

本科 英語(當該學科目成績優等ナル者ニ限ル)、商業、簿記

一四、公立私立實業學校教員資格ニ關スル規程 (抄) (明治四十八年 文部省令第二十八號)

第一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ實業學校ノ教員タルコトヲ得

一 學位ヲ有スル者

二 大學ヲ卒業シタル者、大學ニ於テ試験ニ合格シ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ官立學校ノ卒業生ニシテ學士ト稱スルコトヲ得ル者

三 文部大臣ノ指定シタル者

四 教員免許令ニ依リ教員免許狀ヲ有スル者

參照

公立私立實業學校教員資格ニ關シ文部大臣ノ指定 (抄) (大正八年七月八日 文部省告示第九十二號)

官立公立實業專門學校本科卒業生

一五、海軍武官任用令 (抄) (昭和九年 勅令第四十二號)

第十五條 主計少尉ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ヨリ之ヲ任用ス

二 海軍主計學生ト爲リ大學令ニ依ル大學ノ附屬商學專門部又ハ高等商業學校ヲ卒業シタル者

三 大學令ニ依ル大學ノ附屬商學專門部又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ法學、經濟學又ハ商學ニ關スル課程ヲ卒ヘタル者ニシ

テ身體檢査ニ合格シタルモノ

一六、高等試験令 (抄) (昭和四年 勅令第十五號)

第四條 高等試験ヲ分チテ豫備試験及本試験トス

豫備試験ニ合格シタル者ニ非サレハ本試験ヲ受クルコトヲ得ス

第八條 高等學校高等科ヲ卒リ若ハ大學豫科ヲ修了シタル者又ハ文部大臣ノ定ムル所ニ依リ之ト同等以上ノ學力ヲ有スト認ムル者ハ豫備試験ヲ免ス豫備試験ニ合格シタル者ハ爾後豫備試験ヲ免ス

一七、高等試験令第七條及第八條ニ依ル受験資格ニ關スル件 (抄) (大正七年 文部省令第三號)

第二條 左ノ者ハ高等試験令第八條ニ依リ高等學校高等科ヲ卒リ若ハ大學豫科ヲ修了シタル者ト同等以上ト認ム

一 大學學部ニ學生トシテ入學シ現ニ在學スル者又ハ學士試験ニ合格シタル者

二 文部大臣ニ於テ高等學校高等科若ハ大學豫科ト同等以上ト指定シタル學校ヲ卒業シタル者

一八、計理士法 (抄) (昭和二年 法律第三十一號)

第二條 左ノ條件ヲ具フル者ハ計理士タル資格ヲ有ス

一 帝國臣民又ハ主務大臣ノ定ムル所ニ依リ外國ノ國籍ヲ有スルモノニシテ私法上ノ能力者タルコト

二 計理士試験ニ合格シタルコト

計理士試験ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ前條第一項第二號ノ規定ニ拘ラス計理士タル資格ヲ有ス

一 會計學ヲ修メタル經濟學博士又ハ商學博士

二 帝國大學若ハ大學令ニ依ル大學ニ於テ會計學ヲ修メ學士ト稱スルコトヲ得ル者又ハ專門學校令ニ依ル專門學校ニ於テ會計學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者

三 主務大臣ニ於テ前號ニ掲グル學校ト同等以上ト認ムル學校ニ於テ會計學ヲ修メ之ヲ卒業シタル者

一九、兵役法(抄) (昭和二十二年法律第四十七號)

- 第一條 帝國臣民タル男子ハ本法ノ定ムル所ニ依リ兵役ニ服ス
- 第五條 現役ハ陸軍ニ在リテハ二年、海軍ニ在リテハ三年トシ現役兵トシテ徵集セラレタル者之ニ服ス
現役兵ハ現役中之ヲ在營セシム
- 第六條 豫備役ハ陸軍ニ在リテハ五年四月、海軍ニ在リテハ四年トシ現役ヲ終リタル者之ニ服ス
- 第七條 後備兵役ハ陸軍ニ在リテハ十年、海軍ニ在リテハ五年トシ常備兵役ヲ終リタルモノ之ニ服ス
- 第八條 第一補充兵役ハ陸軍ニ在リテハ十二年四月、海軍ニ在リテハ一年トシ現役ニ適スル者ニシテ其年所要ノ現役兵員ニ超過スル者ノ中所要ノ人員之ニ服ス
- 第二補充兵役ハ十二年四月トシ現役ニ適スル者ノ中現役又ハ第一補充兵役ニ徵集セラレサル者及海軍ノ第一補充兵役ヲ終リタル者之ニ服ス但シ海軍ノ第一補充兵役終リタル者ニ在リテハ十一年四月トス
- 第十一條 現役兵ニシテ青年學校ノ課程又ハ之ト同等以上ト認ムル課程ヲ修メタル者ノ在營期間ハ六月以内之ヲ短縮スルコトヲ得
- 第二項 (略)
- 第四十一條 中學校又ハ中學校ノ學科課程ト同等以上ト認ムル學校ニ在學スル者ニ對シテハ本人ノ願ニ依リ學校ノ修業年限ニ應ジ年齡ニ至ル迄徵集ヲ延期ス
- 前項ニ規定スル認定及年齡ノ區分ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム
- 第一項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ハ在學ノ事由止ム年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ但シ一ノ學校卒業ノ日ヨリ六月以内ニ他ノ學校ニ入學スル者ニ付テハ徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト見做ス
- 第二項ノ年齡ノ區分ニ基ク最高年齡ニ達スルモ在學ノ事由尙止マサル者ハ最高年齡ニ達シタル年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ
- 第四十二條 徵兵適齡及其前ヨリ帝國外ノ地ニ在ル者(勅令ヲ以テ定ムル者)ヲ除クニ對シテハ本人ノ願ニ依リ徵集ヲ延期ス
- 前項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ハ其事由止ム年又ハ其翌年ニ於テ徵兵検査ヲ行フ
- 第四十三條 前條第一項ノ規定ニ依リ徵集ヲ延期セラレタル者ニシテ直系尊屬若ハ妻子死亡若ハ重態ノ爲又ハ官廳ノ命ニ依リ一時帝國外ニ歸還スル者ハ徵集延期ノ事由尙繼續スルモノト看做ス但シ歸還後ノ滞在期間九十日間ヲ超ユルトキハ此限ニ在ラス(後略)
- 第五十六條 豫備兵及後備兵ハ勤務演習ノ爲豫備役及後備兵役ヲ通シ五回以内之ヲ召集スルコトヲ得

- 前項ニ規定スル召集ハ一年一回トシ一回ノ日數ハ陸軍ニ在リテハ三十五日以内海軍ニ在リテハ七十日以内トス
- 第六十一條 歸休兵豫備兵後備兵又ハ補充兵ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ對シテハ勤務演習召集又ハ簡閱點呼ヲ免除スルコトヲ得
 - 一 餘人ヲ以テ代フヘカラサル職ニ在ル官吏又ハ官吏待遇者
 - 二 市町村長、助役、收入役其他之ニ準スヘキ職ニ在ル者
 - 三 帝國議會、府縣會、市町村會其他之ニ準スヘキモノノ議員但シ其會期中ニ限ル
 - 四 帝國外ノ地ニ旅行又ハ在留スル者
 - 五 帝國外ノ地ヲ往復スル帝國船舶ノ船員

二〇、兵役法施行令(抄) (昭和二十二年勅令第三百三十號)

- 第百條 左ニ掲グルモノハ兵役法第四十一條第一項ノ規定ニ依ル中學校ノ學科程度ト同等以上ト認ムル學校トス
 - 一 師範學校、實業學校(尋常小學校卒業ヲ入學程度トスル修業年限五年又ハ之ト同等以上ノモノニ限ル)高等學校、大學令ニ依ル大學豫科、專門學校、高等師範學校、大學令ニ依ル大學部、臨時教員養成所、實業學校教員養成所及青年學校教員養成所
但シ研究科、選科等ノ別科ヲ除ク
 - 二 宮内大臣、文部大臣以外ノ各省大臣、朝鮮總督、臺灣總督、滿洲國駐劄特命全權大使又ハ樺太廳長官ノ所轄學校ニシテ前號ニ掲グル學校ニ準スルモノ
但シ研究科、選科等ノ別科ヲ除ク
 - 三 前二號ニ掲グル以外ノ學校又ハ前二號ニ掲グル學校ノ別科ニシテ陸軍大臣及文部大臣ニ於テ認定ヲ爲シタルモノ
- 第百一條 兵役法第四十一條第一項ノ規定ニ依リ學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齡左ノ如シ

學校ノ區分	最高年齡
師範學校 高等學校高等科及專攻科 大學令ニ依ル大學豫科 修業年限三年又ハ四年ノ專門學校 高等師範學校(專攻科ヲ除ク) 前條第一號ニ掲クル教員養成所	年 齡 二 十 五 年
修業年限五年以上ノ專門學校 高等師範學校專攻科 大學令ニ依ル大學學部	年 齡 二 十 七 年

前條第二號又ハ第三號ニ該當スル學校ニ在學スル者ニ付徵集ヲ延期シ得ヘキ最高年齡ハ其ノ入學資格及修業年限ニ應ジ前項ノ規定ニ準シ陸軍大臣之ヲ定ム

二一、陸軍補充令(抄) (昭和二年十一月三十日勅令第三百三十一號) (昭和十三年九月勅令第六十四號改正)

第五十二條 豫備役將校ハ幹部候補生又ハ操縱候補生ニシテ少尉ニ任セラレ、ノ資格ヲ具フル者ヲ以テ之ヲ補充ス

第五十三條 各兵科幹部候補生(技術ニ從事スヘキ者ヲ除ク)ハ左ニ掲クル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 豫備役及後備役ノ將校又ハ下士官タルノ希望ヲ有スル者

二 兵トシテ概ネ四月以上在營(召集ニ依リ部隊ニ在ル場合ヲ含ム以下之ニ同シ)シタル者

三 左ノ各號ノ一ニ該當スル者但シ(イ)乃至(ハ)ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ在リテハ當該學校ノ配屬將校(陸軍現役將校學校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ニ依リ配屬シタル將校ヲ謂フ以下之ニ同シ)ノ行フ教練ノ檢定ニ合格シタル者ナルコトヲ要ス

(イ) 配屬將校ヲ附シタル學校(研究科、選科等ノ別科ヲ除ク)ヲ卒業シタル者

(ロ) 配屬將校ヲ附シタル高等學校高等科又ハ大學令ニ依ル大學豫科ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ハ) 配屬將校ヲ附シタル學校ニシテ陸軍大臣ニ於テ高等學校高等科ト同等以上ト認ムルモノ、第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ニ) 陸軍士官學校豫科生徒若クハ陸軍經理學校豫科生徒ノ第一學年ノ課程又ハ海軍兵學校、海軍機關學校若ハ海軍經理學校ノ第一學年ノ課程ヲ修了シタル者

(ホ) 文部省直轄商船專門學校ノ席上課程ヲ修了シタル者

教練ノ檢定ニ關スル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十四條 技術ニ從事スヘキ各兵科幹部候補生及各部幹部候補生ハ前條ニ規定スル資格ノ外向左ニ掲クル資格ヲ具ヘ幹部候補生タルコトヲ志願スル者ノ中人格成績共ニ優秀且家庭良好ニシテ陸軍大臣ノ定ムル銓衡ニ合格シタル者ヲ以テ之ニ充ツ

一 (略)

二 經理部幹部候補生、法律、經濟、商業、工業又ハ農業ニ關スル學科ヲ教授スル專門學校(研究科選科等ノ別科ヲ除ク)又ハ陸軍大臣ニ於テ之ト同等以上ト認ムル學校ヲ卒業シタル者

三 (略)

四 (略)

第五十五條 禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者又ハ破産ノ宣告ヲ受ケ復權ヲ得サル者ハ幹部候補生タルコトヲ得ス

第五十六條 (略)

第五十七條 幹部候補生ハ採用後概ネ三月ノ後左ノ如ク區分ス

一 豫備役將校タルヘキ幹部候補生(甲種幹部候補生ト稱ス)

二 豫備役下士官タルヘキ幹部候補生(乙種幹部候補生ト稱ス)

前項ノ區分ニ關シ必要ナル事項ハ陸軍大臣之ヲ定ム

第五十八條 現役第一年次兵ヨリ採用セラレタル幹部候補生ノ修業期間ハ現役兵ノ入營期日ヨリ起算シ二年ニ滿ツル日迄トシ其ノ他ノ兵ヨリ採用セラレタル幹部候補生ノ修業期間ハ採用ノ日ヨリ起算シ概ネ一年八月トス

第五十九條 幹部候補生ニ對シテハ採用ノ後直ニ一等ノ階級ヲ與ヘ爾後概ネ二月ノ後上等兵ノ階級ニ進ム

甲種幹部候補生ニ對シテハ第五十七條ノ規定ニ依ル區分ノ後概ネ一月ノ後伍長ノ階級ニ爾後概ネ三月ノ後軍曹ノ階級ニ進ム

乙種幹部候補生ニ對シテハ第五十七條ノ規定ニ依ル區分ノ後概ネ四月ノ後伍長ノ階級ニ進ム

第六十條 各兵科甲種幹部候補生(航空兵科ノ者及技術ニ從事スヘキ者ヲ除ク)ハ教育總監之ヲ陸軍豫備士官學校、陸軍戰車學校、陸軍騎兵學校、陸軍野戰砲兵學校、陸軍重砲兵學校、陸軍防空學校、陸軍工兵學校、陸軍通信學校、陸軍自動車學校若ハ陸軍習志野學

校ニ入學セシメ又ハ陸軍大臣ノ定ムル部隊ニ於テ概ネ十一月間教育ス

各部甲種幹部候補生ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ概ネ十一月間教育ス

甲種幹部候補生前二項ニ規定スル教育ノ課程ヲ終リタルトキハ曹長ノ階級ニ進メ當該兵科部ノ見習士官ヲ命ジ概ネ四月間所屬隊又ハ陸軍大臣ノ定ムル部隊ニ於テ其本務ニ必要ナル勤務ヲ習得セシム

第六十一條 (略)

第六十二條 幹部候補生ハ前二條ノ規定ニ依ルノ外陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ軍隊、學校又ハ官衙ニ於テ其本務ニ必要ナル勤務及軍事學ヲ修得セシム

第六十二條ノ二 見習士官ヲ命セラレタル甲種幹部候補生ヲ將校トナスノ可否ハ所屬隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銜會議ニ於テ之ヲ決ス但シ其ノ修業期間ノ終迄他ノ部隊ニ分遣セラレタル者ニ付テハ當該部隊ノ將校ヲ以テ組織スル將校銜會議ニ於テ之ヲ決スルモノトス

第六十二條ノ三 乙種幹部候補生ハ幹部候補生ニ採用後概ネ一年三月ノ後陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ試験ヲ行ヒ其成績ト平素ニ於ケル勤務ノ成績トヲ參酌シ下士官タルノ適否ヲ決定ス前項ニ規定スル成績優秀ナル者ハ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ之ヲ軍曹ノ階級ニ進ム

第六十二條ノ四 (削除)

第六十二條ノ五 幹部候補生ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ幹部候補生ヲ免ス

一 他ノ兵籍ニ編入セラレタル者

二 軍紀ヲ紊リ若ハ屢々法則ヲ犯シ又ハ品行不正ニシテ改悛ノ見込ナキ者

三 成績不良ニシテ修業ノ見込ナキ者

四 疾病其ノ他身體又ハ精神ノ異常ニ因リ修業ノ見込ナキ者

五 前各號ニ掲グル者ノ外豫備役ノ幹部タルニ適セスト認メタル者

幹部候補生ニ採用セラレタル者本人ニ依ルニ非サレハ一家ノ生計ヲ營ミ難キ事故ヲ生シタルトキ又ハ現役下士官候補者ヲ志願シ採用ノ見込アルトキハ本人ノ願ニ依リ幹部候補生ヲ免スルコトヲ得

第六十二條ノ六 第五十七條ノ規定ニ依リ區分ヲ爲シタル後ニ於テモ陸軍大臣ノ定ムル所ニ依リ本人ノ成績ヲ參酌シ甲種幹部候補生ヲ前項ノ規定ニ依リ甲種幹部候補生ヲ乙種幹部候補生ト爲シタル場合ニ於テ現ニ曹長、軍曹又ハ伍長ノ階級ヲ有スル者ハ之ヲ軍曹、伍長又ハ上等兵ノ階級トナス

二二、陸軍召集規則 (抄)

(昭和二十一年 陸軍省令第二十一號)

第五十六條 陸軍現役將校配屬令又ハ大正十四年勅令第二百四十六號ノ規定ニ依リ現役將校ヲ配屬シタル學校ノ生徒ノ簡閱點呼ハ當該配屬將校ヲシテ適宜ノ方法ニ依リ之ヲ實施セシムルコトヲ得

二三、學校教練及青年訓練修了者檢定規程 (抄)

(昭和二十二年 陸軍省令第二十二號)

學校教練檢定規程 (抄)

(昭和二十二年 陸軍省令第二十二號)

第二條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ教練ノ檢定ニ於テ之ヲ合格ト爲スコトヲ得ス

一 正當ノ事由ナクシテ屢々教練ノ開席シタル者其ノ他教練實施ニ於テ怠慢ナリシ者、思想正順ヲ缺ク者又ハ素行不良ナル者ニシテ屢々訓戒ヲ受クルモ改悛セサルモノ

二 學校ニ於ケル檢定ニ合格シタルト否トニ拘ラス其ノ成績不良ナル者

三 (略)

前條ノ規定ニ依リ合否ヲ決定スルニハ最終學年以前ノ學年及前學校ニ於ケル教練ノ成績ヲ參酌スルコトヲ要ス

第五條 配屬將校ハ第一條ニ規定スル教練ノ檢定ヲ行ヒ其合否ヲ決定シタルトキハ之ヲ本人ニ通告シ且合格シタル者ニシテ教練檢定ノ合格ニ關スル證明書ノ下付ヲ願出ツルモノアルトキハ前條ノ教練檢定原簿ニ基キ教練檢定合格證明書(附錄第二樣式)ヲ調製シテ之ヲ下付スヘシ

二四、各大學入學規則

東北帝國大學法文學部規程 (抄)

第一條 本學部ヘ入學志望ノ者ニ對シ選拔試験ヲ行フ場合ニハ高等學校高等科文科ノ授業科目中三科目以上ニ就キ之ヲ行フ外國語ノ試験ヲ行フ場合ニ在リテハ志望者ヲシテ英、獨、佛語中其ノ一ヲ選ハシム

關係法令

第二條 左ニ記載スル者ハ通則第六條ノ定ムル場合ニ限リ本學部ニ入學スルコトヲ得

一 高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校、外國語學校其他之レト同種同等程度以上ノ專門學校卒業者ニシテ本學部ノ授業ニ堪フト認メタル者

二 專門學校卒業者中本學部ニ於テ適當ノ學力アリト認メタル者ニシテ檢定試験ニ合格シタル者
前項各號ノ志望者ノ數本學部ノ收容豫定數ヲ超過スルトキハ選抜試験ヲ行フ

九州帝國大學法文學部規程 (抄)

第一條 九州帝國大學通則第六條第二號ニ依リ本學部ニ於テ行フ學力檢定試験ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ如シ

一 高等師範學校、女子高等師範學校、高等商業學校若クハ外國語學校ヲ卒業シタル者

二 前號ニ掲ケタル以外ノ專門學校卒業生ニシテ本學部ニ於テ適當ト認メタル者

三 選科生ニシテ本學部講義ノ六單位ノ試験ニ合格シタル者

第二條 九州帝國大學通則第七條第二項及第八條第二項ニ依リ本學部ニ於テ選抜試験ヲ行フ場合ニ方テ其ノ試験科目ハ臨時教授會ノ議決ニ依リ之ヲ定ム

東京商科大學學則 (抄)

第九條 本學豫科卒業者ハ本部ニ入學スルコトヲ得

前項ノ入學者ヲ收容シタル後尙餘裕アルトキハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ銓衡ノ上入學ヲ許ス

一 官公立高等學校高等科ヲ卒業シタル者又ハ文部大臣ニ於テ之レト同等以上ノ學力アリト認メタル者

神戸商業大學學則 (抄)

本學部ニ入學スルコトヲ得ル者左ノ如シ

一 高等學校高等科(文科又ハ理科)ヲ卒業シタル者

一 高等商業學校ヲ卒業シタル者

大阪商科大學學則 (抄)

第八條 學部ニ入學シ得ル者ハ本大學豫科修了者トス

前項ノ入學者ヲ收容シ尙餘裕アルトキハ左記各號ノ一ニ該當スル者ニ就キ銓衡ノ上入學ヲ許可スルコトアルヘシ

一 大阪商科大學高等商業部又ハ元大阪市立高等商業學校卒業者

二 高等學校高等科卒業者

三 大學令ニ依ル大學豫科修了者

四 大正七年文部省令第三號ニ依リ指定セラレタル學校ノ卒業者ニシテ本大學ニ於テ適當ト認メタル者

二五、學校身體檢査規程 (抄) (昭和十二年 文部省令第二號)

第一條 學校ニ於テハ學生生徒兒童ノ身體ノ養護鍛鍊ヲ適切ニシ體位ノ向上ト健康ノ増進トヲ圖ル爲本令ニ依リ身體檢査ヲ施行スヘシ

第二條 身體檢査ハ學校醫ナシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校醫ナキトキ又ハ學校醫身體檢査ヲ行ヒ難キ事情アルトキハ他ノ醫師ヲシテ之ヲ行ハシムルコトヲ得

學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齒牙ノ檢査ハ學校齒科醫ナシテ之ヲ行ハシムヘシ

學校職員、學校號看婦其ノ他適當ナル者ヲシテ身體檢査ノ一部ヲ補助セシムルコトヲ得

第三條 身體檢査ハ毎年四月ニ之ヲ施行スヘシ但シ止ムヲ得サル場合ニ於テハ身長、體重、胸圍、坐高ノ測定ヲ除キ六月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得

第四條 身體檢査ハ左ノ項目ニ就キ之ヲ施行スヘシ

身長、體重、胸圍、坐高、榮養、脊柱、胸廓、眼、耳、鼻及咽頭、皮膚、齒牙、其ノ他ノ疾病及異常

前項目ノ外必要ト認メタル事項ハ特ニ檢査ヲ行フコトヲ得

第五條 身體檢査ハ左ノ各號ニ準據シテ之ヲ施行スヘシ

一 身長、胸圍及坐高ハ「センチメートル」體重ハ「キログラム」ヲ以テ單位トシ四捨五入法ヲ用ヒ單位ノ下一位ニ止ムヘシ

二 身長ハ足袋、靴等ヲ脱シ両踵ヲ密接シ背、臀部及踵ヲ尺柱ニ接シテ直立シ兩上肢ヲ體側ニ垂レ頭部ヲ正位ニ保チ之ヲ測定スヘシ

三 體重ハ著衣ノ儘測定シタルトキハ其ノ衣服ノ重量ヲ控除スヘシ

關係法令

關係法令

- 四 胸圍ハ起立ノ姿勢ニ於テ兩上肢ヲ自然ニ垂レシメ背面ハ肩胛骨ノ直下部、前面ハ乳頭ノ直上部ニ尺帶ヲ當テ安靜呼吸ノ終レルトキ之ヲ行フヘシ乳房ノ著シク膨隆セル女子ニ在リテハ尺帶ヲ少シク其ノ上方ニ當テ測定スルモノトス
- 五 坐高ハ腰掛ニ正坐セシメ上體ヲ垂直ニ保チ身長ノ測定方法ニ準シ坐面ヨリ顛頂マデノ距離ヲ測定スヘシ
- 六 榮養ハ皮膚ノ色澤、皮下脂肪ノ充實、筋骨ノ發達等ニ就キ検査スヘシ榮養ノ狀態普通以下ニシテ衛生上特ニ注意ヲ要スト認ムルモノヲ「要注意」トシ其ノ他ノモノヲ「可」トシ之ヲ記入スヘシ
- 七 脊柱ハ形態及疾病ニ就キ検査スヘシ
形態ハ生理的彎曲ヲ有スル者ヲ「正」トシ異常アル者ニ就テハ平背、圓背、龜背、側彎等ヲ區別スヘシ
疾病ハ特ニ「カリエス」ニ注意スヘシ
- 八 胸廓ハ形態、發育等ニ就キ検査スヘシ
異常アル者ニ就テハ扁平胸、漏斗胸、鳩胸等ヲ區別スヘシ
- 九 眼ハ視力、屈折異常、色神及眼疾ニ就キ検査スヘシ
視力ハ萬國式視力表ニ就キ左右各別ニ検査シ裸眼視力ヲ記入スヘシ但シ眼鏡ヲ常用スル者ニ就テハ裸眼視力ノ外更ニ其ノ眼鏡ヲ裝用シタル儘左右ノ視力ヲ検査シ括弧内ニ記入スヘシ
弱視失明等モ各眼ニ就キ記入スヘシ
屈折異常アル者ニ就テハ近視、遠視、亂視ノ種別ヲ各眼ニ就キ記入スヘシ
色神ハ異常ノ有無ヲ記入スヘシ
眼疾ハ特ニ「トラホーム」ニ注意スヘシ
尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ視力、屈折異常及色神ノ検査ヲ省略スルコトヲ得
- 一〇 耳ハ聽力及耳疾ニ就キ検査スヘシ
聽力ハ適當ナル方法ニ依リ検査シ障礙ノ有無ヲ記入スヘシ
耳疾ハ特ニ中耳炎ニ注意シ叮嚀栓塞アルトキハ耳疾欄ニ記入スヘシ
尋常小學校第二學年以下ノ兒童ニ在リテハ聽力ノ検査ヲ省略スルコトヲ得
- 一一 鼻及咽喉ハ鼻炎、鼻茸、蓄膿症、腺樣增殖症、扁桃腺肥大等ニ注意スヘシ
- 一二 皮膚ハ白癬、疥癬其ノ他ノ傳染性皮膚疾患、濕疹頭癬等ニ注意スヘシ

- 一三 齒牙ハ齲齒ニ就キ検査シ處置齒、未處置齒ニ分チテ其ノ數ヲ記入スヘシ
學校齒科醫ヲ置キタル學校ニ在リテハ齲齒ノ數ハ更ニ乳齒、永久齒ニ分チテ記入シ又齲齒列異常其ノ他ノ齒疾ニ就テモ注意スヘシ
- 一四 其ノ他ノ疾病及異常ニ就テハ呼吸器、循環器、消化器、神經系等ヲ検査シ結核性疾患、腺病、肋膜炎、心臟疾患、貧血、脚氣、脫腸、神經衰弱、言語障礙、精神障礙、骨・關節ノ異常、四肢運動障礙等ノ發見ニカムヘシ
- 第六條 前條ノ検査ヲ終了シタルトキハ全身ノ狀態ヲ綜合考察シ身體虛弱、精神薄弱又ハ疾病及異常ヲ有スル者ニシテ學校衛生上特別養護ノ必要アリト認ムルモノヲ「要養護」トシ然ラサルモノヲ「可」トシ概評欄ニ記入スヘシ但シ大學、高等學校、專門學校並ニ之ト同等程度以上ノ學校ニ在リテハ之ヲ省略スルコトヲ得
- 第七條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ其ノ結果ヲ本人又ハ其ノ保護者ニ通知スヘシ授業免除、就學猶豫休學又ハ治療、保護、矯正等ヲ要スル者アルトキハ本人又ハ其ノ保護者ニ注意ヲ與ヘ適切ナル處置ヲ講セシムヘシ
學校ニ於テ必要アルトキハ健康相談、豫防處置、其ノ他適當ナル保健養護ノ施設ヲ講スヘシ
- 第八條 身體検査ヲ施行シタルトキハ其ノ結果ヲ第一號様式ノ身體検査票ニ記入シ本人在學中ニテ使用スヘシ轉學シタル者アルトキハ學校長ハ前ノ學校ヨリ其ノ身體検査票ノ交付ヲ受ケ使用スヘシ
身體検査票ハ學校長ニ於テ之ヲ保管スヘシ
- 第九條 身體検査ヲ施行シタルトキハ學校長ハ第二號様式ノ身體検査統計表ヲ調製シ其ノ年八月末日迄ニ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ニ在リテハ文部大臣ニ、其ノ他ノ學校ニ在リテハ地方長官ニ報告スヘシ
地方長官ハ前項ノ報告ヲ受ケタルトキハ之ヲ取纏メ小學校以外ノ學校ニ就テハ其ノ年九月末日迄ニ、小學校ニ就テハ第二號様式ニ準シ道府縣身體検査集計表ヲ調製添附シ其ノ年十二月末日迄ニ文部大臣ニ送付スヘシ
- 第十條 監督官廳若ハ學校長ニ於テ必要ト認ムルトキ又ハ校醫若ハ學校齒科醫ニ於テ必要ト認メ學校長ノ同意ヲ得タルトキハ適當ナル項目ニ就キ臨時身體検査ヲ行フコトヲ得
- 第十一條 前各條ニ依ル身體検査ノ外就學、入學ニ關シ身體検査ヲ行フコトヲ得
- 第十二條 幼稚園幼兒ノ身體検査ニ就テハ本令ヲ準用ス
- 第十三條 大學ニ於テハ文部大臣ノ認可ヲ受ケ本令ノ検査項目ニ據ラサル身體検査ヲ施行スルコトヲ得
- 第十四條 地方長官又ハ直轄學校、公私立大學、高等學校、專門學校ノ長ハ學校職員、備人等ノ身體検査ニ際シ必要ナル事項ヲ定ムルコトヲ得

關係法令

關係法令

第十五條 地方長官ハ本令ノ施行上必要ナル細則ヲ設クルコトヲ得
第十六條 特別ノ事情アル場合ハ監督官廳ノ認可ヲ受ケ本令ノ身體検査ヲ行ハサルコトヲ得

附 則

本令ハ昭和十二年四月一日ヨリ之ヲ施行ス
道府縣ニ於テ第九條第二項ノ集計表ヲ調製シ難キ事情アルトキハ當分ノ内之ヲ省略スルコトヲ得
特別ノ事情アルトキハ地方長官ノ認可ヲ受ケ第三條ノ規定ニ拘ラス當分ノ内毎年九月末日迄ニ之ヲ施行スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ
第九條第一項ノ期限ハ十一月末日迄、同條第二項ノ期限ハ十二月末日迄トス
學生生徒兒童身體検査規程ハ之ヲ廢止ス

第一號様式身體検査票ニ關スル 注意事項

- 一 用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ケ寸法A列第四號ニシテ縱二九・七「センチメートル」横二一・〇「センチメートル」トス
- 二 縦ノ區別ハ全學年ノ數ヨリ一欄多クシ尙不足ヲ生シタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト
- 三 年齡ハ四月一日ノ計算ニ依リ滿六年一日以上滿七年迄ノ者ヲ七年トシ其ノ他之ニ準スルコト
- 四 轉校先ノ學校名ハ適宜學校名ノ欄ノ餘白ニ記入スルコト
- 五 疾病其ノ他ノ爲検査ヲ受ケサル場合ハ當該區別ニ其ノ旨ヲ記入スルコト
- 六 本人ニ對スル注意事項欄ニハ日常衛生上注意スヘキ具體的事項ヲ記入スルコト
- 七 検査項目中異常ナキ場合ニモ其ノ旨ヲ記入シ空欄ヲ殘ササルコト
- 八 比體長ノ欄ニハ身長ヲ以テ體重ヲ除シタル商ニ、比胸圍ノ欄ニハ身長ヲ以テ胸圍ヲ除シタル商ニ、比坐高ノ欄ニハ身長ヲ以テ坐高ヲ除シタル商ニ夫々百ヲ乘シタル數ヲ記入シ執レモ四捨五入法ニ依リ小數點以下一位ニ止ムルコト
- 九 齶齒ヲ乳齒ト永久齒ニ分ツ場合ニハ乳齒ニ就テハ括弧内ニ記入スルコト
- 一〇 其ノ他ノ齒疾ニ就キ検査ヲ行ハサル場合ハ該當欄ニ斜線ヲ引クコト
- 一一 弱視失明アル場合ニハ視力欄括弧ノ右ニ記入スルコト

第二號様式身體検査票ニ關スル 注意事項

- 一 用紙ノ大サハ日本標準規格ニ依ル紙ノ仕上ケ寸法B列第四號ニシテ縱三六・四「センチメートル」横二五・七「センチメートル」トス
- 二 本表ハ男女別ニ調製スルコト
- 三 身長、胸圍、坐高ニ係ル總長、體重ニ係ル總重ノ各欄ニハ執レモ同一年齡ニ於ケル各検査人員ノ身長、胸圍、坐高又ハ體重ノ各合計ヲ揭ケ平均ノ各欄ニハ其ノ検査人員ヲ以テ總長又ハ總重ヲ除シタル商ヲ揭グルコト
- 四 弱視(両眼)ハ兩眼ノ視力〇・三ニ達セサル者ニツキ記入スルコト
- 五 尋常小學校第二學年以下ノ兒童及幼稚園ノ幼兒ニ在リテハ弱視(両眼)、屈折異常、色辨並聽力ハ之ヲ本表ニ計入スルヲ要セズ
- 六 齶齒アル者ニシテ特ニ處置ノ完了セルモノハ括弧内ニ其ノ數ヲ記入スルコト
- 七 其ノ他ノ疾病及異常欄ニ於ケル疾病及異常ノ分類ハ成ルベク規程第五條第十四號ノ病名ニ據リ尙不足ヲ生シタルトキハ符箋ヲ以テ之ヲ補フコト
- 八 前項ノ外本表ニ記入スヘキ項目ノ一部ヲ缺キタル者ハ之ヲ表中ニ計入セサルコト
- 九 外國人ニ係ルモノハ之ヲ計入セサルコト
- 一〇 備考ノ欄ニハ表中記入ノ事實ニ關シ説明ヲ要スル事項其ノ他特ニ必要ト認メタル事項ヲ記載スルコト
- 一一 本表ノ成績ニ關シ學校醫、學校齒科醫ニ於テ學校衛生上意見アルトキハ之ヲ表末ニ附記スルコト

附

錄

一、兵庫神戸高等商業學校學友會會則

第一條 本會ハ兵庫神戸高等商業學校學友會ト稱ス

第二條 本會ハ會員ノ親睦ヲ厚クシ協同ノ精神ヲ養ヒ心身ヲ鍛鍊シ以テ善良ナル校風ヲ振興センコトヲ期ス

第三條 本會ハ本校生徒及職員ノ全員ヲ以テ會員トス

第四條 本會ノ目的ヲ達成スル爲メ本會ニ左ノ諸部ヲ設ク

- 總務部
- 會計部
- 雜誌部
- 講演部
- 柔道部
- 野球部
- 卓球部
- 音樂部
- ラゲビー部
- 劍道部
- 蹴球部
- 排球部
- 馬術部
- 水泳部
- 籃球部
- 排球部
- 庭球部
- 山岳部

第五條 會員ハ總テ特別ノ理由アル場合ノ外何レノ部ニモ參加スルコトヲ得

第六條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 壹名 本校校長ヲ以テ會長トス
- 一 副會長 壹名
- 一 理事 各部壹名 職員會員中ヨリ會長之ヲ委囑ス
- 一 委員 若干名 各年級毎ニ生徒會員ノ互選ニ依リテ委員候補者若干名ヲ選出シ其候補者中ヨリ會長之ヲ命ス但シ第一學年級第一學期間ハ選舉ニ依ラス會長之ヲ命ス

一 委員 長 各部壹名

每學年各部委員ノ互選ニ依リ候補者若干名ヲ選出シ其候補者中ヨリ會長之ヲ命ス

第七條 會長ハ前條役員ノ外必要ニ應シ顧問主事又ハ臨時委員ヲ設クルコトヲ得

役員ノ職務

第八條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アル時ハ之ヲ代理ス

部長ハ會長統制ノ下ニ各部ノ事業ヲ指導監督ス

理事ハ部理事及指導理事ニ分チ部理事ハ部ニ分屬シ部長ヲ輔佐シテ部ノ事務ヲ掌理シ指導理事ハ部外ニ在リテ諸部ノ運動又ハ學藝ノ指導ニ任ス

委員長、副委員長及委員ハ各部ニ分屬シ部長ノ指導監督ノ下ニ部ノ事務ヲ處理ス

代 議 員

第九條 生徒會員ハ每學年各學級毎ニ互選ニ依リ代議員四名ヲ選出ス但シ第一學年級ノ第一學期間ハ選舉ニ依ラス會長之ヲ命ス

代議員ハ役員ヲ兼ヌルコトヲ得ス

會 議

第十條 會議ヲ分チテ役員會代議員及ヒ部長會ノ三トス

第十一條 役員會ハ副會長、部長、理事、委員長及副委員長ヲ以テ之ヲ組織シ代議員會ニ提出スヘキ豫算案原案各部次年度ノ行事及ヒ其他重要ナル案件ヲ審議ス

役員會ニハ會長ノ指名シタル職員會員ヲ以テ議長トス

第十二條 代議員會ハ豫算案決算報告及會長ノ諮問事項ヲ審議ス

代議員會ノ議長及副議長ハ代議員ノ互選ニ依リ毎年之ヲ定ム

役員會員ハ員外トシテ代議員會ニ出席スルコトヲ得

第十三條 部長會ハ副會長、部長及理事ヲ以テ組織シ代議員會ノ決議シタル豫算案及其他會長ノ諮問事項ヲ審議ス

部長會ニハ會長又ハ副會長ヲ以テ議長トス

第十四條 會議ハ會長之ヲ召集ス

役員會及代議員會ハ毎年壹回以上之ヲ召集シ部長會ハ必要ニ應シ隨時ニ之ヲ召集ス

第十五條 役員會ノ定足數ハ會議員數ノ五分ノ三トシ決議ハ出席者過半數ノ同意アルヲ要ス

代議員會ノ定足數ハ會議員數ノ三分ノ二トシ決議ハ出席者過半數ノ同意アルヲ要ス

第十六條 會議ノ決議ハ會長ノ認可ヲ經テ其ノ効力ヲ生ス

會 計

第十七條 生徒會員ハ總テ入學ノ當時入會金參圓及會費貳拾四圓ヲ納ムルモノトス

職員會員ハ別ニ定ムル所ニ依リ每學年會員平均八圓ニ相當スル總額ヲ納ムルモノトス

既納ノ入會金及會費ハ一切返付スルコトナキモノトス

第十八條 會費ノ收入ハ之ヲ本會經常費ニ充ツ但シ職員會員ノ會費收入ハ之ヲ豫備費ニ充ツ

入會金ノ收入ハ特別會計トシ其ノ一半ハ重要ナル臨時費ニ充テ他ノ一半ハ會員ノ福利増進其他臨時ノ必要ニ應スヘキ費用ニ充ツ

第十九條 各部毎年度剩餘金ハ其部ノ翌年度別途豫備費ニ編入ス

別途豫備費ノ支途ニ就テハ會長ノ認可ヲ受クルヲ要ス

其他ノ經常費剩餘金ハ翌年度ニ繰越スモノトス

特別會計毎年度ノ剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ積立ツルモノトス

第二十條 會計年度ハ學年ニ依ル

第二十一條 寄附金品ノ受領及處分ハ會長ノ承認ヲ經ルヲ要ス

會 則 變 更

第二十二條 本會會則ニ重要ナル變更ヲ加ヘントスルトキハ代議員會及役員會ノ聯合會議ニ於テ之ヲ議定シ會長ノ認可ヲ經ルコトヲ要ス

第二十三條 聯合會議ハ會長之ヲ召集シ會長又ハ會長ノ指名シタル職員會員ヲ以テ議長トス

第二十四條 聯合會議ノ定足數ハ代議員及役員會員總數ノ四分ノ三トシ決議ハ出席者三分ノ二ノ同意アルコトヲ要ス

附 則

本會則實施ニ必要ナル規程ハ部長會ニ諮問シテ會長之ヲ定ム

役員選舉規程

委員候補者及代議員選舉規程

- 第一條 委員候補者及代議員ノ選舉ハ每學年ノ始ニ於テ會長ノ定ムル期日ニ之ヲ行フ
- 但シ第一學年級ニ限リ第二學期ノ始ニ於テ之ヲ行フ
- 第二條 生徒會員ハ左ノ場合ヲ除キ總テ委員候補者及代議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有ス
會員ノ義務ヲ履行セサル者ハ其間選舉權及被選舉權ヲ停止ス
本校代表選手タルヘキ資格ヲ停止セラレタル者進級シ得スシテ原學年ニ留リタル者及停學ノ處分ヲ受ケタル者ハ其學年間被選舉權ヲ停止ス
- 第三條 選舉ハ單記名投票トス
他人ヲ代理シテ投票スルコトヲ得ス
- 第四條 會長ハ選舉事務處理ノ爲メ職員會員及生徒會員ヨリ選舉委員若干名ヲ委囑ス
- 第五條 投票用紙ハ總務部之ヲ作成シテ選舉委員ニ交付シ選舉委員ハ選舉場ニ於テ選舉人ニ之ヲ交付ス
- 第六條 最多數ノ投票ヲ得タル者ヲ以テ當選トシ同數得票者二人以上アル時ハ年長者ヲ以テ當選トス
代議員ノ當選者ハ總務部ニ於テ資格審査ヲナシタル後之ヲ發表ス
- 第七條 委員ニ缺員ヲ生シタルトキハ次點者ヲ以テ委員候補者トナシ代議員ニ缺員ヲ生シタルトキハ次點者ヲ以テ之ヲ補充ス

學友會會計規定

- 第一條 會計部ハ左ノ事務ヲ掌ル
 - 一 豫算決算ニ關スル事務
 - 二 金品出納ニ關スル事務
 - 三 豫備費及特別會計ノ支出ニ關スル件
 - 四 各部會計ノ監査
- 第二條 會計部長ハ每年十二月中ニ翌年度收支豫算原案ヲ作成シ各部提出ノ經費概算書ヲ添ヘ會長ニ提出スヘシ
- 第三條 豫算原案ノ作成ニ當リテハ會計部長ハ會計部理事會計部委員及各部委員長又ハ副委員長ヲ召集シ協議ノ上之ヲ決定スルモノトス

ス

- 第四條 會計部長ハ入會金會費及寄附ノ金品等ヲ收受シ之ヲ保管ノ任ニ當ル
- 第五條 收受シタル現金ハ會長ノ名義ヲ以テ銀行預金及郵便貯金等ノ方法ニヨリテ保管スルモノトス但シ支拂準備金トシテ必要アル時ハ金額五拾圓未満ニ限リ現金保管ヲナスコトヲ得
- 第六條 豫算ニ從ヒ各部ヨリ支拂請求アリタルトキハ別ニ定ムル支拂請求票ニヨリ支拂ヲナスヘシ但シ豫算以外ノ支拂ハ關係部長ノ請求ニ基キ會長ノ認可アリタル場合ニ限リ之ヲ行フ
- 第七條 金品ノ受拂ハ帳簿ヲ備ヘテ記録シ證書類ト共ニ之ヲ保存スヘシ但シ收支現計表ハ毎月十日マテニ會長ニ提出スルモノトス
各部委員長ハ其ノ部ノ會計帳簿ヲ備ヘ毎年五月及十月中ニ會計部長ノ監査ヲ受ケヘシ
- 第八條 已ムテ得サル事由ニヨリ豫算費目流用ノ必要ヲ生シタルトキハ當該部長ハ別ニ定ムル費目流用理由書ヲ作成シ會計部長ヲ經テ會長ニ提出シ認可ヲ受クルコトヲ要ス
- 第九條 豫備費ノ支出ハ會長ノ認可ヲ受クルコトヲ要ス重要ト認ムルモノニ就テハ會長ハ部長會ニ諮詢スルモノトス
- 第十條 特別會計ノ支出ハ部長會ニ諮詢シテ會長之ヲ決ス但シ金額貳百圓ヲ超ユル場合ハ部長會ノ外役員會又ハ代議員會ニ諮詢スルモノトス
- 重要ナラサル小額ノ支出ハ會計部長ニ於テ會長ノ認可ヲ經テ之ヲ行フコトヲ得
- 第十一條 會計部長ハ毎年五月中ニ前年度收支決算表ヲ作成シ證書類ヲ添ヘ會長ニ提出スヘシ

二、研究編輯會會則

- 一 本會ハ本校教職員ノ學術上ノ研究調査ノ結果ヲ編輯シ之ヲ會員ニ頒テ教授上ノ資料ニ供シ且ツ之ヲ公表スルヲ以テ目的トス
- 二 本會ハ本校教職員及全生徒ヲ以テ會員トシ校長ヲ以テ會長トス
會長ハ職員會員中ヨリ本會委員若干名ヲ委囑シ本會ノ事務及會計ヲ掌ラシム
- 三 職員會員ハ每學年金壹圓ノ會費ヲ納メ生徒會員ハ入學ノ當時三學年ニ付金壹圓ノ會費ヲ納ムルモノトス

三、神商會會則

第一條 本會ハ神商會ト稱ス

第二條 本會ハ兵庫縣立神戸高等商業學校職員及生徒父兄ノ親睦ヲ計リ學校ノ事業ヲ援助スルヲ以テ目的トス
 第三條 本會會員ハ同校在學生ノ父兄保證人及ヒ同校特別縁故者ノ有志ヨリナル
 第四條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

- 理事 十五名 (但シ内三名ヲ常任理事トス)
- 評議員 若干名
- 顧問 三名

理事ハ本會一切ノ會務ヲ處理ス
 常任理事ハ理事ノ互選ヲ以テ定ム

評議員ハ會員ヨリ選舉シ本會ノ評議ニ與リ且ツ互選ヲ以テ理事ヲ選舉ス

顧問ハ同校校長及ヒ校長理事協議ノ上推薦シタル同校職員ニ委囑ス

評議員ノ任期ハ其ノ保證スル生徒ノ在學期間トス但シ特ニ縁故又ハ功勞アルモノハ此ノ限りニアラス
 理事ノ任期ハ一年トス但シ重任ヲ妨ケス

第五條 本會ハ毎年一回總會ヲ開ク尙理事會ノ決議ニヨリ臨時總會ヲ招集スルコトヲ得

理事會及評議員會ハ常任理事隨時之ヲ招集ス

第六條 本會ハ毎年一回以上學校側ト懇談會ヲ開催ス

第七條 本會ノ會員ハ入會ノ際一時限リ金貳拾圓ヲ離出スルモノトス

第八條 本會ハ有志ノ寄附アリタル時ハ之ヲ受ク

本會々員ヨリ百圓以上ノ寄附アリタルトキハ會員タル期間修了後之ヲ本會會友トス

第九條 本會ノ收支豫算ハ評議員會ニ於テ之ヲ定ム

第十條 本會會則ハ總會ノ決議ニヨリ變更スルコトヲ得

四、神戸高等商業學校淡水會會則

第一章 總 則

第一條 本會ハ神戸高等商業學校淡水會ト稱ス

第二條 本會ハ會員相互ノ交誼ヲ篤クシ母校ノ發展ニ資シ併セテ社會ニ貢獻センコトヲ以テソノ目的トス
 第三條 本會ノ本部ハ之ヲ神戸高等商業學校内ニ置ク

第二章 會 員

第四條 本會會員ヲ分チテ正會員特別會員及ヒ名譽會員ノ三トス

第五條 左ニ掲グル資格ヲ有スル者ヲ以テ正會員トス

一 神戸高等商業學校ヲ卒業シタル者

一 同校ニ在學シタル者ニシテ會員總會ノ承認シタル者

第六條 神戸高等商業學校現職職員及ヒ會員總會ノ推薦シタル母校舊教職員ヲ以テ特別會員トス

第七條 母校並ヒニ本會ニ特別ノ關係アルモノニシテ會員總會ノ推薦シタル者ヲ以テ名譽會員トス

第八條 本會會員ニシテ本會會則又ハ會員總會ノ決議ニ違反シ又ハ本會ノ體面ヲ汚ス行爲ヲナシタル者ハ會員總會ノ決議ニヨリ除名スルコトアルベシ

第三章 役 員

第九條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク
 一 會長 一名 會長ハ會員總會ノ決議ニヨリ正會員、特別會員若ハ名譽會員中ヨリ之ヲ推戴ス、尙ホ在任期間ハ三ヶ年トス但再選スルヲ妨ケス

一 顧問若干名 顧問ハ特別會員及名譽會員中ヨリ常議員會ノ推薦ニヨリ之ヲ置ク事ヲ得

一 幹事十名以内 幹事ハ常議員會ニ於テ常議員ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

一 常 議 員 常議員ハ各卒業年度正會員中ヨリ三名ツツ之ヲ互選ス

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

第十一條 顧問ハ會務ノ相談ニ與ル

第十二條 幹事ハ幹事會ヲ組織シ常務ヲ處理ス

第十三條 常議員ハ常議員會ヲ組織シ會務ヲ審議ス

常議員會ノ決議ハ出席者ノ多數決ニヨル

第十四條 常議員及ヒ幹事ノ任期ハ二ヶ年トシ再選スル事ヲ妨ケス

第十五條 本會ハ事務囑託ヲ置ク事ヲ得

第四章 會員總會

第十六條 會員總會ヲ分チテ通常總會及ヒ臨時總會ノ二トス

通常總會ハ毎年一回之ヲ開キ臨時總會ハ必要ニ應ジ之ヲ開ク

第十七條 會員總會ハ會長之ヲ召集ス但シ臨時總會ハ常議員會ノ決議アル時會長之ヲ召集スルモノトス

第十八條 會員總會ニ於テハ役員ノ選舉、會計ノ報告、會則ノ變更其ノ他重要事項ノ決議ヲナス

第十九條 會員總會ノ決議ハ會則變更ノ場合ヲ除ク外出席議員ノ過半數ヲ以テス、可否同數ナル時ハ議長ノ決スル所ニヨル

第二十條 會員總會ノ議長ハ幹事ノ互選ニヨリ之ヲ定ム

第五章 會計

第二十一條 正會員ハ終身會費トシテ金貳拾圓ヲ納付スルモノトス

第二十二條 既納ノ會費ハ如何ナル事由アルモ之ヲ返還セス

第二十三條 本會ノ收支決算ハ會員總會ニ於テ之ヲ報告スヘシ

第二十四條 本會ノ會計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ニ終ル

第六章 雜則

第二十五條 本會會則ハ會員總會ノ決議ニヨルニ非サレハ變更スル事ヲ得ス此場合決議ハ出席會員ノ四分ノ三以上ヲ以テス

第二十六條 本會ハ毎年二回以上會報及毎年一回名簿ヲ發行シ會員ニ配布シ尙常議員會ニ於テ本會ノ目的上適當ト認ムル其ノ他ノ事業

第二十七條 地方在住ノ會員ハ本會會則ニ抵觸セサル範圍ニ於テ其ノ地ニ支部ヲ設クルコトヲ得

第二十八條 特別會員及ヒ名譽會員ハ總會決議ノ數ニ加ハラサルモノトス

附 則

第九條ノ運用ニツキテハ未定員中ハ當分ノ間適宜ノ處置ヲ採ルコトヲ得

昭和十四年二月二十二日印刷
昭和十四年二月二十八日發行

(非賣品)

神戸高等商業學校

兵庫縣明石郡垂水町
電話舞子(四一六番)

印刷人 澤田信次
神戸市湊東區相生町三丁目五十六番屋敷

印刷所 株式會社 神戸社印刷所
神戸市湊東區相生町三丁目五十番屋敷

電話元町④八三五番

